www.yonexopenjp.com



第24回ヨネックスオープンジャパンバドミントン選手権大会

YONEX OPEN JAPAN 2005

NTT東日本　YONEX　SAPPORO


NANO
TECHNOLOGY

会心のインパクト、
ナノテクノロジー。



新製品

全英優勝チェン・ホン、バオ・チュンライ使用。
トップライトの俊敏な操作性
確かな打ち応え、ソリッドフィールコア搭載。

ナノスピード8000

希望小売価格 ¥24,150（本体価格 ¥23,000）
素材／高弾性カーボンフレーム＋高弾性カーボンシャフト＋ナノカーボン（フラーレン），
内蔵T型ジョイント　推奨テンション／3U:19〜24ポンド，2U:20〜25ポンド
サイズ／3U4・5，2U4・5　全長／10mm LONG　カラー／イエロー/レッド（334）日本製

NANO SPEED 8000

世界最高峰といえる、伝統の全英選手権。2005年、誰もが手に入れたいと思い描く、その栄冠を勝ち取ったチェン・ホンの手に握られていたのは最新の「ナノスピード8000」。直径0.7ナノメートル（nm＝10億分の1m）の炭素分子結合体「フラーレン」を繊維の間に配置した新素材「ナノカーボン」を採用。トップライトバランス設計で操作性の向上と共に、高い反発性を実現。さらにフレーム部にソリッドフィールコアを内蔵、がっちりとした打ち応えと面安定性をもたらします。ナノテクノロジーで進化した「ナノスピード8000」、会心のショットが世界の舞台で奮い立つ。

推奨ストリング

ハードヒッター
BG65P



コントロールプレーヤー
BG68TI



ヨネックス株式会社
東京／tel.03-3836-1221（代）　大阪／tel.06-6768-7261（代）
名古屋／tel.052-323-5541（代）　仙台／tel.022-232-1221（代）
福岡／tel.092-472-8751（代）　札幌／tel.011-785-1700（代）
www.yonex.co.jp

YONEX®

NTT
東日本



ここで会いたい、
いま会いたい、
かなえてくれるのは、光です。

光コミュニケーションへ。

NTT東日本

CONTENTS

ご挨拶 6

海外主要選手紹介 9
YONEX OPEN JAPAN 2005 PREVIEW
VERSUS!
THE NEW STAGE HAS JUST BEGUN!
CHEN Hong／LIN Dan／Taufik HIDAYAT／Peter GADE
BAO Chunlai／Kenneth JONASSEN／WONG Choong Hann
LEE Chong Wei／M.Roslin HASHIM／XIE Xingfang
ZHANG Ning／Mia AUDINA TJIPTAWAN／ZHOU Mi／WANG Chen
Hang Yan PI／ZHANG Jiewen／YANG Wei／GAO Ling
HUANG Sui／WEI Yili／ZHAO Tingting／CAI Yun
FU Haifeng／Martin LUNDGAARD HANSEN／Jens ERIKSEN
Luluk HADIYANTO／Yulianto ALVEN／Flandi LIMPELE／Eng HIAN
Lars PAASKE／Jonas RASMUSSEN／Nathan ROBERTSON
Gail EMMS／Mette SCHJOLDAGER／ZHANG Jun
Sudket PRAPAKAMOL／Saralee THUNGTHONGKAM

出場選手一覧
LIST OF COMPETITORS 18

歴代優勝者一覧
1982—2004 RESULTS 19

SPECIAL INTERVIEW 20
ナショナルフラッグを胸に戦うということ 世界で戦いということ
上昇日本のキーパーソン 朴柱奉ナショナルコーチ

Close Up! おもな出場日本人選手紹介 22
飛翔せよ! 新生JAPAN
廣瀬栄理子 Eriko HIROSE／佐藤翔治 Shoji SATO
舛田圭太 Keita MASUDA／大東忠司 Tadashi OTSUKA
米倉加奈子 Kanako YONEKURA／森かおり Kaori MORI
小椋久美子 Kumiko OGURA／潮田玲子 Reiko SHIOTA
山田英孝 Hidetaka YAMADA／平山 優 Yu HIRAYAMA
大東真也 Shinya OTSUKA／佐々木翔 Sho SASAKI
坂本修一 Shuichi SAKAMOTO／池田信太郎 Shintaro IKEDA

"バドミントン世界最強国"が2006年春、日本で決まる! 25
ヨネックス トマス杯&ユーバー杯 ジャパン2006

大会記念グッズ 28

オフィシャル 34

Pin up
特製ピンナップ
タウフィック・ヒダヤット
リン・ダン
シェー・シンファン
ピーター・ゲード
廣瀬栄理子／佐藤翔治
小椋久美子／潮田玲子

©2005 NIPPON BADMINTON ASSOCIATION
本誌掲載の写真、記事の無断転載および複写を禁じます。

※本誌掲載のI.B.F.世界ランキングは2005年3月24日付発表のものです



YONEX OPEN JAPAN 2005
第24回ヨネックスオープンジャパンバドミントン選手権大会

4月5日(火) 開場8:30／9:00開始
男子単・複　女子単・複　混合複予選

4月6日(水) 開場8:30／9:00開始
男子単1・2回戦　男子複1回戦
女子複1回戦　混合複1回戦

4月7日(木) 開場10:00／11:00開始
男子単3回戦　女子単1・2回戦
男子複2回戦　女子複2回戦　混合複2回戦

4月8日(金) 開場12:00／13:00開始
各種目準々決勝

4月9日(土) 開場12:00／13:00開始
各種目準決勝

4月10日(日) 開場10:00／12:00開始
各種目決勝

※開場・開始時間は変更になる場合があります。

TV放映:NHK教育テレビ 4/10(日)14:00～15:30
スカパー! Ch.752「卓球・バドミントンTV752」
4/29(金)～5/1(日)12:00～18:00　5/2(月)～8(日)18:00～24:00

主催:財団法人 日本バドミントン協会(N.B.A.)
公認:国際バドミントン連盟(I.B.F.)
主管:東京都バドミントン協会
冠協賛:ヨネックス
協賛:NTT東日本／サンコー／健勝苑／ナガセケンコー
オフィシャルドリンク:サッポロビール
オフィシャルシャトルコック:ヨネックス「トーナメント」
オフィシャルコート:ヨネックスコート
協力:京王グループ／都村製作所／東日観光／協栄ビルメンテナンス
大会プログラム制作:クロスロード

http://www.yonexopenjp.com

賞金総額
US $180,000

Men's singles 男子シングルス
優　勝 $14,400　準優勝 $7,200
3～4位 $3,600　5～8位 $1,800　9～16位 $720

Women's singles 女子シングルス
優　勝 $12,420　準優勝 $5,940
3～4位 $3,240　5～8位 $1,620

Men's doubles 男子ダブルス
優　勝 $12,960　準優勝 $7,200
3～4位 $4,320　5～8位 $2,520

Women's doubles 女子ダブルス
優　勝 $10,980　準優勝 $7,200
3～4位 $3,960　5～8位 $1,980

Mixed doubles 混合ダブルス
優　勝 $10,980　準優勝 $7,200
3～4位 $3,960　5～8位 $1,980

ご 挨 拶



財団法人日本バドミントン協会

渡辺民雄

ヨネックスオープンジャパン2005が今年も世界各国から多数の優秀な選手を迎え開催することができますことは、誠に喜ばしい限りであります。2005年の世界大会の一つとして、ヨネックスオープンジャパン2005は、今や賞金総額、そして規模においても重要な大会として認められ、定着してまいりました。

この大会は、第一回開催の1982年から多くの参加国の選手・役員の交流の中で、各国選手が競技を通じて技術の向上と友情を深め、素晴らしいドラマを作り上げてきました。来年2006年には、ヨネックス トマス杯＆ユーバー杯 ジャパン2006（4／28～5／1仙台市、5／3～5／7東京都）大会が日本で16年ぶりに開催することになりました。

各国の選手の皆様は、ヨネックス トマス杯＆ユーバー杯 ジャパン2006代表を目指して、本競技会においても最高の技術を競い、多くのバドミントン愛好者に感動を与えられるよう、活躍を期待しております。

この大会を通じて役員・選手の国際親善と交流が一層発展することを希望し、また、大会開催にあたりご尽力いただいた関係者の方々に心から感謝申上げご挨拶といたします。

It is my greatest pleasure to be able to hold the YONEX OPEN JAPAN 2005 with a number of excellent players from many countries all over the world.
This event is globally recognized as one of the most important championships in the world, in terms of both the amount of a prize fund and its tournament size. Since the tournament was first held in 1982, players of participating countries have been enhancing skills and ties of friendships and have produced great drama through the matches.
In 2006, next year, Japan is designated to hold YONEX Thomas & Uber Cup Japan2006(April 28 to May 1 in Sendai City, May 3 to 7 in Tokyo) since the last held 16 years ago. I believe many of the participants here are training toward YONEX Thomas & Uber Cup Japan2006. And I expect that the players become more competitive in demonstrating their best skills ever at this tournament, and inspire the badminton fans to be enthusiastic by showing their great performance.
I hope this tournament would strengthen the ties of cooperation and global friendships amongst the officials and players. Finally, I would like to express my sincere appreciation for those who have devoted themselves to make this tournament a success.

President, Nippon Badminton Association (NBA)
Tamisuke Watanuki



国際バドミントン連盟 会長

コーン・サパランシ

ヨネックスオープンジャパンのホームグラウンドである東京にお集まりいただいた皆様に国際バドミントン連盟、そして世界のバドミントン界を代表して今年も歓迎のご挨拶ができることを大変嬉しく思っております。

この5つ星大会は世界のトップバドミントン選手の方々を魅了してやまない大会であります。賞金総額US＄180,000に加え、ヨネックスオープンジャパンは５月に北京で開催される第9回スディルマンカップ（世界男女混合団体戦）、そして、８月にアメリカのアナハイムで開催される2005世界選手権の予選レース最後のワールドグランプリ大会となります。それゆえに選手たちにとってここ東京は対戦相手の情報収集と、何よりも世界選手権へ向けてランキングポイントを稼ぐ貴重なチャンスになるということは疑いもないことです。

ワールドグランプリシリーズの中でも名声と人気あるタイトルであるとともに、今年のヨネックスオープンジャパンは私にとって特に重要な大会となります。この大会は私がIBF会長として見守る最後のワールドグランプリ大会となるからです。

これらのことを胸に、日本バドミントン協会、大会運営・実行委員の方々の世界的なバドミントン発展への絶大なるご尽力に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。また、IBFの最も重要な大会であるトマス杯・ユーバー杯2006決勝大会が１年後に仙台市と東京都にて開催されますが、そのすばらしい組織委員会として成功されるようお祈り申し上げます。

最後になりましたが、冠スポンサーであるヨネックス株式会社の皆様の、日本のみならず世界のバドミントンへの多大なるご支援と、大会実行委員ならびにボランティアスタッフの皆様に深く御礼申し上げます。

On behalf of the International Badminton Federation and the worldwide badminton community, it gives me great pleasure to welcome you all to Tokyo, the home of the Yonex Open Japan.
This 5* event is a popular one amongst players and has always attracted some of the biggest stars from the badminton world. As well as offering a prize fund of $180,000, the Yonex Open Japan is the last World Grand Prix event on the calendar before the IX Sudirman Cup (world mixed team championships) in May in Beijing, and also the last to be held before the qualifying deadline for the 2005 IBF World Championships in Anaheim, USA, in August. There's no question that the players here in Tokyo will be taking the opportunity to assess their opponents' form and to gain those all-important ranking points towards World Championship qualification.
As well as being one of the most prestigious and sought-after titles on the World Grand Prix circuit, this year's Yonex Open Japan holds special significance for me, as it will be the last World Grand Prix event I will have the pleasure of witnessing as IBF President.
With thisin mind I would like to take this opportunity to express my sincere thanks and gratitude for the crucial role the Nippon Badminton Association, and the Yonex Open Japan, have played in the promotion of badminton worldwide. I would also like to wish them every success in their role as esteemed hosts and organisers of one of IBF's prime events, the 2006 Thomas & Uber Cup Finals, which will take place in Sendai and Tokyo in just over one year's time.
Special thanks must go to the title sponsors, Yonex, for their much-valued support for badminton, both in Japan and on a global scale, and also to the organisers and volunteers for their efforts to ensure the Yonex Open Japan is the success I'm sure it will be.

President, International Badminton Federation
Korn Thapparansi

YONEX OPEN JAPAN 2005
BADMINTON CHAMPIONSHIPS
Message



東京都バドミントン協会　会長

清水務

桜花爛漫な季節に今年もヨネックスオープンジャパン2005を国立代々木競技場第二体育館において、世界の強豪選手を多数お迎えし開催できますことは誠に喜ばしいことであり、皆様のご来日を心より歓迎いたします。

今大会は、アテネオリンピックのメダリストたちが代々木第二体育館へ凱旋する中アテネのリベンジを誓う世界のトップランカーたちが再び激突する最高の大会となることを確信してやみません。

来年は日本においてヨネックス トマス杯&ユーバー杯 ジャパン2006が開催されることが決定しております。このような大会を大勢な愛好者の皆様と共に観戦できますことは誠に夢のような素晴らしいことと思います。また、日本のバドミントン競技普及発展の為にも大きな躍動を得るものと確信しております。

本大会を通じて役員・選手の皆様が国際親善と交流の輪を広げることを大いに期待し、選手の皆様には日頃の成果を十分に発揮され熱戦を展開されることを大いに期待しております。

本大会開催にご尽力いただいた関係各位の皆様に感謝申し上げ歓迎の言葉と致します。

It gives me a great pleasure to be able to hold the YONEX OPEN JAPAN 2005, having the world top players here at Yoyogi NO.2 National Gymnasium. I would like to welcome all the participants in this cherry blossom season.

This year is very special as the Olympic medallists returns here in triumph, and the other top rankers will gather together for revenge. I am certain that these players will show us the exciting performance here again as much as they did last year.

YONEX Thomas & Uber Cup Japan2006 will be held in Japan next year. It is surely impressive that we, the badminton fans, can watch the exciting matches with so many fans. Moreover, I am sure that this opportunity is much meaningful for Japan Badminton to develop more and more.

I hope this tournament strengthens the ties of global friendships and mutual exchanges of both players and officials who gather here. I would like to take this opportunity to express my sincere gratitude to the organizers and volunteers for their efforts to ensure the success of this tournament, and I wish the future prosperity of this event.

President,Tokyo Metropolitan Badminton Association

Tsutomu Shimizu



ヨネックス株式会社　代表取締役社長

米山宏作

昨夏のアテネ五輪バドミントン競技では中国選手が３冠、韓国、インドネシア選手がそれぞれ１冠を獲得するなど、改めてアジアの強さを実証致しました。

24回目を迎えるヨネックスオープンジャパンは、日本で行われる唯一のIBFイベントとして、最高レベルの国際大会に成長をして参りました。昨年の女子単、男子複優勝選手がアテネでメダルを獲得するなど、今大会の結果が、世界のすう勢になるといっても過言ではありません。

すでに2008年の北京五輪開催に向け、強化体制が着々と進む中、本年9月に世界選手権がアメリカで開催、来年４月には国別対抗世界選手権大会のヨネックス・トマス杯＆ユーバー杯が16年ぶり日本開催となり、東京と仙台で行われます。オリンピックに匹敵する世界大会であり、トップ選手による激闘は注目される所であります。

弊社は、「スポーツを通じ社会文化の発展に貢献する」との企業理念に基づき、主要大会への協賛を通じ、微力ながら今後ともバドミントンの発展に貢献いたす所存です。

最後に今大会開催に際し、ご尽力を賜りましたIBF、日本バドミントン協会、東京都バドミントン協会をはじめ関係各位に心から敬意を表し、大会の益々の成功と、選手の皆様のご健闘を祈念致します。

Thank you very much for attending the 2005 Yonex Open Japan. At last summers Athens Olympics, the Asian players again highlighted their supremacy by winning all 5 gold medals; 3 by China, one each by Korea and Indonesia.

As the sole IBF Tournament in Japan, Yonex Open Japan has grown to become one of the biggest International badminton events in this its 24th year. The winner of both the Women's singles and Men's doubles at the Yonex Open Japan 2004 went on to win Medals in Athens. It proves that the results of these Championships are a good indicator of current form in World Badminton.

Immediately after the Athens Olympics, every top athlete is looking ahead to the forthcoming Beijing Olympics in 2008. The road to Beijing starts with World Championship in the U.S.A. in September this year. Furthermore, the Yonex Thomas & Uber Cup is taking place in the cities of Tokyo and Sendai - Japan next year after an interval of 16 years. These Championships are no less valuable than the Olympics, and it will be very exciting to see the matches among the world's top players.

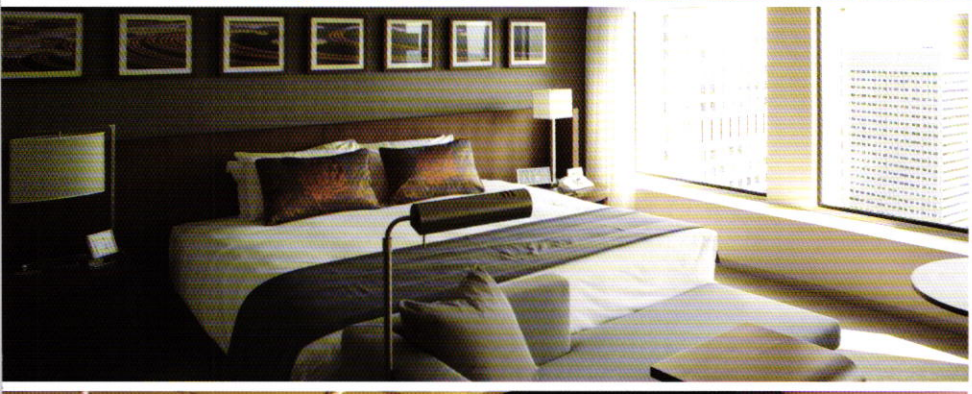
Yonex is always trying to contribute to the expansion and promotion of badminton in the policy "to contribute to the development of the world's social culture through sport", by sponsoring the World's major tournaments.

Finally; I would like to express my sincere appreciation for all the people who have been working very hard for the success of this tournament, especially, the International Badminton Federation, the Japan Badminton Association, members of Tokyo Metropolitan Badminton Association, and other supporting sponsors. I would also like to wish great prosperity to the tournament and wish all the players every success for what I am sure will be a very exciting Championships.

President, Yonex Co.,Ltd.

Kosaku Yoneyama









くつろぎと 心地よさと
味わいを 笑顔に。

京王プラザホテル札幌



TEL.（011）271−0111
●「新千歳空港駅」より
エアポートシャトル36分、
「札幌駅」より徒歩5分
●新千歳空港より連絡バス70分

京王プラザホテル八王子



TEL.（0426）56-3111
●京王線「京王八王子駅」より
徒歩3分
●JR「八王子駅」北口前

京王プラザホテル多摩



TEL.（042）374-0111
●京王相模原線・小田急線・
多摩モノレール「多摩センター駅」より徒歩1分

京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1
TEL.（03）3344-0111
http://www.keioplaza.co.jp/

JR・私鉄・地下鉄「新宿駅（西口）」「西新宿駅」より徒歩5分
都営大江戸線「都庁前駅」すぐ

Men's singles

CHEN Hong

陳　宏　チェン・ホン［中　国］

1979年11月28日生／181cm／右利き
02・05年ヨネックス全英OP優勝
02・03年シンガポールOP優勝
03年マレーシアOP優勝、ヨネックス全英OP2位
04年アテネオリンピック8強、韓国OP・インドネシアOP2位
I.B.F.世界ランキング3位

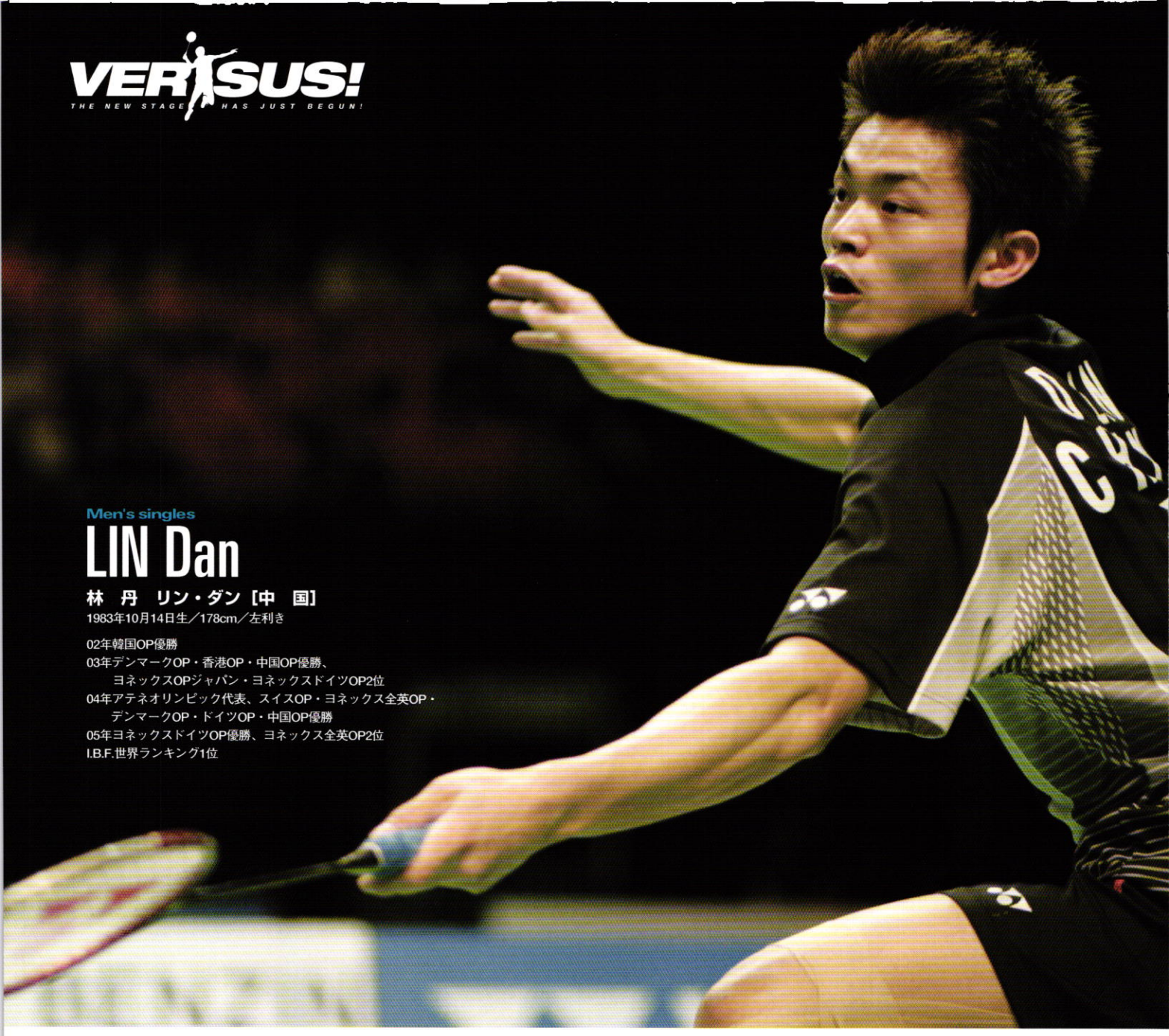
VERSUS!

THE NEW STAGE HAS JUST BEGUN!

新時代王座の栄冠を賭けて激突する6日間

04年ヨネックスオープンジャパンは、アテネオリンピック出場権を賭けたランキングポイント獲得の「最終関門」として、いずれのゲームも熾烈を極めた白熱の勝負が繰り広げられた。特に、５ツ星クラスのビッグイベントで「中国勢無冠」という結果は世界中のバドミントンファン、関係者に衝撃を与える結果となった。05年大会はアテネのメダリストをはじめ、4年後の北京をめざす「スター候補」たちが多数参戦することになる。メダリスト、トップランカーたちが覇者となるのか。それとも、次世代をになう新星の誕生か？バドミントン大国・中国を猛追するのはどこか……。ここでは、新時代に向けて様々な激突が予想され楽しみな本大会について、注目選手をピックアップしながら見どころをご紹介する。

解説：(財)バドミントン協会強化本部副部長／阿部秀夫



Men's singles

LIN Dan

林 丹 リン・ダン [中 国]

1983年10月14日生／178cm／左利き

02年韓国OP優勝
03年デンマークOP・香港OP・中国OP優勝、
　ヨネックスOPジャパン・ヨネックスドイツOP2位
04年アテネオリンピック代表、スイスOP・ヨネックス全英OP・
　デンマークOP・ドイツOP・中国OP優勝
05年ヨネックスドイツOP優勝、ヨネックス全英OP2位
I.B.F.世界ランキング1位

Men's Singles　PREVIEW

金メダリストvs世界ランクNo.1の激突なるか !?
質・量ともにそろったマレーシア勢が「第二の強国」へ浮上か !?

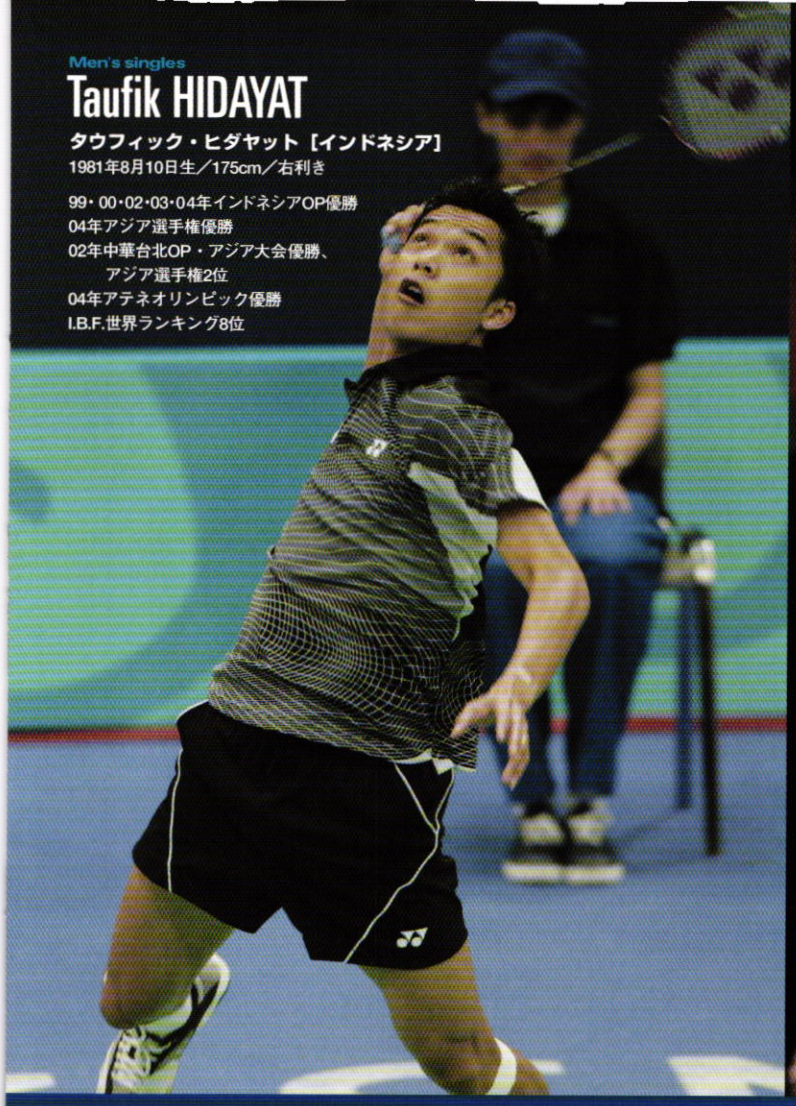
男子シングルスの本命は、まず中国勢の名が挙げられるだろう。世界ランキングNo.1リン・ダン、3月のヨネックス全英OPで2度目の栄冠をつかんだチェン・ホン、そして04年本大会2位バオ・チュンライといった中国トップ3が優勝争いに絡んでくることが予想される。特にアテネでは「メダル獲りに死角なし」とまでいわれながら1回戦敗退に終わったエース、リン・ダンは、その雪辱を晴らすかのようにアテネ後のグランプトーナメントに積極的に参戦して、早くも4大会で優勝を飾っている。他の中国勢では、世界ジュニアのファイナルを争ったチェン・ジン、ゴン・ウェイジエ等もエントリーし、「将来のトップ候補」たちの活躍も見どころといえるだろう。

その強力な中国勢の対抗しうる存在といえば、やはりアテネ金メダリスト、タウフィック・ヒダヤット（インドネシア）だ。典型的な攻撃型リン・ダンvsテクニックとディフェンス力が武器のヒダヤット。オリンピックでなしえなかった2人の対戦が実現するとすれば、それはまさにドリームカードと呼べるだろう。

今大会台風の目となりそうな雰囲気を漂わせているのがマレーシア勢。日本を除けば、中国、インドネシアに次ぐ大選団がエントリーし、ヨネックスOPジャパンを契機に今年のスディルマンカップ、世界選手権での上位進出を誓う意気込みが感じられる。大黒柱ウォン・チューンハン、若きエースのリー・チョンウェイはともに全英3位。03年全英覇者ハフィス・ハシムも先のスイスOPで優勝を飾ったばかりと勢いに乗る。ハフィスの実兄、ロスリン・ハシムも01年大会優勝を飾り、ヨネックスOPジャパンでの相性の良さを感じさせる。特にリー・チョンウェイは、リン・ダン、バオ・チュンライ、等と00年世界ジュニアを争うなど早くから将来性を見せ、昨年から今年にかけての急成長を遂げている。全英で強豪たちを苦しめた、ぎりぎりまで引きつけてから放つ独特のショットが今大会で見られそうだ。

また、04年全英2位から先の韓国OP優勝にかけて復調著しいピーター・ゲード（デンマーク）にも、本大会3度目の栄冠に期待を寄せるファンも多いことだろう。30代でトップ5入りを果たした「欧州の猛者」ケネス・ヨナセン（デンマーク）等のヨーロッパ勢の活躍も楽しみだ。

これらの世界の強豪たちに、ドイツ、韓国、そして全英で8強入りと好調な日本のエース、佐藤翔治（NTT東日本）が挑む。



Men's singles

Taufik HIDAYAT

タウフィック・ヒダヤット［インドネシア］

1981年8月10日生／175cm／右利き

99・00・02・03・04年インドネシアOP優勝
04年アジア選手権優勝
02年中華台北OP・アジア大会優勝、
アジア選手権2位
04年アテネオリンピック優勝
I.B.F.世界ランキング8位



Men's singles

Peter GADE

ピーター・ゲード［デンマーク］

1976年12月14日生／184cm／右利き

00年・シドニーオリンピック4位、
01年世界選手権2位
00・01・05年韓国OP優勝
04年アテネオリンピック8強、
ヨネックス全英OP2位、
ヨーロッパ選手権優勝
I.B.F.世界ランキング2位



Men's singles

Kenneth JONASSEN

ケネス・ヨナセン［デンマーク］

1974年7月3日生／185cm／右利き

02・04年ヨーロッパ選手権2位
02年デンマークOP2位
03年韓国OP優勝
04年アテネオリンピック代表、
ヨネックスオランダOP優勝、
シンガポールOP優勝、
05年韓国OP2位
I.B.F.世界ランキング4位

YONEX OPEN JAPAN 2005 PREVIEW



Men's singles

WONG Choong Hann

ウォン・チューンハン［マレーシア］

1977年2月12日生／
183cm／左利き

00年シドニーオリンピック8強
03年中華台北OP優勝、
世界選手権・中国OP2位
04年アテネオリンピック16強、
韓国OP・中華台北OP3位
05年ヨネックス全英OP3位
I.B.F.世界ランキング7位

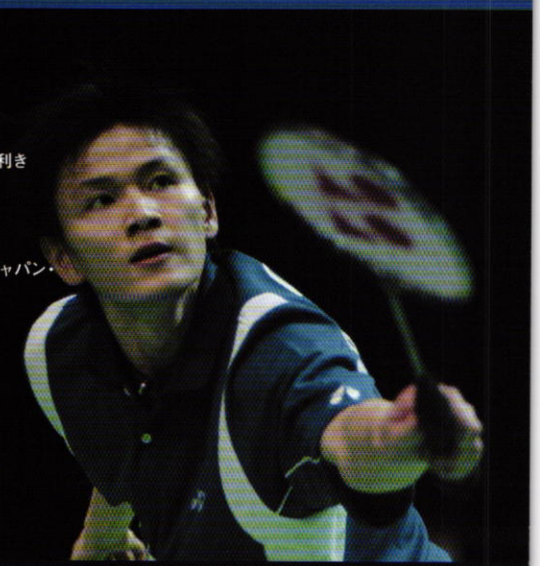
Men's singles

BAO Chunlai

鮑春来　バオ・チュンライ［中　国］

1983年2月17日生／188cm／左利き

03年世界選手権・ドイツOP・
香港OP3位
04年アテネオリンピック16強、
スイスOP・ヨネックスOPジャパン・
中国OP2位、
シンガポールOP・
インドネシアOP3位
05年ヨネックスドイツOP3位
I.B.F.世界ランキング5位





Men's singles

LEE Chong Wei

リー・チョンウェイ［マレーシア］

1982年10月21日生／右利き

03年マレーシアOP2位、
ヨネックスオランダOP3位
04年マレーシアOP・
中華台北OP優勝、
シンガポールOP2位
05年ヨネックスドイツOP・
ヨネックス全英OP3位
I.B.F.世界ランキング6位



Men's singles

M.Roslim HASHIM

ロスリン・ハシム［マレーシア］

1975年10月23日／175cm／右利き

01年スイスOP・ヨネックスOPジャパンOP優勝
01・03年ヨネックス全英OP3位
03年デンマークOP3位
04年アテネオリンピック代表、スイスOP3位
I.B.F.世界ランキング20位

Women's Singles PREVIEW

アテネのメダリストの競演が実現！ 廣瀬、森たちが表彰台をめざす !!

今大会の女子シングルスのハイライトは、なんといっても日本選手といえるだろう。そのひとりは、日本女子では18年ぶりにヨネックス全英OP 4 強入りを果たした廣瀬栄理子（三洋電機）。19 歳で04年全日本チャンピオンに輝き、11月のインドネシアOP2位。今年に入ってからは韓国OP8強、ヨネックスドイツOP3位、そしてヨネックス全英OP3位とたて続けにグランプリトーナメントで快進撃を見せてきた。インドネシア、韓国では04年世界ジュニア2位のルー・ランに2連勝。ドイツでアテネ銅のツォウ・ミー、4位のゴン・ルイナ（すべて中国）といったトップランカーたちから堂々の勝ち星を挙げている。朴柱奉ナショナルチームコーチをして「すでに世界クラス」といわしめるスピードを武器に、自国のファンの前で表彰台まで駆け上がってほしい。もうひとりの日本のホープは、アテネ日本代表の森かおり（三洋電機）。全日本総合王者となった01年で本大会3位、04年大会8強入りの実績を残している。04年ドイツOP、シンガポールOPで8強。廣瀬とともに勝ち進んだ全英では、世界ランキング3位のホン・ヤン・ピ（フランス）に土をつけるなど、この勢いに期待したい。

この日本選手ふたりの前に立ちはだかるのが、やはり中国勢ということになりそうだ。中でもシェー・シンファンは今大会優勝候補の最右翼との呼び声が高い。オリンピック出場は逃したものの、アテネ以降デンマークOPから今年の全英にかけて6連勝と抜群の強さを見せ、今から北京の星と目されている存在だ。そのシェーと並んで優勝候補とされるのが03年世界選手権優勝、アテネ金に輝くツァン・ニン。175cmの長身を生かしスマッシュ、オーバーヘッドなどあらゆるショットを打ち分け、そのフォームの美しさにも目が奪われる。加えて、中国No.1の破壊力を誇るツォウ・ミーがいる。アテネ以降やや調子を落としていると伝えられるが、01・02年大会優勝の実績があるだけに日本で波に乗る可能性もある。一方、マミラ・マーチン（デンマーク）の引退で「中国勢に対抗しうる存在」が不在となるのではと心配されるむきもあったが、そのポジションにはミア・アウディナ（オランダ）がすっかり定着した感がある。球筋の予測が極めて難しいといわれる変幻自在なショットを駆使してゴン・ルイナを破り、昨年本大会2回目の優勝を飾った。アテネ銀、先の全英でも2位とその力は衰えを知らない。スイスOP優勝と好調なホン・ヤン・ピ（フランス）、実力者ワン・チェン（香港）等が上位戦線に加わってくれば、優勝の行方はさらに興味深いものになってくるだろう。



Women's singles

XIE Xingfang

謝杏芳　シェー・シンファン［中　国］

1981年1月8日生／179cm／右利き

03年インドネシアOP優勝、ヨネックス全英OP・ヨネックスOPジャパンOP2位
04年デンマークOP・ドイツOP・中国OP・インドネシアOP優勝
05年ヨネックスドイツOP・ヨネックス全英OP優勝
I.B.F.世界ランキング2位



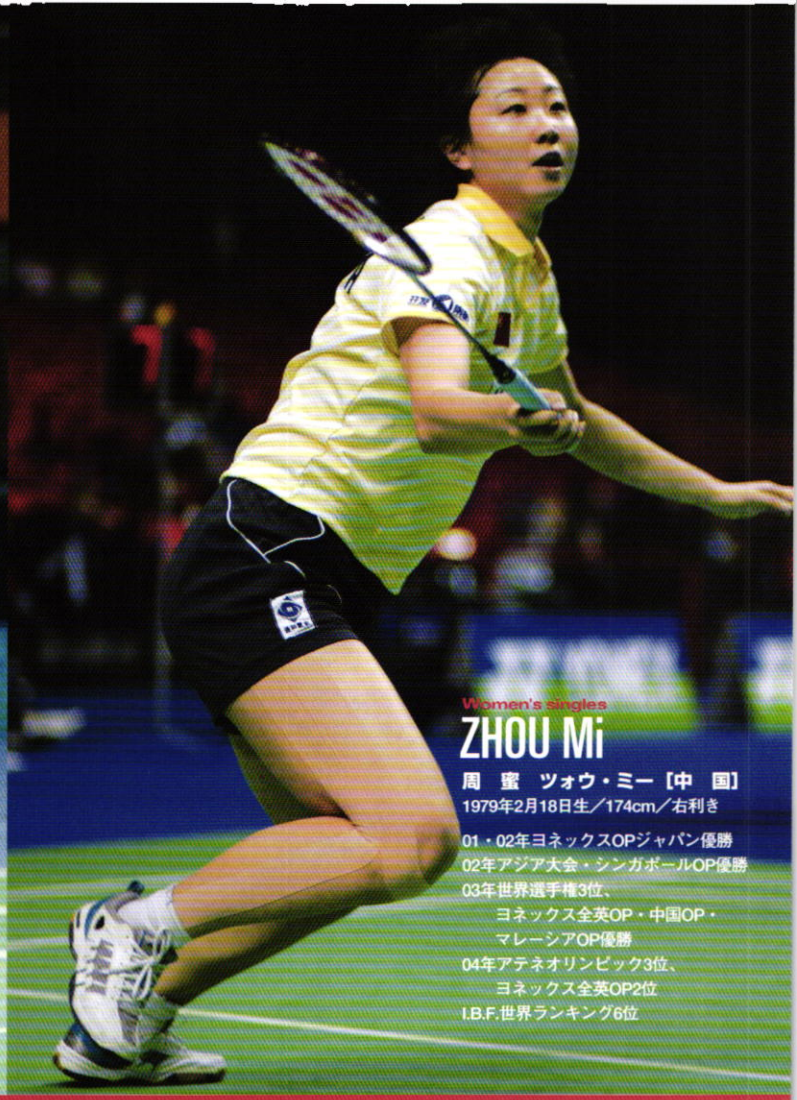
Women's singles

ZHANG Ning

張 寧 ツァン・ニン【中 国】

1975年5月19日生／175cm／右利き

03年世界選手権・スイスOP・シンガポールOP・
ヨネックスドイツOP・香港OP優勝
04年アテネオリンピック・シンガポールOP・
韓国OP・マレーシアOP優勝
05年ヨネックスドイツOP・
ヨネックス全英OP2位
I.B.F.世界ランキング1位



Women's singles

ZHOU Mi

周 蜜 ツォウ・ミー【中 国】

1979年2月18日生／174cm／右利き

01・02年ヨネックスOPジャパン優勝
02年アジア大会・シンガポールOP優勝
03年世界選手権3位、
ヨネックス全英OP・中国OP・
マレーシアOP優勝
04年アテネオリンピック3位、
ヨネックス全英OP2位
I.B.F.世界ランキング6位

YONEX OPEN JAPAN 2005 PREVIEW



Women's singles

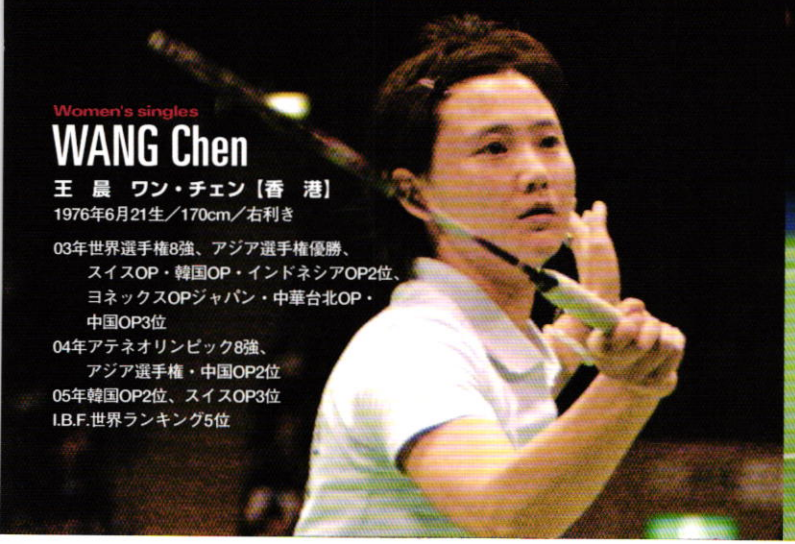
Hong Yan PI

ホン・ヤン・ピ【フランス】

1979年1月25日生／164cm／右利き

03年中華台北OP2位
04年アテネオリンピック代表、
ヨネックスオランダOP優勝、
ヨーロッパ選手権2位
05年スイスOP優勝
I.B.F.世界ランキング3位

©Panoramic／AFLO



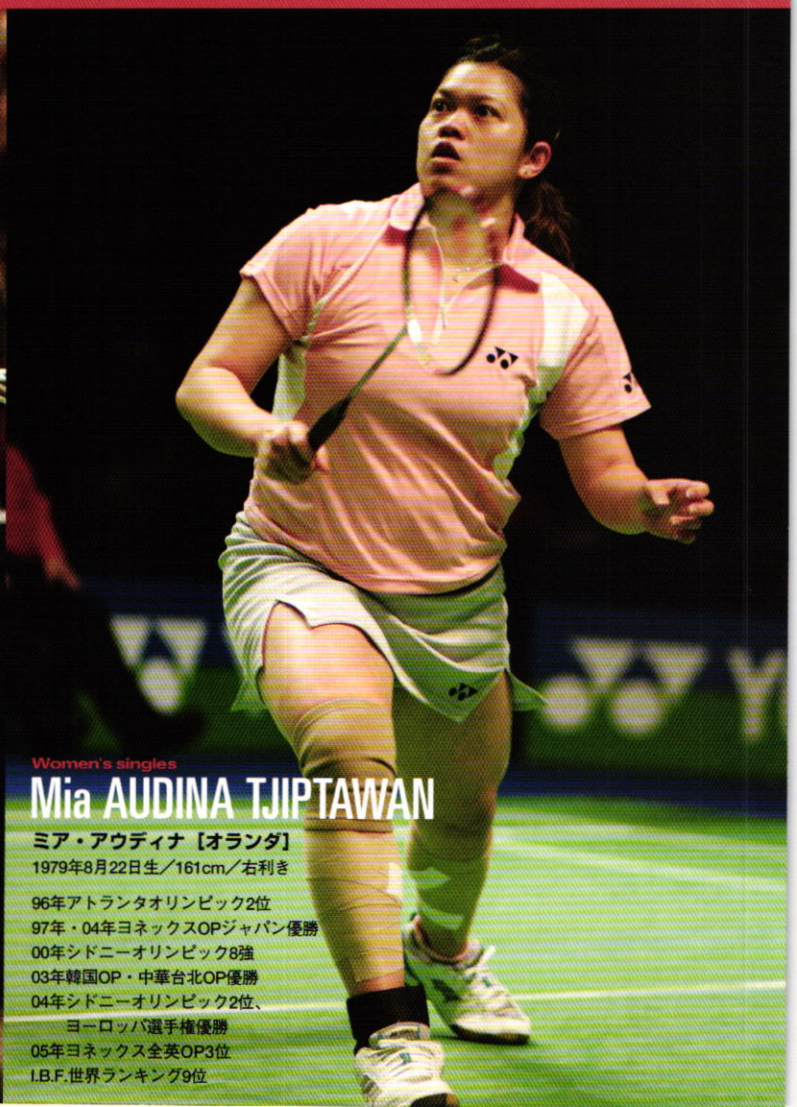
Women's singles

WANG Chen

王 晨 ワン・チェン【香 港】

1976年6月21生／170cm／右利き

03年世界選手権8強、アジア選手権優勝、
スイスOP・韓国OP・インドネシアOP2位、
ヨネックスOPジャパン・中華台北OP・
中国OP3位
04年アテネオリンピック8強、
アジア選手権・中国OP2位
05年韓国OP2位、スイスOP3位
I.B.F.世界ランキング5位



Women's singles

Mia AUDINA TJIPTAWAN

ミア・アウディナ【オランダ】

1979年8月22日生／161cm／右利き

96年アトランタオリンピック2位
97年・04年ヨネックスOPジャパン優勝
00年シドニーオリンピック8強
03年韓国OP・中華台北OP優勝
04年シドニーオリンピック2位、
ヨーロッパ選手権優勝
05年ヨネックス全英OP3位
I.B.F.世界ランキング9位

VERSUS!
THE NEW STAGE HAS JUST BEGUN!

Men's Doubles／Women's Doubles／Mixed Doubles PREVIEW

混沌を極める男子複。女子複は中国絶対有利！
期待の日本エースペアが世界の強豪を打ち破る瞬間は訪れるか!?

各種目の中で優勝の行方が最も読みづらく、その分楽しみも多いのが男子ダブルスだ。最近の主なグランプリトーナメントでは目まぐるしい優勝争いが繰り広げられている。先のスイスOPと中国OPで優勝を遂げたチャンドラ・ウィジャヤ／シギット・ブディアルト（インドネシア）、ヨネックス全英OPでフ・ハイファン／カイ・ユン（中国）、韓国OPでイエンス・エリクセン／マーチン・ルンドガード・ハンセン（デンマーク）、そしてインドネシアOPとシンガポールOPではルルク・ハディアント／ユリアント・アルベン（インドネシア）。ここにアテネ銅、03年王者のフランディー・リンペレ／エン・ヒアン（インドネシア）の名が加わると、上位争いの行方はさらに混沌としてくる。インドネシア、デンマーク、中国の3強国がひしめく中に、日本のエース舛田圭太／大束忠司（トナミ運輸）がどこまで割って入るかが見どころである。

本命不在の男子ダブルスとはまったく対象的に、女子ダブルスは中国勢が圧倒的な強さを誇っている。アテネ金のヤン・ウェイ／チャン・ジェウェン、全英5連覇を達成したばかりのアテネ銀ガオ・リン／ホワン・スイ、そしてアテネ4位のウェイ・イーリー／チャオ・ティンティン。この3強がここしばらく世界ランキングTOP3を独占し続け、また実力も伯仲している。彼女たちに対抗してきたラ・キョンミン／イ・キョンウォン（韓国）が現在ペアを替えているため、この３強を中心とした展開はより色濃いものとなるだろう。04大会8強入りの健闘を見せた小椋久美子／潮田玲子（三洋電機）の全日本総合王者ペアには、自国の声援をバックに昨年以上の成績を期待したい。

混合ダブルスでは、アテネに続いて中国vsヨーロッパ勢の対決となる可能性が高い。オリンピック2連覇、04優勝のツァン・ジュン／ガオ・リン（中国）を筆頭に、全英優勝のネイサン・ロバートソン／ゲイル・エムズ（イングランド）、昨年大会3位のイエンス・エリクセン／メッテ・ショルダガー（デンマーク）がいる。04年大会ファイナルで目の覚めるようなスピード感で会場を魅了したスッケー・プラパカモル／サラリー・トゥントーンカム（タイ）も世界ランキング4位につけ、楽しみな存在だ。



Women's Doubles
ZHANG Jiewen
張潔雲　チャン・ジエウェン【中　国】
1981年1月4日生／174cm／右利き

03年スイスOP・シンガポールOP・マレーシアOP・デンマークOP優勝
04年アテネオリンピック・韓国OP・マレーシアOP・中国OP・シンガポールOP・インドネシアOP優勝
05年ヨネックス全英OP3位
I.B.F.世界ランキング1位



Women's Doubles
YANG Wei
楊　維　ヤン・ウェイ【中　国】
1979年1月13日生／169cm／右利き



Women's Doubles
WEI Yili
魏軼力　ウェイ・イーリー【中　国】
1982年6月24日生／172cm／左利き

03年タイOP優勝、世界選手権・ヨネックスOPジャパン2位
04年アテネオリンピック4位、デンマークOP優勝、ヨネックスOPジャパン・ドイツOP・中国OP2位
05年ヨネックス全英OP・ヨネックスドイツOP2位
I.B.F.世界ランキング2位



Women's Doubles
ZHAO Tingting
趙婷婷　チャオ・ティンティン【中　国】
1982年11月28日生／168cm／右利き

YONEX OPEN JAPAN 2005 PREVIEW

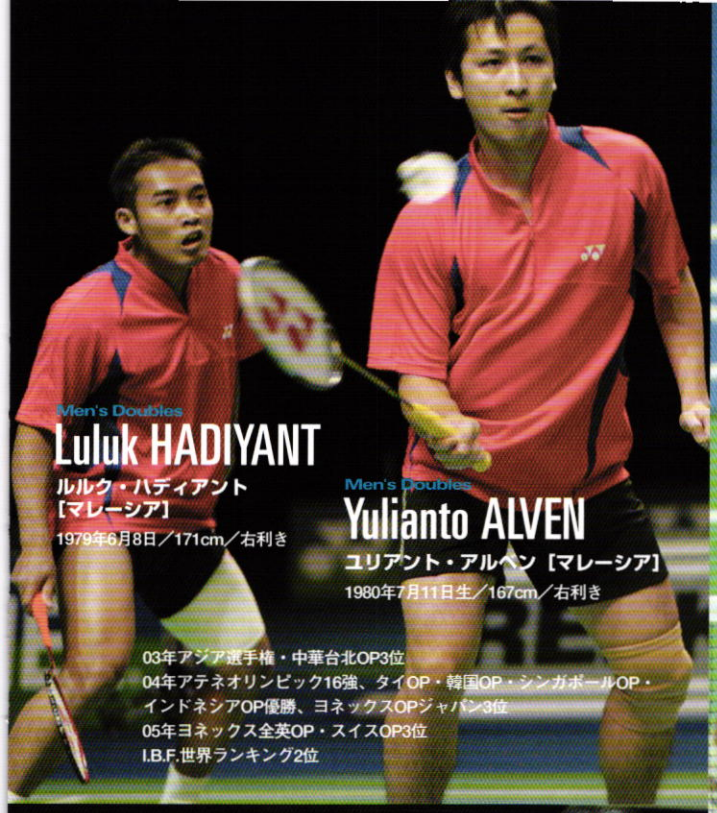


Women's Doubles
GAO Ling
高　凌　ガオ・リン【中　国】
1979年3月14日生／169cm／右利き



Women's Doubles
HUANG Sui
黄　穂　ホワン・スイ【中　国】
1982年1月8日生／172cm／右利き

01・02・03・04・05年ヨネックス全英OP優勝
01年世界選手権優勝
01・03年ヨネックスOPジャパン優勝
02・03年中国OP優勝
03年世界選手権・インドネシアOP・香港OP優勝、マレーシアOP2位
04年アテネオリンピック2位・スイスOP優勝
05年ヨネックスドイツOP優勝
I.B.F.世界ランキング3位



Men's Doubles
Luluk HADIYANT
ルルク・ハディアント【マレーシア】
1979年6月8日／171cm／右利き

Men's Doubles
Yulianto ALVEN
ユリアント・アルベン【マレーシア】
1980年7月11日生／167cm／右利き

03年アジア選手権・中華台北OP3位
04年アテネオリンピック16強、タイOP・韓国OP・シンガポールOP・インドネシアOP優勝、ヨネックスOPジャパン3位
05年ヨネックス全英OP・スイスOP3位
I.B.F.世界ランキング2位



Men's Doubles
Eng HIAN
エン・ヒアン【インドネシア】
1977年5月17日生／175cm／右利き

Men's Doubles
Flandi LIMPELE
フランディー・リンペレ【インドネシア】
1974年2月9日生／181cm／左利き

00年シドニーオリンピック8強
03年スイスOP・ヨネックスOPジャパン・ヨネックスドイツOP優勝
04年アテネオリンピック3位、アジア選手権・ヨネックス全英OP・ヨネックスOPジャパン3位
I.B.F.世界ランキング5位



Men's Doubles
Martin LUNDGAARD HANSEN
マーチン・ルンドガード・ハンセン【デンマーク】
1972年10月11日生／186cm／右利き



Men's Doubles
Jens ERIKSEN
イエンス・エリクセン【デンマーク】
1969年12月30日生／192cm／右利き

04年アテネオリンピック4位、ヨネックス全英OP・ヨーロッパ選手権優勝、シンガポールOP2位、デンマークOP・中国OP3位
05年韓国OP優勝、ヨネックスドイツOP2位
I.B.F.世界ランキング1位

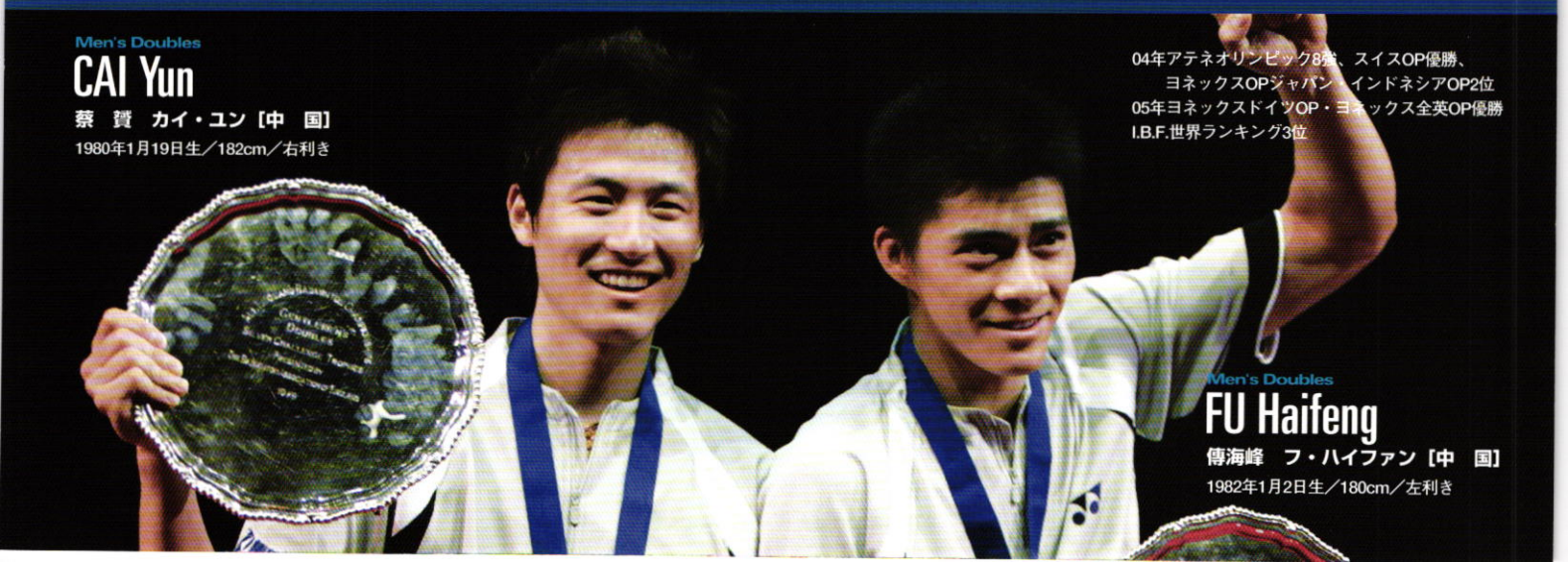
03年世界選手権・中国OP優勝、シンガポールOP2位
04年アテネオリンピック16強、デンマークOP優勝
05年ヨネックス全英OP2位、スイスOP3位
I.B.F.世界ランキング4位



Men's Doubles
Lars PAASKE
ラース・パースク【デンマーク】
1976年1月18日生／186cm／右利き

Men's Doubles
Jonas RASMUSSEN
ヨナス・ラスムセン【デンマーク】
1977年10月28日生／184cm／右利き

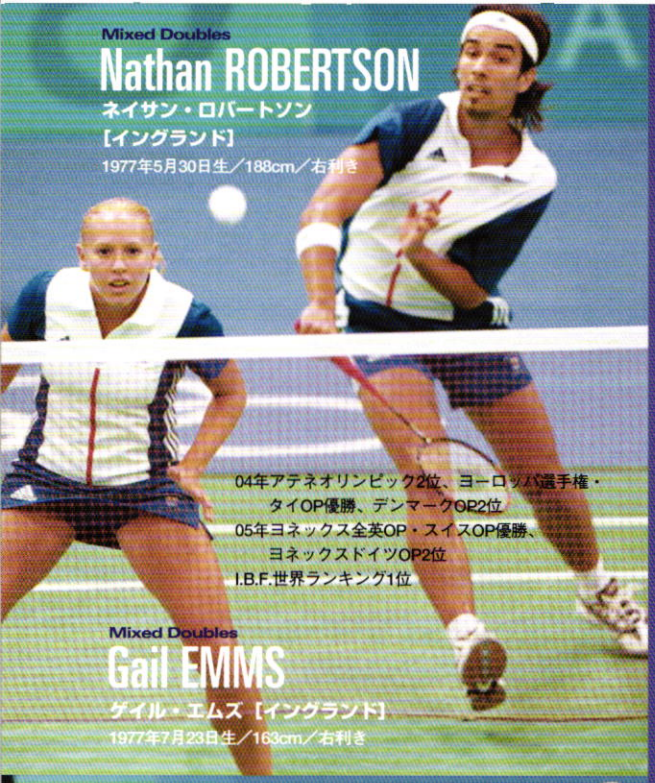
YONEX OPEN JAPAN 2005 PREVIEW



Men's Doubles
CAI Yun
蔡　贇　カイ・ユン【中　国】
1980年1月19日生／182cm／右利き

04年アテネオリンピック8強、スイスOP優勝、ヨネックスOPジャパン・インドネシアOP2位
05年ヨネックスドイツOP・ヨネックス全英OP優勝
I.B.F.世界ランキング3位

Men's Doubles
FU Haifeng
傅海峰　フ・ハイファン【中　国】
1982年1月2日生／180cm／左利き



Mixed Doubles
Nathan ROBERTSON
ネイサン・ロバートソン
[イングランド]
1977年5月30日生／188cm／右利き

04年アテネオリンピック2位、ヨーロッパ選手権・タイOP優勝、デンマークOP2位
05年ヨネックス全英OP・スイスOP優勝、ヨネックスドイツOP2位
I.B.F.世界ランキング1位

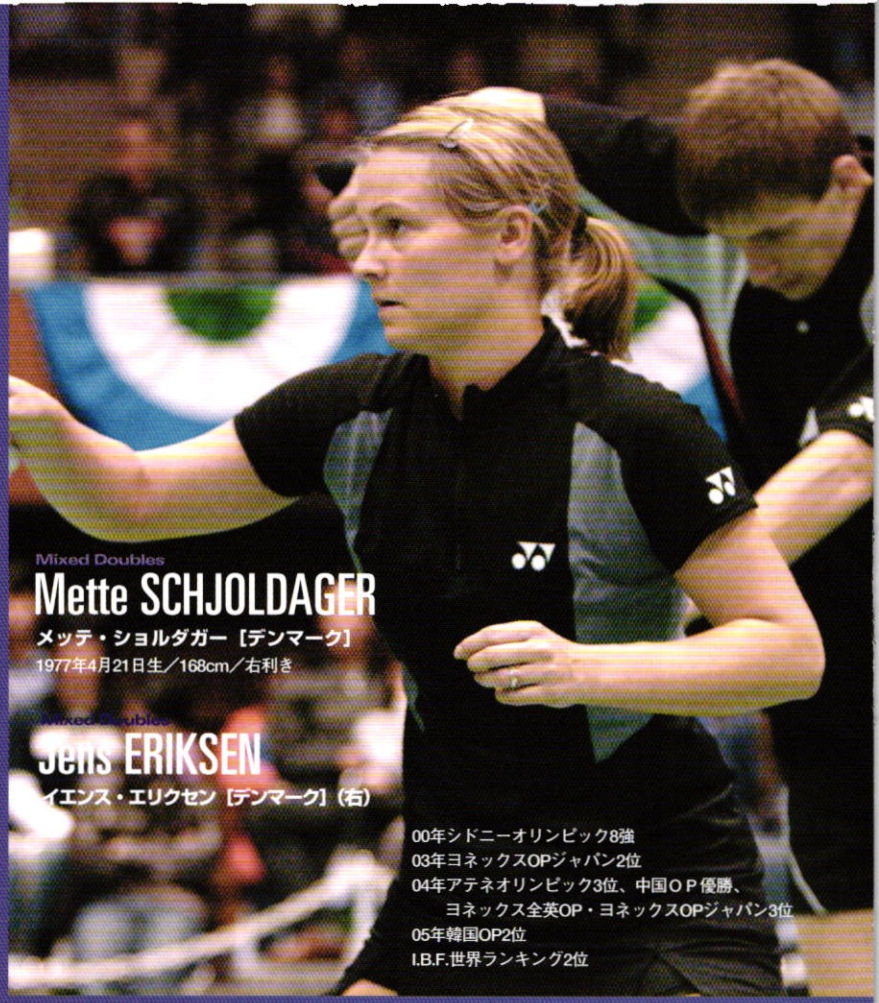
Mixed Doubles
Gail EMMS
ゲイル・エムズ［イングランド］
1977年7月23日生／163cm／右利き



Mixed Doubles
ZHANG Jun
張　軍　ツァン・ジュン［中　国］
1977年11月26日生／175cm／左利き

00年シドニーオリンピック・タイOP優勝
01年世界選手権優勝
01・03年ヨネックス全英OP優勝
02年アジア選手権・中国OP優勝
03年世界選手権2位、ヨネックスOPジャパン優勝
04年アテネオリンピック・マレーシアOP・インドネシアOP優勝
I.B.F.世界ランキング5位

Mixed Doubles
GAO Ling
高　凌　ガオ・リン［中　国］



Mixed Doubles
Mette SCHJOLDAGER
メッテ・ショルダガー［デンマーク］
1977年4月21日生／168cm／右利き

Mixed Doubles
Jens ERIKSEN
イエンス・エリクセン［デンマーク］（右）

00年シドニーオリンピック8強
03年ヨネックスOPジャパン2位
04年アテネオリンピック3位、中国ＯＰ優勝、ヨネックス全英OP・ヨネックスOPジャパン3位
05年韓国OP2位
I.B.F.世界ランキング2位



Mixed Doubles
Sudket PRAPAKAMOL
スッケー・プラパカモル［タ イ］
1980年2月8日生／171cm／右利き

03・04年韓国OP3位
04年アテネオリンピック16強、タイOP・ヨネックスOPジャパン・アジア選手権2位
05年ヨネックス全英OP3位
I.B.F.世界ランキング4位



Mixed Doubles
Saralee THUNGTHONGKAM
サラリー・トゥントーンカム［タ イ］
1979年6月13日生／163cm／右利き

I.B.F. WORLD RANKING I.B.F.世界ランキング［2005年3月24日イングランド事務局発表］

男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス	混合ダブルス
1)リン・ダン　中国	1)ツァン・ニン　中国	1)イエンス・エリクセン／マーチン・ルンドガード・ハンセン　デンマーク	1)ヤン・ウェイ／チャン・ジェウェン　中国	1)ネイサン・ロバートソン／ゲイル・エムズ　イングランド
2)ピーター・ゲード　デンマーク	2)シェー・シンファン　中国	2)ルルク・ハディアント／ユリアント・アルベン　インドネシア	2)ウェイ・イーリー／チャオ・ティンティン　中国	2)イエンス・エリクセン／メッテ・ショルダガー　デンマーク
3)チェン・ホン　中国	3)ピ・ホンヤン　フランス	3)フ・ハイファン／カイ・ユン　中国	3)ガオ・リン／ホワン・スイウ　中国	3)チェン・チーチウ／チャオ・ティンティン　中国
4)ケネス・ヨナセン　デンマーク	4)ジュン・ジェヨン　韓国	4)ラース・パースク／ヨナス・ラスムセン　デンマーク	4)サラリー・トゥントーンカム／サーティニー・チャンクラチャンウォン　タ イ	4)スッケー・プラパカモル／サラリー・トゥントーンカム　タ イ
5)パオ・チュンライ　中国	5)ワン・チェン　香港	5)フランディー・リンベレ／エン・ヒアン　インドネシア	5)チェン・ユーチン／チェン・ウェンシン　中華台北	5)ツァン・ジュン／ガオ・リン　中国
6)リー・チョンウェイ　マレーシア	6)ツォウ・ミー　中国	6)サン・ヤン／ツェン・ポー　中国	6)ウォン・ペイティー／チン・イーフェイ　マレーシア	6)ロバート・ブレア／ナタリー・マント　イングランド
7)ウォン・チューンハン　マレーシア	7)ヤオ・ジェ　オランダ	7)チャンドラ・ウィジャヤ／ジギット・ブディアルト　インドネシア	7)イ・キョンウォン／イ・ヒョジョン　韓国	7)ノヴァ・ウィディアント／リリアナ・ナッチル　インドネシア
8)タウフィック・ヒダヤット　インドネシア	8)ゴン・ルイナ　中国	8)マシアス・ボー／カールステン・モゲンセン　デンマーク	8)エラ・トリップ／ジョアン・ライト　イングランド	8)フレドリック・バーグストロム／ジョアンナ・パーソン　スウェーデン
9)ハフィス・ハシム　マレーシア	9)ミア・アウディナ　オランダ	9)アルベルトス・スサント・ジョト／リウ・コワー　香港	9)ツァン・ダン／ツァン・ヤウェン　中国	9)ダニエル・シャーリー／サラ・ランステン・ピーターセン　ニュージーランド
10)シャー・シュエンザ　中国	10)シュー・ハイウェン　ドイツ	10)ミカエル・ロゴス／ロベルト・マシュアック　ポーランド	10)ゲイル・エムズ／ドナ・ケロッグ　イングランド	10)キム・ヨンヒョン／イ・ヒョジュン　韓国
19)佐藤翔治　日本	12)森　かおり　日本	14)舛田圭太／大束忠司　日本	33)小椋久美子／潮田玲子　日本	53)舛田圭太／小椋久美子　日本
27)山田英孝　日本	13)米倉加奈子　日本	32)松本　徹／川口馨士　日本	34)赤尾亜希／松田友美　日本	87)清水　裕／田井美幸　日本
30)池田雄一　日本	19)廣瀬栄理子　日本	38)佐藤翔治／佐々木　翔　日本	36)前田美順／末綱聡子　日本	140)池田信太郎／末綱聡子　日本

SKY PerfecTV!

スカパー！でヨネックスオープンジャパン2005を見よう!!

ヨネックスオープンジャパン2005①～⑩放送予定

- ●4月29日（金）～5月 1日（日） 12:00～18:00
- ●5月 2日（月）～5月 8日（日） 18:00～24:00

再放送

- ●5月13日（金）～5月15日（日） 12:00～18:00
- ●5月16日（月）～5月22日（日） 18:00～24:00

ヨネックスオープン以外にも各種大会を続々放送！

全日本総合選手権
全日本社会人選手権
全日本実業団選手権
日本リーグ
全国大学・高校・中学・小学生選手権
全日本レディース
全日本障害者選手権
国際親善レディースバドミントン大会2005
国　体　　他

卓球・バドミントンTV752 ￥1,050／月（税込）

卓球・バドミントンTV 752

卓球・バドミントンTV752を見るための お得なサービスが新登場!!

スカパー！初期費用 0円!!

取付おまかせ! 安心サポート!

アンテナ・チューナー代/取付工事費

※但し、スカパー！新規加入料2,940円（初回のみ）はかかります

受付期間：2005年3月31日（木）18:00まで

スカパー！チューナー・アンテナ 0円!!

スカパー！取付工事費 0円!!

卓球・バドミントンTV752 視聴料 3ヶ月分（3,150円分） 0円!!

ご注意 卓球・バドミントンTV752の視聴料は本登録完了月の翌月より3ヶ月間は無料となります。

［お申込みのご注意］

※スカパー！に新規加入（個人契約）いただき、卓球・バドミントンTV752（1,050円/月）に 1年 以上ご契約いただける方。（実質のお支払いは9ヶ月以上）
※スカパー！はアンテナを衛星の方向（南南西）に向って設置することが必要です。南南西の方向に木やビルなどの障害物がない場所で、アンテナが取付けられるか必ずご確認ください。南南西の目安は、晴天時の午後1～2時に太陽が見える方向です。
※取付工事は、特殊な工事（屋根上取付等）、その他部材が必要な場合は有料となります。詳しくは下記事務局までお問合せ下さい。
※スカパー!新規加入料2,940円（初回のみ）、スカパー！基本料金410円/月、卓球・バドミントンTV752の月額視聴料1,050円は、お客様のご負担となります。
※ご解約される場合は回収等手数料3,150円（税込）がかかります。また、ご契約後1年未満のご解約の場合は短期解約違約金10,500円（税込）がかかります。
※ご解約される場合は受信機器をご返却いただきます。尚、ご返却の際アンテナの取り外しはお客様ご自身でお願いします。［有償 6,300円（税込）にて承っております］

［お申込みの手順］

下記お電話にてお申込み下さい ▶ 機器の取付にお伺いします ▶ 加入申込書をお渡し下さい ▶ 加入手続完了！

［月々にかかる料金］

基本料金 410円 ＋ レンタル料 315円 ＋ 卓球・バドミントンTV752 1,050円

※初回のみスカパー！新規加入料金2,940円がかかります。

※表記金額はすべて税込です。

アイ・ティー・テレコム 株式会社
スカイパーフェクTV！事務局
TEL 0570-033-000
受付時間10:00～18:00（土・日・祝祭日も受付）

出場予定選手

YONEX OPEN JAPAN 2005 BADMINTON CHAMPIONSHIPS LIST OF COMPETITORS

men 男子

AUSTRALIA [オーストラリア]

Stuart BREHAUT	スチュアート・ブレホート	MS, XD
Boyd COOPER	ボイド・クーパー	MD, XD
Travis DENNY	トラビス・デニー	MD, XD

CHINA [中国]

LIN Dan	リン・ダン	林丹	MS
BAO Chunlai	バオ・チュンライ	鮑春来	MS
CHEN Hong	チェン・ホン	陳宏	MS
XIA Xuanze	シャー・シュエンザ	夏煊澤	MS
CHEN Yu	チェン・ユウ	陳郁	MS
CHEN Jin	チェン・ジン	陳金	MS
GONG Weijie	ゴン・ウェイジェ	龔偉傑	MS
NIU Jiaping	ニュウ・ジャピン	鈕佳平	MS
CAI Yun	カイ・ユン	蔡贇	MD
FU Haifeng	フ・ハイファン	傅海峰	MD
ZHENG Bo	ツェン・ボー	鄭波	MD, XD
SANG Yang	サン・ヤン	桑洋	MD
XIE Zhongbo	シェー・ツォンボー	謝中博	MD, XD
GUO Zhendong	グオ・ツェンドン	郭振东	MD
ZHANG Jun	ツァン・ジュン	張軍	XD
CHEN Qiqiu	チェン・チーチウ	陳其逑	XD

DENMARK [デンマーク]

Peter GADE	ピーター・ゲード	MS
Kenneth JONASSEN	ケネス・ヨナセン	MS
Anders BOESEN	アンダース・ボーセン	MS
Niels. Christian KALDAU	ニールス・カルダウ	MS
Jens ERIKSEN	イエンス・エリクセン	MD, XD
Martin LUNDGAARD HANSEN	マーチン・ルンドガード・ハンセン	MD
Lars PAASKE	ラース・パースク	MD
Jonas RASMUSSEN	ヨナス・ラスムセン	MD
Peter STEFFENSEN	ピーター・ステファンセン	MD, XD
Thomas LAYBOURN	トーマス・レイバーン	MD, XD
Carsten MOGENSEN	カールステン・モゲンセン	MD, XD
Mathias BOE	マシアス・ボー	MD, XD
Michael LAMP	ミカエル・ランプ	MD, XD
Rasmus Mangor ANDERSEN	ラスムス・マンゴール・アンデルセン	MD

ENGLAND [イングランド]

Andrew SMITH	アンドリュー・スミス	MS
Nicholas KIDD	ニコラス・キッド	MS
Aamir GHAFFAR	アマー・ガファー	MS
David LINDLEY	デイビッド・リンドリー	MD
Kristian ROEBUCK	クリスチャン・ローバック	MD
Simon ARCHER	サイモン・アーチャー	MD
Anthony CLARK	アンソニー・クラーク	MD, XD
Nathan ROBERTSON	ネイサン・ロバートソン	MD, XD
Robert BLAIR	ロバート・ブレア	MD, XD

GERMANY [ドイツ]

Bjoern JOPPIEN	ビョルン・ヨッピン	MS
Marc ZWIEBLER	マーク・ツヴィブラー	MS

HONG KONG [香港]

NG Wei	ン・ウェイ	呉蔚	MS
HARIYANTO Agus	ハリヤント・アグス		MS
WIRATAMA Yohan Hadikusumo	ウィラタマ・ヨハン・ハディクスモ		MS
LIU Kowk Wa	リウ・コワー		MD, XD
NJOTO Albertus Susanto	アルベルトス・スサント・ジョト	廖國華	MD, XD

INDONESIA [インドネシア]

Taufik HIDAYAT	タウフィック・ヒダヤット	MS
Frans KURNIAWAN	フラン・クルニアワン	MS, MD
Luluk HADIYANTO	ルルク・ハディアント	MD
Yulianto ALVEN	ユリアント・アルベン	MD
Flandi LIMPELE	フランディー・リンペレ	MD
Eng HIAN	エン・ヒアン	MD
Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	MD
Sigit BUDIARTO	シギット・ブディアルト	MD
Markis KIDHO	マルキス・キド	MD
Hendra SETIAWAN	ヘンドラ・セティアワン	MD
Reony MAINAKY	リオニー・マイナキー	MD
Davis EFRAIM	ダヴィス・エフライム	MD
Karel MAINAKY	カレル・マイナキー	MD
Nunung SUBANDORO	ヌヌン・スバンドロ	MD
Harmono YUWONO	ハルモノ・ユウォノ	MD
Nova WIDIANTO	ノバ・ウィディアント	XD
Anggun NUGROHO	アングン・ヌーグロホ	XD

KOREA [韓国]

LEE Cheol Ho		李詰鎬	MS
HWANG Jung Woon	ファン・ジュンウン	黄瀞雲	MS
JUN Jae Sung	ジュン・ジェサン	鄭在成	MD, XD
LEE Jae Jin	イ・ジェジン	李在珍	MD, XD
HA Tae Kweon	ハ・テコン	河泰権	MD
LEE Yong Dae	イ・ヨンデ	李龍大	MD, XD
HWANG Ji Man	ファン・ジマン	黄智萬	MD, XD
HAN Sang Hoon	ハン・サンフン	韓相訓	MD, XD

MALAYSIA [マレーシア]

LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	MS
WONG Choong Hann	ウォン・チューンハン	MS
M. Roslin HASHIM	ロスリン・ハシム	MS
Muhd Hafiz B HASHIM	ムハンマド・ハフィス・ハシム	MS
KUAN Beng Hong	クアン・ベンホン	MS
AYOB Sairul Amar	サリル・アマー・アヨブ	MS
LEE Tsuen Seng	リー・ツェンセン	MS
YEOH Kay Bin	ヨー・ケイビン	MS
KRISHNAN Yogendran	ヨゲンドラン・クリシュナン	MS
PEI Wei Chung	ペイ・ウィーチュン	MS
SAMEON Salim	サリム・サイモン	MS
CHOONG Tan Fook	チューン・タンフック	MD
CHEW Choon Eng	チュー・チューンエン	MD
KOO Kien Keat	クー・ケンケット	MD, XD
CHAN Chong Ming	チャン・チョンミン	MD
MOHD Fairuzizuan B Tazari	フェアルジズアン・タザリ・モハメド	MD
LIN Woon Fui	リン・ワンフイ	MD
TAN Bin Shen	タン・ビンシェン	MD
ONG Soon Hock	オン・スンホック	MD
GAN Teik Chai	ガン・テックチャイ	MD, XD
ABDUL LATIF Mohd Zakry	ムハド・サクリィ・アブドゥル・ラフィフ	MD

MONGOLIA [モンゴル]

Enkhbat OLONBAYAR	インフバット・オロンバヤル	MS

NETHERLAND [オランダ]

Dicky PALYAMA	ディッキー・パルヤマ	MS
Eric PANG	エリック・パン	MS

NEW ZEALAND [ニュージーランド]

Geoffrey R BELLINGHAM	ジェフリー・ベリンガム	MS, MD
John GORDON	ジョン・ゴードン	MD
Daniel A SHIRLEY	ダニエル・シャーリー	MD, XD
Craig COOPER	クレイグ・クーパー	MD, XD

NORWAY [ノルウェイ]

Jim Ronny ANDERSEN	ジム・ロニー・アンデルセン	MS

PHILIPPINES [フィリピン]

Kennevic ASUNCION	ケネビック・アスンソン	洪育雄	MS, XD

SINGAPORE [シンガポール]

Ronald SUSILO	ロナルド・スシロ	MS
Yen Hui Kendrick LEE	リー・イェンフイ・ケンドリック	MS
Hendry Kurniawan	ヘンドリー・クルニアワン・サプトラ	XD

CHINESE TAIPEI [中華台北]

CHEN Chih Hao	チェン・チーハオ	陳志豪	MS, XD
HUANG Shih Chung	ファン・シーチュン	黄世忠	MD
CHIEN Yu Hsiu	チェン・ユーシュン	簡佑甸	MD, XD
LIN Wei Hsiang	リン・ウェイシァン	林偉翔	MD, XD
LIN Yu Lang	リン・ユーラン	林祐瑯	MD, XD

THAILAND [タイ]

Boonsak PONSANA	ブーンサック・ポンサナ	MS
Sudket PRAPAKAMOL	スッケー・プラパカモル	MD, XD
Patapol NGERNSRISUK	パタポン・グンシースク	MD

U.S.A. [アメリカ]

Raju RAI	ラジュ・ライ	MS
Eric GO	エリック・ゴー	MS
Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	MD
Howard BACH	ハワード・バック	MD

JAPAN [日本]

Shoji SATO	佐藤翔治（NTT東日本）	MS, MD
Shinya OHTSUKA	大束真也（トナミ運輸）	MS
Sho SASAKI	佐々木 翔（北都銀行）	MS, MD
Hidetaka YAMADA	山田英孝（日本ユニシス）	MS
Yousuke NAKANISHI	中西洋介（日本ユニシス）	MS
Yusuke SHINKAI	新開裕介（NTT東日本）	MS, MD
Koichi SAEKI	佐伯浩一（日本大学4年）	MS
Yuichi IKEDA	池田雄一（ヨネックス）	MS
Jun TAKEMURA	竹村 純（JR北海道）	MS
Toru MATSUMOTO	松本 徹（NTT東日本）	MS, MD
Hiroshi SHIMIZU	清水 裕（NTT東日本）	MS
Mao FUJITA	藤田真生（法政大学1年）	MS, MD
Hiroyuki ENDO	遠藤大由（日本体育大学1年）	MS
Shuhei HAYASHAKI	早崎修平（比叡山高校3年）	MS, MD
Yoshio HORIKAWA	堀川善生（法政大学1年）	MS
Tomoya INOUE	井上知也（中央大学3年）	MS
Keishi KAWAGUCHI	川口馨士（NTT東日本）	MS, MD
Shinji SHINKAI	新開慎士（ヨネックス）	MS, MD
Keita MASUDA	舛田圭太（トナミ運輸）	MD, XD
Tadashi OHTSUKA	大束忠司（トナミ運輸）	MD, XD
Shuichi SAKAMOTO	坂本修一（日本ユニシス）	XD
Shintaro IKEDA	池田信太郎（日本ユニシス）	MD, XD
Naoki KAWAMAE	川前直樹（NTT東日本）	MD, XD
Hajime KOMIYAMA	小宮山 元（日本体育大学助手）	MD
Noriyasu HIRATA	平田典靖（日本体育大学4年）	MD, XD
Kenichi HAYAKAWA	早川賢一（日本大学1年）	MD
Masayuki SAKAI	酒井将之（トナミ運輸）	MD
Masahiko KINOSHITA	木下政彦（トナミ運輸）	MD
Daisuke YAMASHITA	山下大介（佐賀県）	XD
Norio IMAI	今井紀夫（トナミ運輸）	XD
Shinji OHTA	太田慎二（NTT東日本）	XD
Tsuyoshi FUKUI	福井剛士（日本ユニシス）	XD

women 女子

AUSTRALIA [オーストラリア]

Kellie LUCAS	ケリー・ルーカス	WS, WD, XD
Tania LUIZ	タニア・ルイズ	WD, XD
Kate WILSON-SMITH	ケイト・ウィルソン・スミス	WD, XD

CHINA [中国]

ZHANG Ning	ツァン・ニン	張寧	WS
XIE Xingfang	シェー・シンファン	謝杏芳	WS
ZHOU Mi	ツォウ・ミー	周蜜	WS
LU Lan	ルー・ラン	卢兰	WS, WD
JIANG Yanjiao	ジァン・ヤンジァオ	蒋燕皎	WS, WD
ZHU Lin	ズー・リン	朱琳	WS
YANG Wei	ヤン・ウェイ	楊維	WD
ZHANG Jiewen	チャン・ジェウェン	張潔雯	WD
GAO Ling	ガオ・リン	高凌	WD, XD
HUANG Sui	ファン・スイ	黄穂	WD, XD
WEI Yili	ウェイ・イーリー	魏秋力	WD
ZHAO Tingting	チャオ・ティンティン	趙婷婷	WD, XD
ZHANG Dan	ツァン・ダン	張丹	WD
ZHANG Yawen	ツァン・ヤウェン	張亚雯	WD, XD

DENMARK [デンマーク]

Tine RASMUSSEN	ティーネ・ラスムセン	WS
Rikke OLSEN	リッケ・オルセン	WD, XD
Mette SCHJOLDAGER	メッテ・ショルダガー	WD, XD
Lena FRIER KRISTIANSEN	レナ・フレイア・クリステンセン	WD, XD
Kamilla RYTTER JUHL	カミラ・レター・ジュヒル	WD, XD
Pernille HARDER	パーニル・ハーダー	WD, XD
Helle NIELSEN	ヘール・ニルセン	WD, XD

ENGLAND [イングランド]

Tracey HALLAM	トレーシー・ハラム	WS, WD
Elizabeth CANN	エリザベス・カン	WS
Ella TRIPP	エラ・トリップ	WD
Joanne WRIGHT	ジョアン・ライト	WD
Gail EMMS	ゲイル・エムズ	WD, XD
Donna KELLOGG	ドナ・ケロッグ	WD, XD
Natalie MUNT	ナタリー・マント	WD, XD

FRANCE [フランス]

Tatiana VATTIER	タティアナ・ヴァティー		WS
Hong Yan PI	ホン・ヤン・ピ	皮紅艶	WS

GERMANY [ドイツ]

Huaiwen XU	シュー・ハイウェン	徐懐雯	WS
Juliane SCHENK	ジュリエン・シュネック		WS, WD
Nicole GRETHER	ニコール・グレター		WS, WD

HONG KONG [香港]

WANG Chen	ワン・チェン	王晨	WS, XD
KOON Wai Chee Luisa	クン・ワイチー	官惠慈	WD, XD
LI Wing Mui	リー・ウィンムイ	李詠梅	WD

INDONESIA [インドネシア]

Firdasari ADRIANTI	フィルダーサリ・アドリアンティ	WS
Fransisca RATNASARI	フランシスカ・ラトナサリ	WS
Jo NOVITA	ジョー・ノヴィタ	WS
Gresyia POLII	グレシア・ポリー	WD
Lita NURLITA	リタ・ヌルリタ	WD
Rani MUNDIASTI	ラニ・ヌンディアスティ	WD
Lilyana NATSIR	リリアナ・ナッチル	XD
Yunita TETTY	ユニタ・テッティ	XD

KOREA [韓国]

LEE Yun Hwa	イ・ユンファ	李蓮花	WS
SEO Yoon Hee	セオ・ヨンヒー	徐潤熙	WS
LEE Kyung Won	イ・キョンウォン	李敬元	WD, XD
LEE Hyo Jung	イ・ヒョジュン	李孝貞	WD, XD
HWANG Yu Mi	ファン・ユミ	黄遊美	WD, XD
JUN Woul Sik	ジュン・ウルシク	田月植	WD, XD
HA Jung Eun	ハ・ジュンユン	河貞恩	WD, XD
PARK Soo Hee	パク・スヒ	朴秀熙	WD

MALAYSIA [マレーシア]

WONG Mew Choo	ウォン・ミューチュー	WS
SUTHEASWARI Mudukasan	ムドゥカサン・スシアスワリ	WS
WONG Pei Tty	ウォン・ペイティ	WD, XD
CHIN Eei Hui	チン・イーフェイ	WD
FONG Chew Yen	フォン・チューイェン	WD, XD
SEE Phui Leng	フイレン・シー	WD
LIM Pek Siah	リム・パッシャー	WD
ANG Li Peng	アン・リーペン	WD

NETHERLAND [オランダ]

Mia AUDINA TJIPTAWAN	ミア・アウディナ	WS
Jie YAO	ヤオ・ジエ	WS

NEW ZEALAND [ニュージーランド]

Sara RUNESTEN PETERSEN	サラ・ランステン・ピーターセン	WD, XD
Lianne SHIRLEY	リアン・シャーリー	WD, XD

PHILIPPINES [フィリピン]

Kennie ASUNCION	ケニー・アスンソン	洪湘琳	XD

SINGAPORE [シンガポール]

Li LI	リー・リー	WS
Aiying XING	シン・アイーン	WS
Yanmei JIANG	ジアン・ヤンメイ	WD
Yujia LI	ユジャ・リー	WD, XD

CHINESE TAIPEI [中華台北]

CHENG Shao-Chieh	チェン・シャオチェー	鄭韶婕	WS, XD
CHIU Yi Ju	チュー・イージュ	邱翌如	WS
HUANG Chia-Hsin	ファン・チァシン	黃嘉欣	WS
CHANG Ya-Lan	チャン・ヤーラン	張雅嵐	WS, WD, XD
CHANG Li Yin	チャン・リーイン	張麗瑩	WS, WD
KU Pei-Ting	ク・ペイティン	辜姵婷	WD, XD
CHOU Chia-Chi	チョウ・チァーチ	周佳琦	WD, XD

THAILAND [タイ]

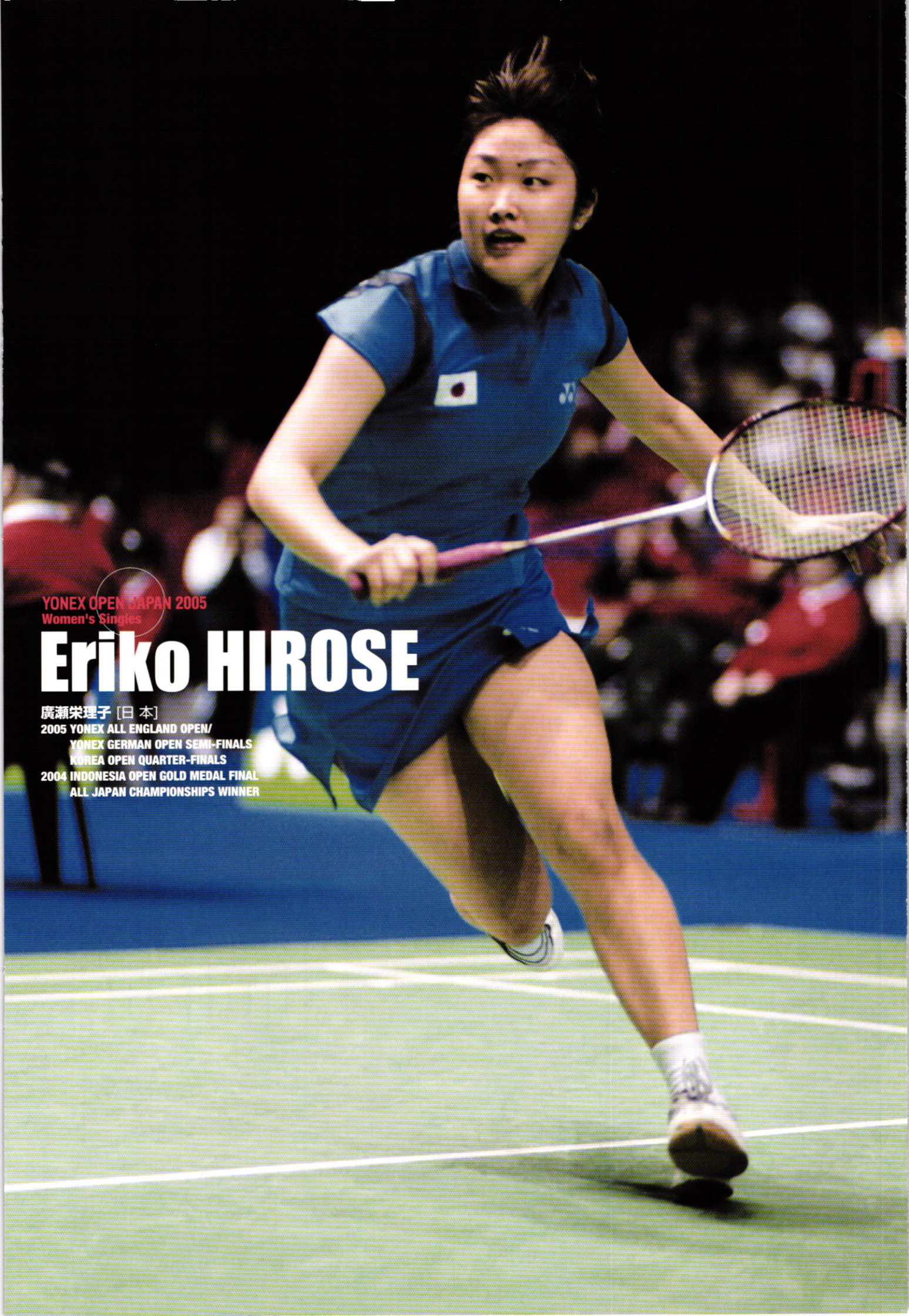
Salakjit PONSANA	サラキット・ポンサナ	WS, WD
Saralee THUNGTHONGKAM	サラリー・トゥントーンカム	WD, XD
Sathinee CHANKRACHANGWONG	サーティニー・チャンクラチャンウォン	WD
Duang-Anong ARUNKESORN	ドゥアン・アノン・アルンケソーン	WD
Kulchala WORAWICHITCHAIKUL	クルチャラ・ウォラウイチツアイクル	WD
Sujitra EKMONGKOLPAISARN	スジトラ・エクモンコルパイサーン	WD

U.S.A. [アメリカ]

Eva LEE	エヴァ・リー	WS, WD
Jennifer COLEMAN	ジェニファー・コールマン	WS
Mesinee MANGKALAKIRI	メセニー・マングカラキリ	WD

JAPAN [日本]

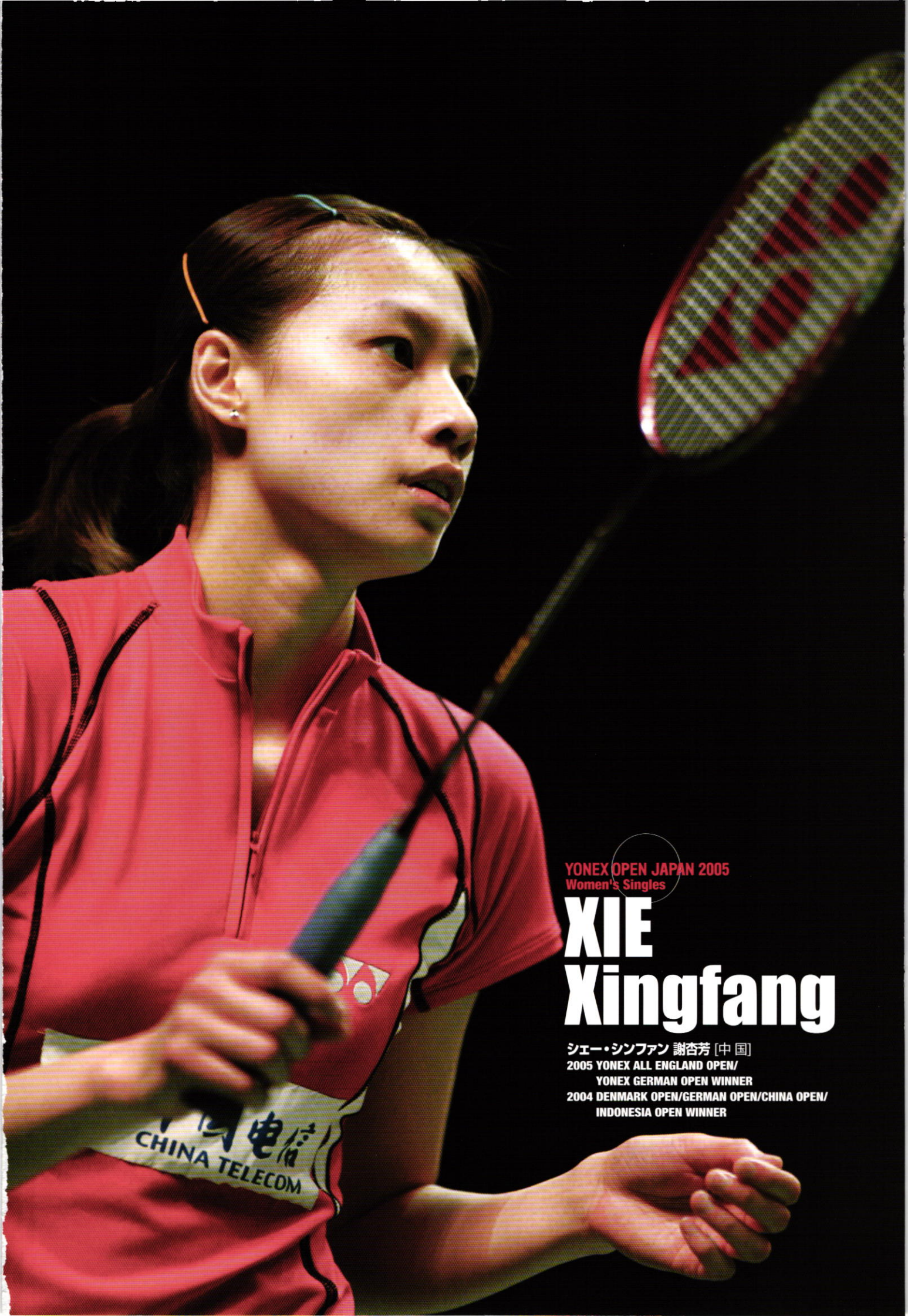
Eriko HIROSE	廣瀬栄理子（三洋電機）	WS
Kanako YONEKURA	米倉加奈子（ヨネックス）	WS, WD
Yu HIRAYAMA	平山 優（早稲田大学2年）	WS
Kaori MORI	森 かおり（三洋電機）	WS
Chie UMEZU	梅津知恵（茨城トヨペット）	WS, WD
Yoshimi HATAYA	幡谷好美（NEC九州）	WS
Ai GOTO	後藤 愛（東海女子大学4年）	WS
Mihoko MATSUO	松尾美穂子（諫早高校教員）	WS
Kyoko KOMURO	小室恭子（尚美学園大学職員）	WS
Kaori IMABEPPU	今別府香里（三洋電機）	WS
Miyo AKAO	赤尾美代（昭和学園高職員）	WS
Ai HIRAYAMA	平山 愛（七十七銀行）	WS
Megumi TARUNO	樽野 恵（金沢向陽高校2年）	WS
Mizuki FUJII	藤井瑞希（青森山田高校2年）	WS
Mizuho MURAMATSU	村松瑞穂（筑波大学2年）	WS
Mai GOTO	後藤 舞（立命館大学3年）	WS
Nozomi KAMETANI	亀谷 望（ヨネックス）	WS
Tomoko KOYANAGI	小柳知子（ヨネックス）	WS
Kumiko OGURA	小椋久美子（三洋電機）	WD
Reiko SHIOTA	潮田玲子（三洋電機）	WD
Aki AKAO	赤尾亜希（ヨネックス）	WD, XD
Tomomi MATSUDA	松田友美（ヨネックス）	WD, XD
Satoko SUETSUNA	末綱聡子（NEC九州）	WD, XD
Miyuki MAEDA	前田美順（NEC九州）	WD, XD
Mami NAITO	内藤真実（日本体育大学1年）	WD, XD
Hiroko SHIMIZU	清水寛子（日本体育大学1年）	WD
Miyuki TAI	田井美幸（NTT東日本）	WD
Noriko OKUMA	大熊倫子（ヨネックス）	WD, XD
Naoko OGAWA	小川尚子（七十七銀行）	WD
Mikako NAGANAWA	長縄美佳子（七十七銀行）	WD
Maiko NAKA	中 麻依子（NTT北海道）	WD
Eriko IWAMATSU	岩松絵理子（NTT北海道）	WD
Yuki WATAHIKI	綿引悠貴（つくば国際大学3年）	WD
Yasuyo IMABEPPU	今別府靖代（ヨネックス）	WD, XD
Izumi HONDA	本田いずみ（NTT東日本）	WD
Chihiro MIURA	三浦ちひろ（NTT東日本）	WD
Aiko SHIRAYAMA	白山愛子（ヨネックス）	WD
Aki KUDO	工藤亜紀（ヨネックス）	WD
Megumi HIKICH	引地 恵（NEC九州）	XD
Masami YAMAZAKI	山崎 雅美（北都銀行）	XD



YONEX OPEN JAPAN 2005
Women's Singles

Eriko HIROSE

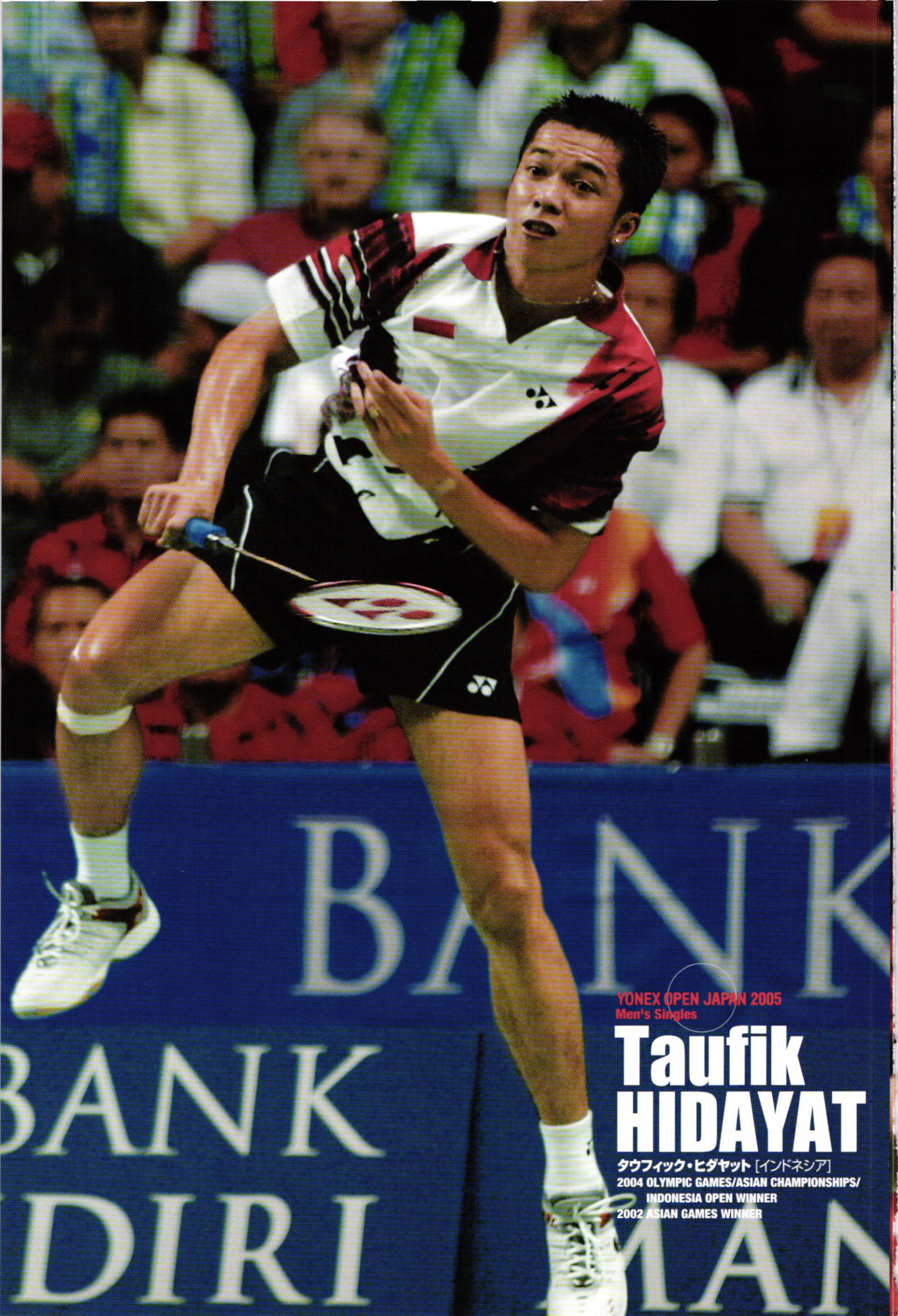
廣瀬栄理子 [日 本]
2005 YONEX ALL ENGLAND OPEN/
YONEX GERMAN OPEN SEMI-FINALS
KOREA OPEN QUARTER-FINALS
2004 INDONESIA OPEN GOLD MEDAL FINAL
ALL JAPAN CHAMPIONSHIPS WINNER



YONEX OPEN JAPAN 2005
Women's Singles

XIE Xingfang

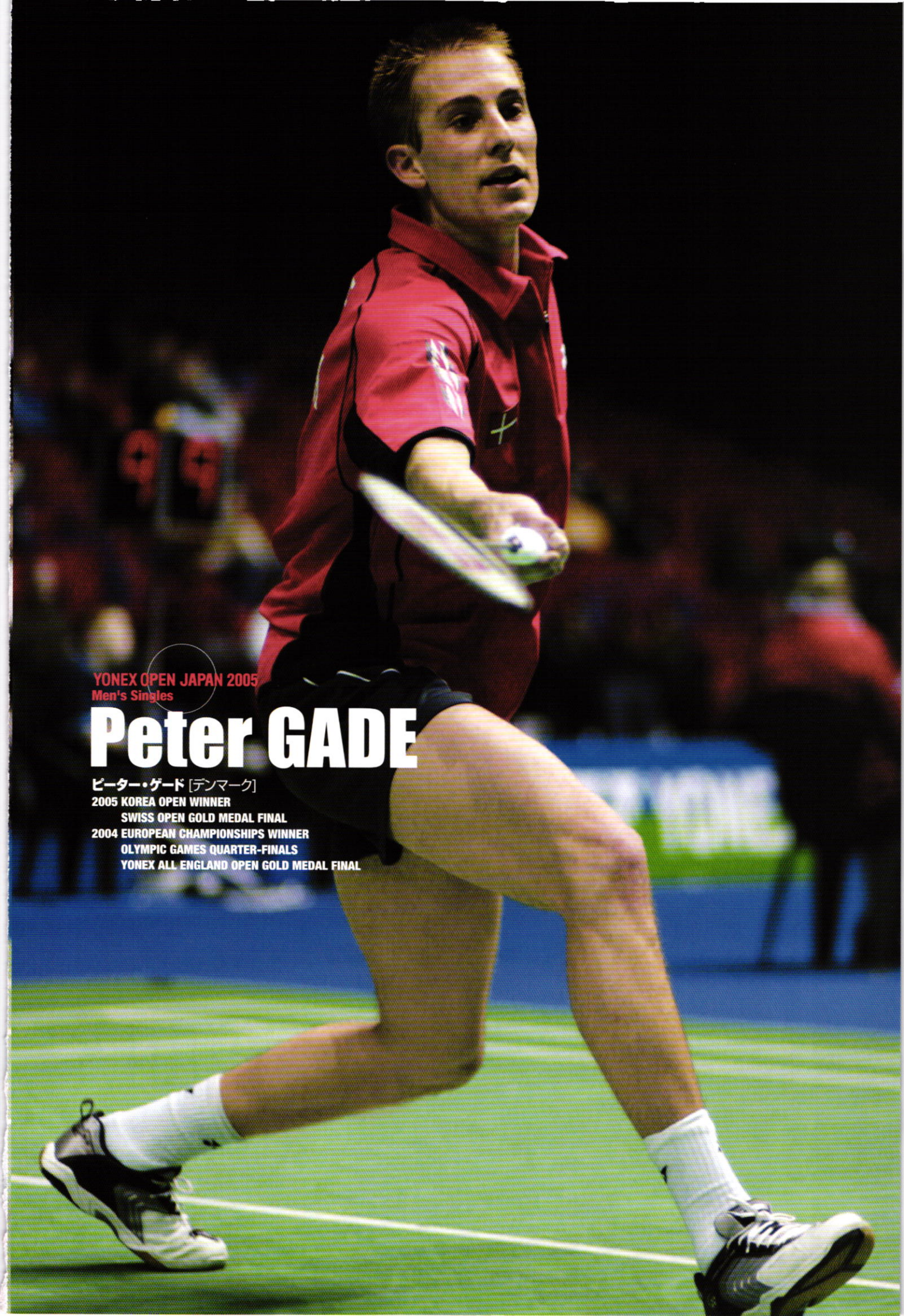
シエー・シンファン 謝杏芳 [中国]
2005 YONEX ALL ENGLAND OPEN/
YONEX GERMAN OPEN WINNER
2004 DENMARK OPEN/GERMAN OPEN/CHINA OPEN/
INDONESIA OPEN WINNER



YONEX OPEN JAPAN 2005
Men's Singles

Taufik HIDAYAT

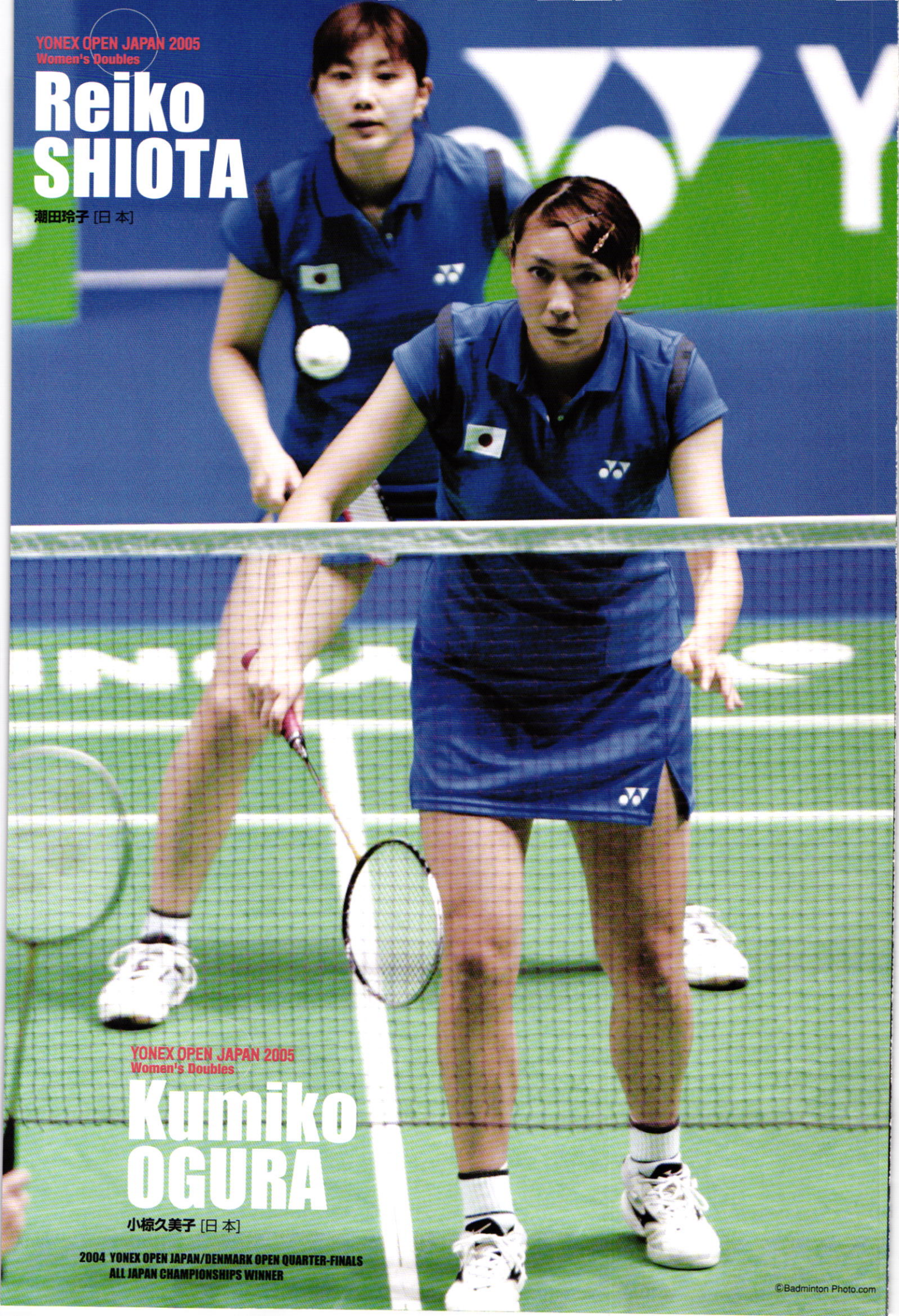
タウフィック・ヒダヤット [インドネシア]
2004 OLYMPIC GAMES/ASIAN CHAMPIONSHIPS/
INDONESIA OPEN WINNER
2002 ASIAN GAMES WINNER



YONEX OPEN JAPAN 2005
Men's Singles

Peter GADE

ピーター・ゲード [デンマーク]
2005 KOREA OPEN WINNER
SWISS OPEN GOLD MEDAL FINAL
2004 EUROPEAN CHAMPIONSHIPS WINNER
OLYMPIC GAMES QUARTER-FINALS
YONEX ALL ENGLAND OPEN GOLD MEDAL FINAL

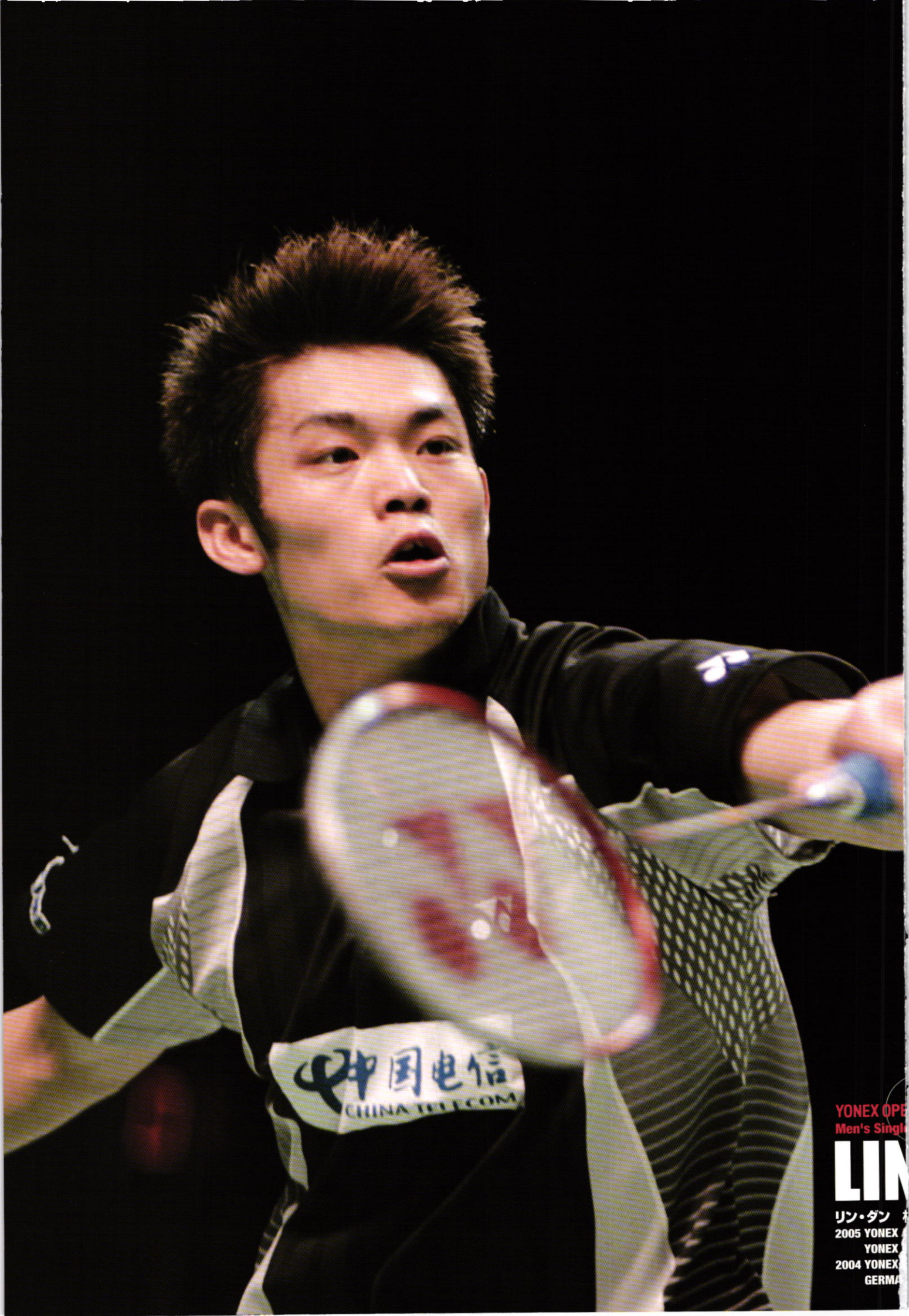

YONEX OPEN JAPAN 2005
Women's Doubles
Reiko
SHIOTA
潮田玲子 [日 本]
YONEX OPEN JAPAN 2005
Women's Doubles
Kumiko
OGURA
小椋久美子 [日 本]
2004 YONEX OPEN JAPAN/DENMARK OPEN QUARTER-FINALS
ALL JAPAN CHAMPIONSHIPS WINNER
©Badminton Photo.com



N JAPAN 2005
es

l Dan

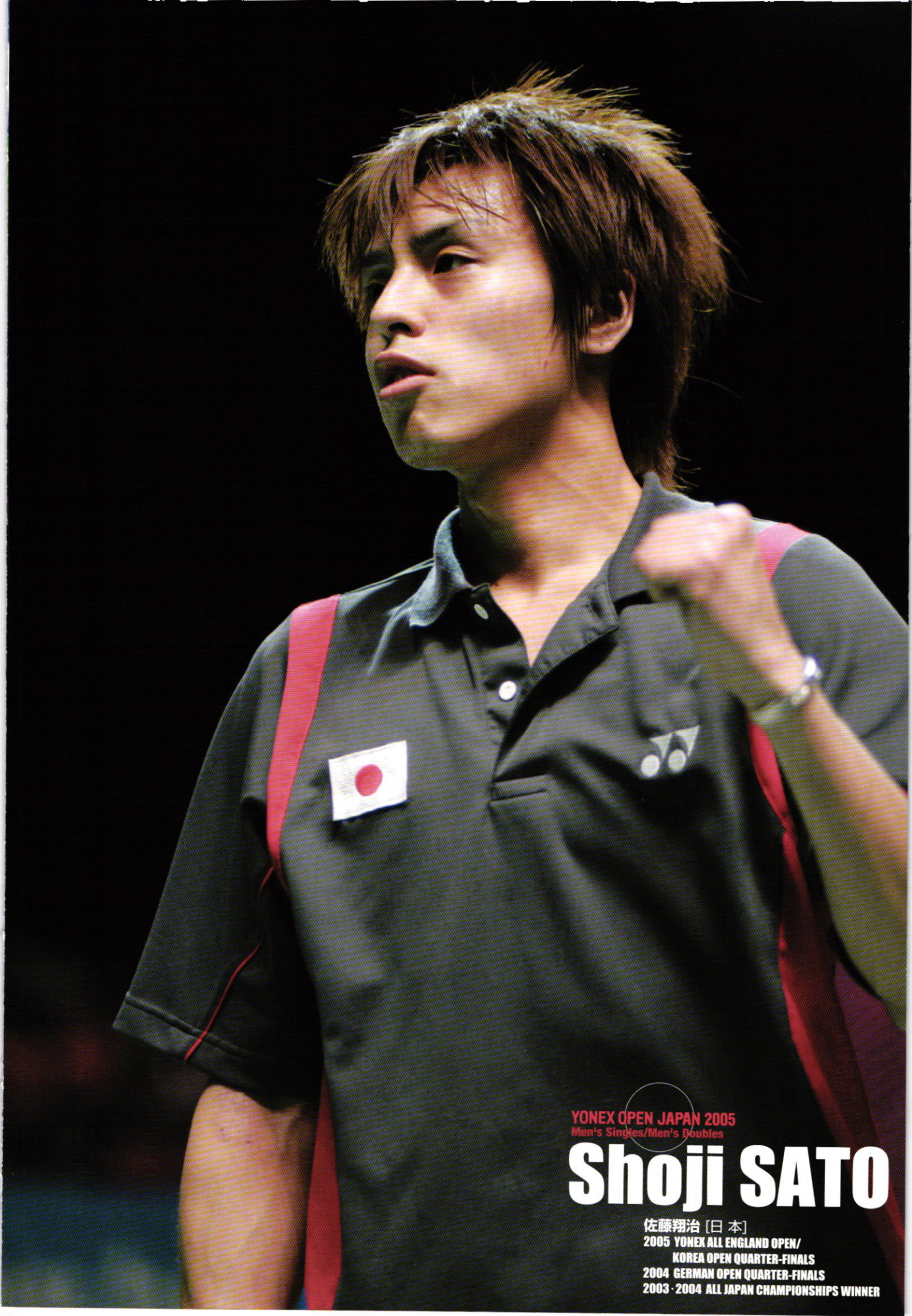
林丹 [中国]
LL ENGLAND OPEN GOLD MEDAL FINAL
ERMAN OPEN WINNER
L ENGLAND OPEN/SWISS OPEN/DENMARK OPEN/
OPEN/CHINA OPEN WINNER



YONEX OPE
Men's Singl

LIN

リン・ダン
2005 YONEX
YONEX
2004 YONEX
GERMA



YONEX OPEN JAPAN 2005
Men's Singles/Men's Doubles

Shoji SATO

佐藤翔治 [日 本]
2005 YONEX ALL ENGLAND OPEN/
KOREA OPEN QUARTER-FINALS
2004 GERMAN OPEN QUARTER-FINALS
2003・2004 ALL JAPAN CHAMPIONSHIPS WINNER

YONEX OPEN JAPAN BADMINTON CHAMPIONSHIPS
1982-2004 RESULTS

ヨネックスオープンジャパン歴代優勝者

2004 東京都

WINNER（優勝）

MS	Ronald SUSIRO	ロナルド・スシロ	シンガポール
WS	Mia AUDINA TJIPTAWAN	ミア・アウディナ	オランダ
MD	HA Tae Kweon	ハ・テコン 河泰権	韓国
	KIM Dong Moon	キム・ドンムン 金東文	
WD	RA Kyung Min	ラ・キョンミン羅景民	韓国
	LEE Kyung Won	イ・キョンウォン 李敬元	
XD	Nova WIDIANTO	ノヴァ・ウィディアント	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

GOLD MEDAL FINAL（準優勝）

MS	BAO Chunlai	バオ・チュンライ 鮑来春	中国
WS	GONG Ruina	ゴン・ルイナ 龔睿娜	中国
MD	CAI Yun	カイ・ユン 蔡贇	中国
	FU Haifeng	フ・ハイファン 傅海峰	
WD	WEI Yili	ウェイ・イーリー 魏軼力	中国
	ZHAO Tingting	チャオ・ティンティン 趙婷婷	
XD	Sudket PRAPAKAMOL	スッケー・プラパカモル	タイ
	Saralee THUNGTHONGKAM	サラリー・トゥントーンカム	

1982 兵庫県神戸市

MS	Thomas Kihlstrom	トーマス・キールストローム	スウェーデン
WS	Li Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Kartono	カルトノ	インドネシア
	R.Heryanto	ルディ・ヘリヤント	
WD	Nora Perry	ノラ・ペリー	イングランド
	Jane Webster	ジェーン・ウェブスター	
XD	Michael Tredgett	マイケル・トレジェット	イングランド
	Nora perry	ノラ・ペリー	

1983 神奈川県横浜市

MS	Han Jian	韓　健	中国
WS	Han Aiping	韓愛平	中国
MD	Thomas Kihlstrom	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Stefan Karlsson	ステファン・カールソン	
WD	Gillian Gilks	ジリアン・ギルクス	イングランド
	Gillian Clark	ジリアン・クラーク	
XD	Thomas Kihlstrom	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Nora perry	ノラ・ペリー	イングランド

1984 東京都

MS	Morten Frost	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	Zheng Yuli	鄭豆鯉	中国
MD	Thomas Kihlstrom	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Stefan Karlsson	ステファン・カールソン	
WD	Karen Beckman	カレン・ベックマン	イングランド
	Gillian Gilks	ジリアン・ギルクス	
XD	Martin Dew	マーチン・デュー	イングランド
	Gillian Gilks	ジリアン・ギルクス	

1985 東京都・群馬県桐生市

MS	Zhao Jianhua	趙剣華	中国
WS	Wu Jianqiu	呉健秋	中国
MD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Kim Moon Soo	金文秀	
WD	Kim Yun Ja	金綸子	韓国
	Yoo Sang Hee	柳尚希	
XD	Billy Gilliland	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Gillian Gowers	ジリアン・ゴワーズ	イングランド

1986 東京都・群馬県桐生市

MS	Yang Yang	楊　陽	中国
WS	Li Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Razif Sidek	ラジフ・シデク	マレーシア
	Jalani Sidek	ジャラニ・シデク	
WD	Wu Dixi	呉迪西	中国
	Lin Ying	林　瑛	
XD	Billy Gilliland	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Nora Perry	ノラ・ペリー	イングランド

1987 大阪府守口市

MS	Xiong Guobao	熊国宝	中国
WS	Li Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Liem Swie King	リム・スイ・キン	インドネシア
	Eddy Hartono	エディ・ハルトノ	
WD	Lin Ying	林　瑛	中国
	Guan Weizhen	関渭貞	
XD	Lee Deuck Choon	李得春	韓国
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1988 東京都・群馬県桐生市

MS	Nick Yates	ニック・イエーツ	イングランド
WS	Han Aiping	韓愛平	中国
MD	Tian Bingyi	田秉毅	
	Li Yongbo	李永波	中国
WD	Chung Myung Hee	鄭明熙	韓国
	Chung So Young	鄭素英	
XD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1989 東京都

MS	Yang Yang	楊　陽	中国
WS	Li Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Lee Song Bok	李相福	
WD	Gillian Clark	ジリアン・クラーク	イングランド
	Jilie Mundy	ジリー・ムンディー	
XD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1990 東京都

MS	Morten Frost	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	Huang Hua	黄　華	中国
MD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Kim Moon Soo	金文秀	
WD	Yae Fen	姚　芬	中国
	Lai Caiqin	頼彩勤	
XD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1991 東京都

MS	Ardy.B.Wiranata	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Huang Hua	黄　華	中国
MD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Kim Moon Soo	金文秀	
WD	Gillian Clark	ジリアン・クラーク	イングランド
	Gillian Gowers	ジリアン・ゴワーズ	
XD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Chung Myung Hee	鄭明熙	

1992 東京都

MS	Ardy.B.Wiranata	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi Suanti	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Chen Kang	陳　康	中国
	Chen Hongyong	陳紅勇	
WD	Chung So Young	鄭素英	韓国
	Hwang Hye Young	黄恵英	
XD	Thomas Lund	トーマス・ルンド	デンマーク
	Pemille Dupont	ペミール・デュポン	

1993 東京都

MS	Haryanto Arbi	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	Ye Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	Chen Kang	陳　康	中国
	Chen Hongyong	陳紅勇	
WD	Chung So Young	鄭素英	韓国
	Gil Young Ah	吉永雅	
XD	Thomas Lund	トーマス・ルンド	デンマーク
	Catrine Bengtsson	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1994 東京都

MS	Ardy.B.Wiranata	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi Suanti	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	RickySubagdja	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Deny Kantono	デニー・カントノ	
WD	Chung So Young	鄭素英	韓国
	Gil Young Ah	吉永雅	
XD	Jon Holst-Christensen	ヨン・ホルスト・クリステンセン	デンマーク
	Catrine Bengtsson	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1995 東京都

MS	Haryanto Arbi	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	Susi Suanti	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky Subagdja	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy Mainaky	レキシー・マイナキー	
WD	Ge Fei	葛　菲	中国
	Gu Jun	顧　俊	
XD	Thomas Lund	トーマス・ルンド	デンマーク
	Marlene Thomsen	マーレーン・トムセン	

1996 東京都

MS	Joko Suprianto	ジョコ・スプリアント	インドネシア
WS	Ye Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	Ricky Subagdja	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy Mainaky	レキシー・マイナキー	
WD	Gil Young Ah	吉永雅	韓国
	Jang Hye Ock	張恵玉	
XD	Park Joo Bong	朴柱奉	韓国
	Ra Kyung Min	羅景民	

1997 東京都

MS	Peter Rasmussen	ピーター・ラスムセン	デンマーク
WS	Mia Audina	ミア・アウディナ	インドネシア
MD	RickySubagdja	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy Mainaky	レキシー・マイナキー	
WD	Ge Fei	葛　菲	中国
	Gu Jun	顧　俊	
XD	Liu Yong	劉　永	中国
	Ge Fei	葛　菲	

1998 東京都

MS	Peter Gade Christensen	ピーター・ゲード・クリステンセン	デンマーク
WS	Gong Zhichao	龔智超	中国
MD	Cheah Soon Kit	チー・スーンキット	マレーシア
	Yap Kim Hock	ヤップ・キムホック	
WD	Ge Fei	葛　菲	中国
	Gu Jun	顧　俊	
XD	Kim Dong Moon	金東文	韓国
	Ra Kyung Min	羅景民	

1999 東京都

MS	Peter Gade Christensen	ピーター・ゲード・クリステンセン	デンマーク
WS	Ye Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	Ha Tae Kwon	河泰権	韓国
	Kim Dong Moon	金東文	
WD	Ge Fe	葛　菲	中国
	Gu Jun	顧　俊	
XD	Liu Yong	劉　永	中国
	Ge Fei	葛　菲	

2000 東京都

MS	Ji Xinpeng	吉新鵬	中国
WS	Gong Zhichao	龔智超	中国
MD	Candra Wijaya	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony Gunawan	トニー・グナワン	
WD	Huang Nanyan	黄楠雁	中国
	Yang Wei	楊　維	
XD	Liu Yong	劉　永	中国
	Ge Fei	葛　菲	

2001 東京都

MS	Roslin Hashim	ロスリン・ハシム	マレーシア
WS	Zhou Mi	周蜜	中国
MD	Candra Wijaya	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Sigit Budiarto	シギット・ブディアルト	
WD	Gao Ling	高　凌	中国
	Huang Sui	黄　穂	
XD	Bambang Suprianto	バンバン・スプリアント	インドネシア
	Minarti Timur	ミナルティ・ティムール	

2002 東京都

MS	Lee Hyun IL	李炫一	韓国
WS	Zhou Mi	周蜜	中国
MD	Chan Chong Ming	チャン・チョンミン	マレーシア
	Chew Choon Eng	チュー・チューエン	
WD	Ra Kyung Min	羅景民	韓国
	Lee Kyung Won	李敬元	
XD	Kim Dong Moon	金東文	韓国
	Ra Kyung Min	羅景民	

2003 東京都

MS	Xia Xuanze	夏煊澤	中国
WS	Camilla Martin	カミラ・マーチン	デンマーク
MD	Flandi Limpele	フランディー・リンペレ	イングランド
	Eng Hian	エン・ヒアン	
WD	Gao Ling	高凌	中国
	Huang Sui	黄穂	
XD	Zhang Jun	張軍	韓国
	Gao Ling	高凌	

MS=男子シングルス、WS=女子シングルス、MD=男子ダブルス、WD=女子ダブルス、XD=混合ダブルス



上昇日本のキーパーソン　朴柱奉ナショナルチームコーチに聞く

ナショナルフラッグを胸に戦うということ 世界で勝つということ

日本ナショナルチームコーチを引き受けられた経緯をお聞かせください。

「アテネオリンピックが終わった時点で韓国（オリンピックチーム）との契約は終了となり、マレーシアでナショナルアカデミーの業務に携わるという話もあったのですが、アカデミーの設立が予定よりも遅れ、それもプラン外になっていました。日本でのコーチのお話は昨年の2月頃からいただいていたのですが、私の立場もクリアになり、条件面で合意できたのでお引き受けすることになりました。

日本についての予備知識などはおありでしたか？

「ヨネックスオープンジャパンなど試合を含めて、これまで40回くらい来日しています。韓国国立大学時代2年間日本語を履修しました。今ではほとんど覚えていませんが……（笑）」

日本ナショナルチームについて伺います。具体的にはどのようなプロセスで日本代表のレベルアップを図ってゆくのでしょうか？

「私の考える理想は、ナショナルチームの強化が最優先されるポジションにあること。まず、ナショナルチームが常にひとつになれるベースキャンプ（合宿）の場があり、そこを拠点に海外大会や所属チームでのゲームに出場し、また戻ってくるというシステムです。そのためには選手たちの所属チームとの密な連携が必要となりますね。所属チームの選手がベースキャンプでレベルアップすればそのノウハウ、テクニックはチームに還元できるわけですからメリットは多いと思います。2年後にバドミントンの専門施設『ナショナルトレーニングセンター』が完成するとお聞きしていますので、そこがベースキャンプの場になるのがベストでしょう」

1月に2週間という長期にわたってナショナルチーム部、2月には1週間バックアップチームの合宿が行われました。

「先の合宿は、ほぼ私のプランに沿って進められました。技術面だけでなく、精神面での強化も目的でした。残念ながら、たとえトップ選手であっても『あの選手、あそこの国の選手だから勝てそうもない』と試合前から弱気になってしまう傾向があります。まずはその点を払拭することが第一歩。

技術面でいえば、選手たちはスマッシュ、ドライブ、ヘアピン…、どのストロークはひと通り打つことはできますが、その使い方に工夫が足りない。ゲームの局面で最も効果的なショットを使うためには、もっともっと『考える』ことが必要です。そういった点のレベルアップも今回の合宿の大きな目的でした」

選手個々に対してのコーチングの特徴を教えてください。

「選手の状態をチェックする時、コートの外と内から見るのでは大きく違う場合があります。私の場合出来る限りコートに立ち、選手たちのスパーリングパートナーをつとめるようにしています。ネットをはさんで実際に向かい合えば、選手の長所・短所、あるいは調子がまるで鏡に映し出されるようによく分かるからです。シングルス、ダブルスの各パートのコーチにもそのようにお願いしています。もっとも、今では選手たちに勝つことはできませんが（笑）」

朴コーチ就任以来、日本選手は海外大会で好調ですね。

「廣瀬（栄理子）、佐藤（翔治）の試合は昨年のインドネシアオープンで初めて観戦しました。廣瀬の2位という成績には正直驚かされましたね。ふたりの武器は何といってもスピード。それもワールドクラスといってもいいでしょう。ただし、佐藤の場合はせっかくのスピードをゲームの中で生かしきれていない。国内では圧倒的なスピードやアタック力を誇る佐藤も、世界のトップクラスに同じように攻めてはなかなか通用しないのが現実です。彼には合宿で『攻めて取っても、守って取っても1点は1点。相手のミスを誘うためのスピードの使い方や動きを考えるべき』とアドバイスしました。ここのところ彼は考え方を少しずつ変えてきたように思えますね。それが全英の結果につながったのではないでしょうか。

廣瀬の全英3位は『驚き半分、当然の結果と思う気持ちが半分』が正直な感想です。彼女はスピードと運動量ともに恵まれた選手。これからもっと上に行くためにはもっと戦略が必要です。1ゲームを取るのに全力を注ぐばかりではなく、勝てる試合はさっと終わらせて上の試合に備えるプランが必要となります。海外でゲームが続くケースには特にそうなってきますね。

世界で勝つ、ということは中国選手に勝つことを意味します。体格、パワー、テクニック、スタミナ全てに勝る中国選手に対抗するためにはさらに上の戦略が必要です。廣瀬も今後は世界でマークされる選手のひとりになるでしょうから」

当面の目標と、注目している選手は？

「ナショナルチームとしては、スディルマンカップ（5月／中国・北京）と世界選手権（8月／アメリカ・アナハイム）にターゲットをおいています。楽しみなのは、廣瀬、佐藤をはじめ、混合複をスタートした舛田圭太ですね。小椋久美子／潮田玲子にも期待しています」

朴コーチが考える日本代表とは？

「日本に限らず、ナショナルフラッグを胸に自国の代表として戦うことはとても重い意味を持つことです。海外へ出かけてゆけば、選手の名前よりもどの国の選手かで見られることがあります。日本代表とは単なる日本から来たバドミントン選手ではなく、自国の威信、名誉といったものを一身に担った立場にある存在だと思います。選手たちにはそういったスピリチュアルな領域にも自覚を持ってほしいと願っています」

朴柱奉ナショナルチームコーチ略歴

パク・ジュボン／1964年12月5日生／韓国国立大学卒業

◆職　歴：80～96年韓国ナショナルチーム選手、93～97年韓国国立大学体育学部助教授、97～99年イングランドナショナルチームコーチ、99～02年マレーシアナショナルチームコーチ、04韓国オリンピックチームコーチ、04年11月日本ナショナルチームコーチ就任

◆競技歴：［オリンピック］92年バルセロナ男子複金メダル、96年アトランタオリンピック混合複銀メダル　［世界選手権］85年男子複・混合複優勝、87年男子ベスト4、89年混合複優勝　［アジア大会］86年男子複・混合複優勝、90年混合複優勝　［アジア選手権］85年男子複優勝、91年男子複・混合複優勝　［ヨネックス全英オープン］85年男子複優勝、86・88・89・90年男子複・混合複優勝、91年混合複優勝・男子複2位、96年混合複優勝　［ヨネックスオープンジャパン］85年男子複優勝、88年混合複優勝・男子複2位、89・90・91年男子複・混合複優勝、96年混合複優勝他にも各大会優勝多数

◆IBF（国際バドミントン連盟）表彰：96年ハーバート・シェール賞、01年栄誉殿堂

◆韓国表彰：82年スポーツ功労賞、85年Girin Medalスポーツ勲章、86年Maengho Medal勲章・Cheongryong Medalスポーツ勲章、92年大統領賞



180cmの超える長身から変幻自在の球を操り、あらゆるタイトルをその手におさめてきた現役時代。世界で勝つことを知り尽くした経験と頭脳を日本ナショナルチームに伝授してほしい

現役時代はメダルコレクターとして輝かし戦績を誇り、アテネでは自国に4つのメダルをもたらした朴柱奉氏（韓国）が昨年11月日本ナショナルチームコーチに就任。以来、半年を待たずして日本バドミントン界に次々と朗報をもたらす「朴JAPAN」の快進撃の秘密は？世界で勝つことを知り尽くしたバドミントンの“神様”朴コーチに、新生ジャパンの行方と、9冠を獲得されたヨネックスオープンジャパンについて語っていただいた。

いよいよヨネックスオープンジャパンです。9冠を達成されているジャパンの思い出は？

「印象に残るのは運営面の良さ。大会進行から選手へのケアに至るまで行き届いているので、ゲームだけに集中することができました。観客も多くてとても張り切りましたね。日本でいいゲームが多いといわれる理由は、そんな点にあるのではないでしょうか。ヨネックスオープンジャパンの評判は、本当にいろいろな国でも耳にします。

一番の思い出は1985年の大会。男子ダブルスファイナルでリー・ヨンボー（現・中国コーチ）組と争ったファイナル。1ゲームを取られ2ゲームもリードされ、誰もが中国ペアが勝つと思うような流れでした。でも、結果的は大逆転で私たちの勝利。あの1勝はいまでも忘れられないですね。96年の混合ダブルス（ラ・キョンミン組）では予選からの出場といったこともありました。まもなく引退という時期でしたからあまり試合に出ておらず、本当に久しぶりに予選からのスタートでしたね（結果は優勝）。

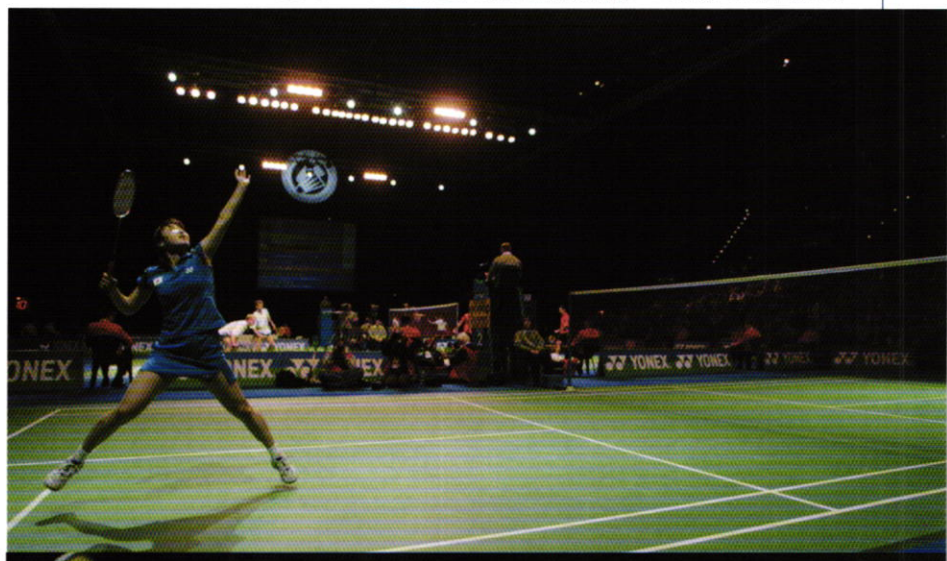
ヨネックスオープンジャパンは今でも私にとって大切な思い出がたくさんあります。現役時代の私にとって、グランプリトーナメントの中では全英に次いで大切な大会でした」

最後に今年のヨネックスオープンジャパンでの目的をお聞かせください。

「全英が終わって間もなくヨネックスオープンジャパンがあるので、今回はこれまでと異なってナショナルチームの合宿を張ることは難しい状況にあるため、選手たちは所属チームからの出場となります。合宿から試合に臨むのではない分、選手たちの違った面を見るいい機会だと思っています。また、地元の利を生かしてじっくりと海外選手の分析を行い、今後の勝利のために備えたいと考えています」

2005年3月17日／岸記念体育会館スポーツマンクラブにて

「私の理想は、ナショナルチームのベースキャンプ（合宿）が最優先であること。ここでレベルアップした選手の力は、結果的に所属チームの戦力アップに直結する」





「佐藤翔治のスピードはワールドクラス。課題はその生かし方だ」



韓国OPで小椋久美子とのペアで出場して8強入りした舛田圭太。バクヘッドコーチ舛田の混合には期待を寄せている

日本代表ナショナルチーム／ナショナルバックアップチーム

ナショナルコーチ
朴柱奉（ヘッドコーチ）　中島　慶（三洋電機）
※強化合宿時は選手所属チームコーチおよび公認コーチのサポートを依頼し、実施、様子を見ながらコーチをお願いする



日本代表【ナショナルチーム部】（～2005年11月）
[男　子] 大束忠司（トナミ運輸）、大束真也（トナミ運輸）、坂本修一（日本ユニシス）、佐々木翔（北都銀行）、佐藤翔治（NTT東日本）、仲尾修一（日本ユニシス）、舛田圭太（トナミ運輸）、山田英孝（日本ユニシス）
[女　子] 小椋久美子（三洋電機）、潮田玲子（三洋電機）、廣瀬栄理子（三洋電機）、平山　優（早稲田大学2年）、森かおり（三洋電機）、米倉加奈子（ヨネックス）

日本代表【ナショナルバックアップチーム】（～2005年11月）
[男　子] 池田信太郎（日本ユニシス）、池田雄一（ヨネックス）、川前直樹（NTT東日本）、小宮山元（日本体育大学助手）、佐伯浩一（日本大学4年）、新開裕介（NTT東日本）、竹村純（北海道旅客鉄道）、中西洋介（日本ユニシス）、早川賢一（日本大学1年）、平田典靖（日本体育大学4年）
[女　子] 赤尾亜希（ヨネックス）、今別府靖代（ヨネックス）、梅津知恵（茨城トヨペット）、後藤愛（東海女子大学4年）、末綱聡子（NEC九州）、多谷郁恵（三洋電機）、樽野　恵（県立金沢向陽高校2年）、内藤真生（日本体育大学1年）、幡谷好美（NEC九州）、前田美順（NEC九州）、松田友美（ヨネックス）

Hurray! Hurray!! NIPPON!

Eriko HIROSE

廣瀬栄理子［日本／三洋電機］

女子シングルス
2005年ヨネックス全英オープン3位
ヨネックスドイツオープン3位
2004年インドネシアオープン2位

海外試合では上位の選手と対戦する時には、自分でミスをしないように心がけ、ラリーでも粘っていこうと心がけています。今までに比べると長いラリーが我慢できるようになり、それが昨年の全日本総合優勝、ドイツ、インドネシア、そして全英へとつながっていると思います。ヨネックスオープンジャパンでも一戦一戦、1本1本を大切にして自分の力が出せるようにベストを尽くします。今後も海外の大会でも好成績が残せるようがんばります！



Close Up!

おもな出場日本選手の紹介

Japanese Players Preview

飛翔せよ!! 新生JAPAN

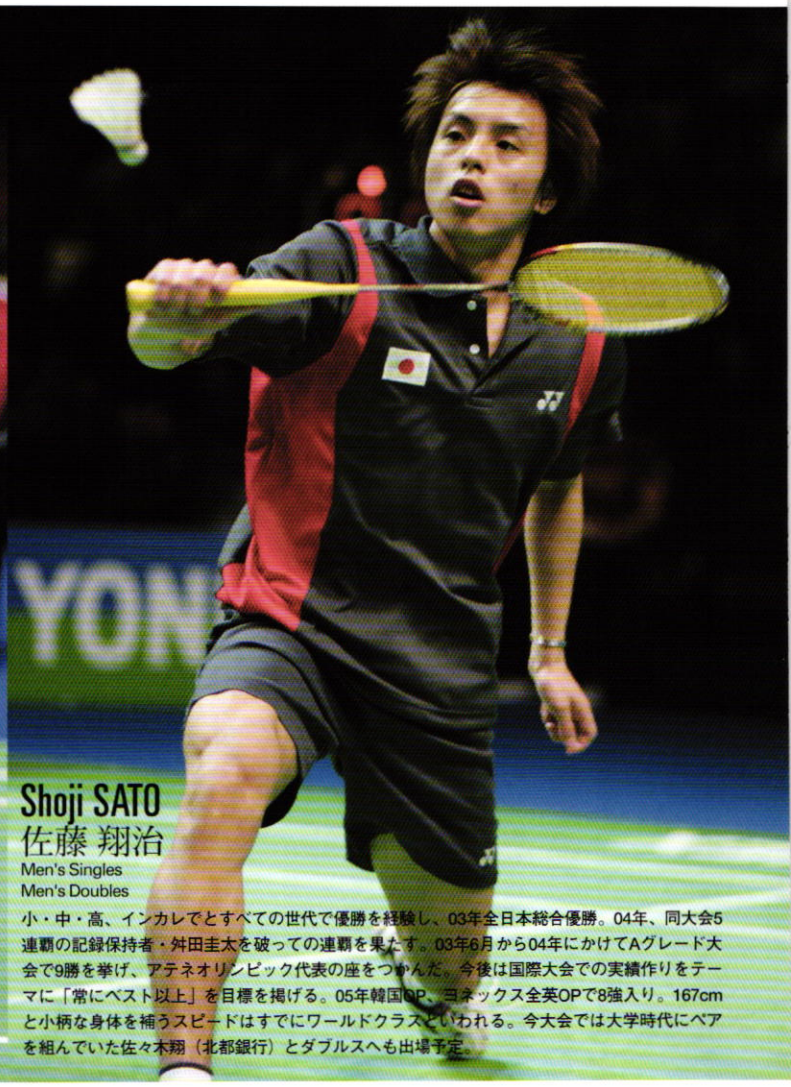


新生JAPANが元気がいい！全英4強の快挙を見せた廣瀬栄理子、8強の森かおり、男子ではエース佐藤翔治が8強入りと、日本バドミントン界に次々と朗報が届いてきた。女子シングルス、ダブルス4組が8強入りの健闘を見せた04年大会以上の結果を、ぜひ自国のファンの前で見せてほしい。本大会を「序章」に、来春日本開催のトマス・ユーバー杯へと一気に駆け上がっていこう！



Eriko HIROSE
廣瀬栄理子
Women's Singles

19歳で04年全日本総合王者の栄冠に輝く。海外では04年12月のインドネシアOPでの2位を皮切りに、今年1月の韓国OPで8強、ヨネックスドイツOPにおいてはゴン・ルイナ、ツォウ・ミーといった中国のトップランカーを撃破しての3位。そしてヨネックス全英OPでは日本選手では18年ぶりに3位入賞という快挙を成し遂げ、世界ランキングもTOP20以内へと一気にランクアップ。持ち前のスピードに加え、ラリーでの粘り強さが出てきた点が快進撃の理由のひとつ。今大会の日本選手で最も期待される選手のひとり。

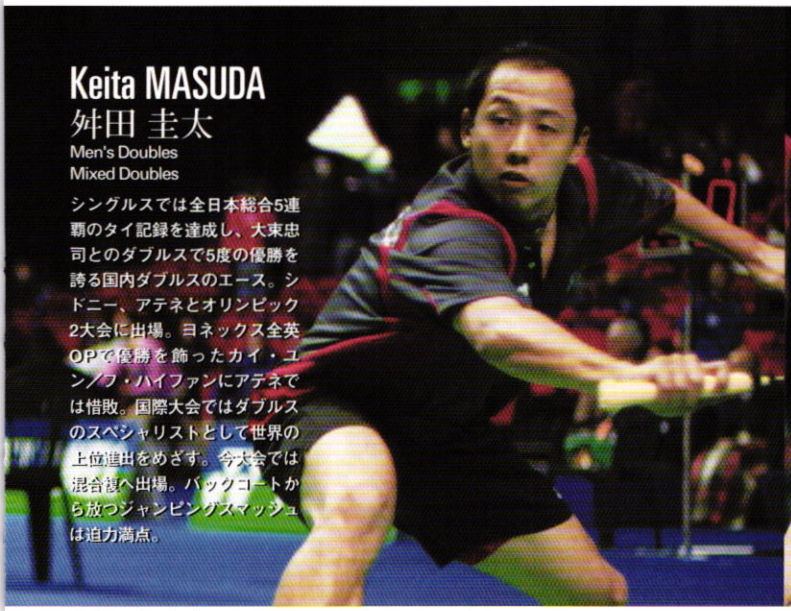


Shoji SATO
佐藤翔治
Men's Singles
Men's Doubles

小・中・高、インカレでとすべての世代で優勝を経験し、03年全日本総合優勝。04年、同大会5連覇の記録保持者・舛田圭太を破っての連覇を果たす。03年6月から04年にかけてAグレード大会で9勝を挙げ、アテネオリンピック代表の座をつかんだ。今後は国際大会での実績作りをテーマに「常にベスト以上」を目標を掲げる。05年韓国OP、ヨネックス全英OPで8強入り。167cmと小柄な身体を補うスピードはすでにワールドクラスといわれる。今大会では大学時代にペアを組んでいた佐々木翔（北都銀行）とダブルスへも出場予定。

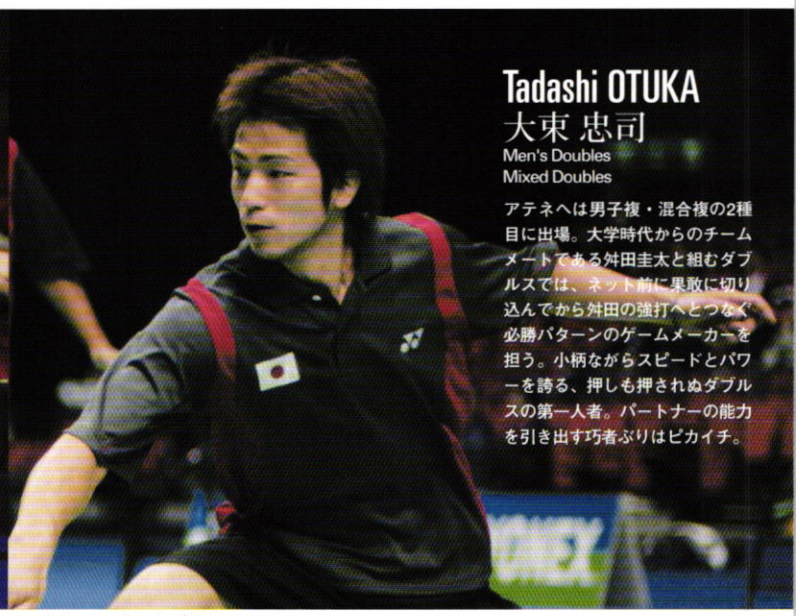
ひろせ・えりこ／1985年8月16日生／兵庫県出身／163cm／右利き
中谷中学～青森山田高校～三洋電機
［国内大会］03年全日本総合3位、全日本社会人2位、04年全日本総合優勝、日本ランキングサーキット優勝
［国際大会］04年インドネシアOP2位、05年韓国OP8強、ドイツオープン3位、ヨネックス全英OP3位　I.B.F.世界ランキング　女子単19位／日本ランキング1位　☆出場種目：女子単

さとう・しょうじ／1982年9月19日生／東京都出身／167cm／右利き
上水中学～関東第一高校～東京富士大学短期大学部～MMGアローズ（旧フジチュー）～NTT東日本
［国内大会］04年全日本社会人優勝、03・04年全日本総合優勝［国際大会］03 ～04年Aグレード9大会で優勝、04年アテネオリンピック出場、ドイツOP8強、05年韓国OP8強、ヨネックス全英OP8強　I.B.F.世界ランキング　男子単：19位／日本ランキング1位　☆出場種目：男子単・男子複



Keita MASUDA
舛田 圭太
Men's Doubles
Mixed Doubles

シングルスでは全日本総合5連覇のタイ記録を達成し、大東忠司とのダブルスで5度の優勝を誇る国内ダブルスのエース。シドニー、アテネとオリンピック2大会に出場。ヨネックス全英OPで優勝を飾ったカイ・ユン／フ・ハイファンにアテネでは惜敗。国際大会ではダブルスのスペシャリストとして世界の上位進出をめざす。今大会では混合複へ出場。バックコートから放つジャンピングスマッシュは迫力満点。



Tadashi OTUKA
大東 忠司
Men's Doubles
Mixed Doubles

アテネへは男子複・混合複の2種目に出場。大学時代からのチームメートである舛田圭太と組むダブルスでは、ネット前に果敢に切り込んでから舛田の強打へとつなぐ必勝パターンのゲームメーカーを担う。小柄ながらスピードとパワーを誇る、押しも押されぬダブルスの第一人者。パートナーの能力を引き出す巧者ぶりはピカイチ。

ますだ・けいた／1979年2月27日生／石川県出身／174cm／右利き
犀生中学～金沢工業高校～日本体育大学～トナミ運輸
［国内大会］98～02年全日本総合単5連覇、02年ヨネックスOPジャパン単3位、98・99・02～04年全日本総合男子複優勝、05年韓国OP混合複8強［国際大会］00年シドニーオリンピック男子単出場、（以下男子複・大東忠司組）04年アテネリンピック出場、アジア選手権・ドイツOP・タイOP8強
I.B.F.世界ランキング　男子複：14位／日本ランキング1位　☆出場種目：男子複・混合複

おおつか・ただし／1978年4月30日生／長崎県出身／169cm／右利き
大浦中学～八代東高校～日本体育大学～トナミ運輸
［国内大会］※男子複戦績は舛田と共通
［国際大会］00年シドニーオリンピック男子複・混合複の2種目出場、04年アジア選手権・タイOP混合複8強　※男子複戦績は舛田と共通　☆出場種目：男子複・混合複



Kanako YONEKURA
米倉加奈子
Women's Singles
Women's Doubles

98年のアジア大会で28年ぶりに日本に金メダルをもたらして以来、日本のエースとして活躍。03年世界選手権で8強。04年ではアジア選手権3位、デンマークOP、韓国OP、インドネシアOPとグランプリトーナメント3大会で8強入りするなど安定した戦いぶりを見せる。状況判断力に優れ、クレバーなゲームメークが持ち味。

Kaori MORI
森かおり
Women's Singles

01・03年全日本総合優勝、04年も3位と常に国内のトップをキープ。米倉、廣瀬と並ぶ日本女子シングルスのエース。01年には大会史上日本女子最高位の3位に輝いている。昨年大会では8強入りしてアテネ出場権を獲得し、日本選手唯一の1回戦勝利を挙げている。先のヨネックスドイツOPでは1回戦で、3連敗を喫していたアテネ銀のミア・アウディナから勝ち星を挙げての8強入り。続くシンガポールOP、先のヨネックス全英OPでも堂々の8強と安定した強さを見せている。



よねくら・かなこ／1976年10月29日生／東京都出身／166cm／右利き
［国内大会］99・02・04年年全日本社会人優勝、01・04年全日本総合2位、99・02年全日本総合3位
［国際大会］98年アジア大会優勝、00年シドニー（16強）・04年アテネオリンピック2大会連続出場、01・03年世界選手権8強、04年アジア選手権3位、デンマークOP・ドイツOP・インドネシアOP8強
I.B.F.世界ランキング　女子：13位／日本ランキング2位　☆出場種目：女子単・女子複

もり・かおり／1979年8月23日生／福岡県出身／157cm／右利き
城南中学～九州国際大学付属高校～三洋電機
［国内大会］01年全日本社会人・全日本総合優勝、03年全日本総合優勝、04年全日本社会人優勝［国際大会］01年ヨネックスOPジャパン3位、04年タイOP・ヨネックスOPジャパン・ドイツOP・シンガポールOP8強、アジア選手権3位、アテネオリンピック16強、05年ヨネックス全英OP8強　I.B.F.世界ランキング女子単：12位／日本ランキング4位　☆出場種目：女子単



Reiko SHIOTA
潮田 玲子
Women's Doubles

小椋久美子とのペアでは前衛で仕掛け、大砲の小椋に強打を打たせるのが得意のパターン。巧打の潮田、剛打の小椋のコンビネーションと超攻撃的スタイルで日本のエースペアの座を勝ち取った。最近では潮田が後衛に回るなど、攻守のバリエーションを広げている。04年大会はアテネ代表の吉富／山中組を破っての8強入り。ファンの間では小椋とともに「オグ・シオ」のニックネームで親しまれている。



Kumiko Ogura
小椋久美子
Women's Doubles

社会人1年目の02年全日本総合で米倉加奈子、田中美保といった大物たちを打ち破り、大会史上初の予選からの優勝を飾る。04年の同大会では潮田玲子とのペアで優勝し、単複2種目で日本一となる。04年ユーバー杯では予選・決勝ラウンドで負けなしの6勝を挙げ、日本女子銅メダル獲得に大きく貢献。169cmの長身から繰り出すスマッシュ、ドライブの破壊力は日本女子No.1！

しおた・れいこ／1983年9月30日生／福岡県出身／166cm／右利き
新津中学～九州国際大学付属高校～三洋電機
［国内・国際大会］※女子複戦績は小椋と共通　☆出場種目：女子複

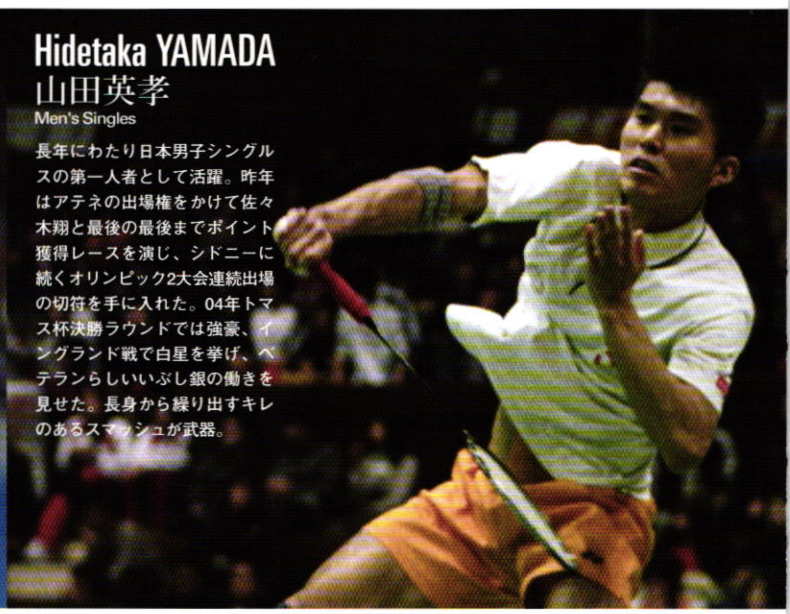
おぐら・くみこ／1983年7月5日生／三重県出身／169cm／右利き
川越中学～四天王寺高校～三洋電機
［国内大会］02年全日本総合単優勝、（以下女子複・潮田玲子組）04年全日本社会人・全日本総複優勝［国際大会］05年韓国OP混合8強（舛田圭太組）、（以下女子複・潮田玲子組）03年スコットランド国際優勝、04年ヨネックスOPジャパン・デンマークOP8強　I.B.F.世界ランキング33位／日本ランキング1位　☆出場種目：女子複



Yu HIRAYAMA
平山 優
Women's Singles

02年高校2年生で廣瀬栄理子を破りインターハイを制し、全日本総合で16強入り。03年のヨネックスOPジャパンでは本戦でカリナ・デ・ウィット（オランダ／当時の世界ランキング19位）から勝ち星を挙げて日本女子シングルスでただひとり2回戦へとコマを進めた。同年の全日本総合では2位。昨年は一時スランプに陥ったが、ユーバー杯予選で日本代表デビューを飾り、04年全日本総合でも3位と復調の兆しを見せてきた。廣瀬とともに将来の全日本を背負う逸材。

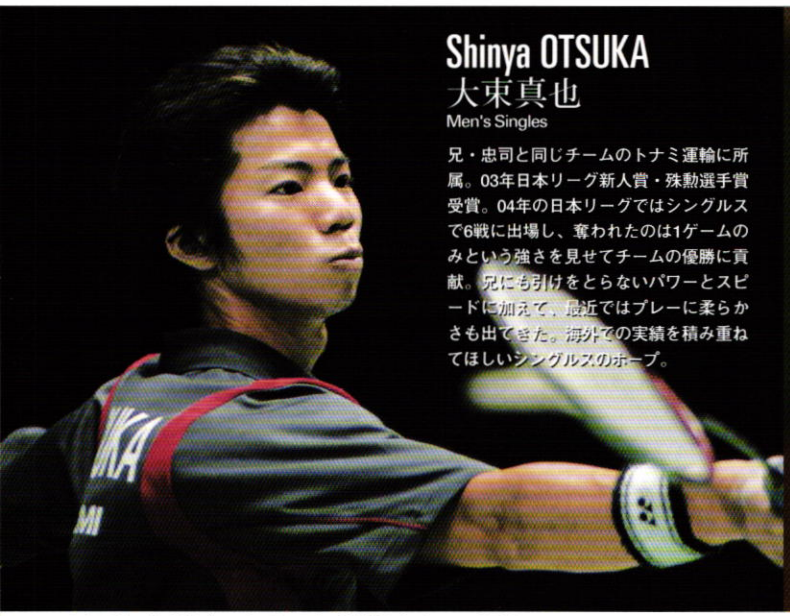
ひらやま・ゆう／1985年7月25日生／宮城県出身／163cm／右利き
聖ウルスラ学院中学～聖ウルスラ学院高校～早稲田大学
［国内大会］02年インターハイ優勝、03年全日本総合2位、04年全日本総合3位［国際大会］03年ヨネックスOPジャパン16強、04年インドネシアOP16強、05年ヨネックス全英OP16強　I.B.F.世界ランキング96位／日本ランキング3位　☆出場種目：女子単



Hidetaka YAMADA
山田英孝
Men's Singles

長年にわたり日本男子シングルスの第一人者として活躍。昨年はアテネの出場権をかけて佐々木翔と最後の最後までポイント獲得レースを演じ、シドニーに続くオリンピック2大会連続出場の切符を手に入れた。04年トマス杯決勝ラウンドでは強豪、イングランド戦で白星を挙げ、ベテランらしいいぶし銀の働きを見せた。長身から繰り出すキレのあるスマッシュが武器。

やまだ・ひでたか／1976年6月22日生／埼玉県出身／177cm／右利き
東浦和中学～上尾高校～早稲田大学～日本ユニシス
［国内大会］01・02年全日本社会人優勝、01・03年全日本ランキングサーキット優勝［国際大会］00年シドニー・04年アテネオリンピック2大会連続出場、04年世界選手権16強、04年クロアチア国際・フィンランド国際優勝　I.B.F.世界ランキング　男子単：27位／日本ランキング12位　☆出場種目：男子単



Shinya OTSUKA
大束真也
Men's Singles

兄・忠司と同じチームのトナミ運輸に所属。03年日本リーグ新人賞・殊勲選手賞受賞。04年の日本リーグではシングルスで6戦に出場し、奪われたのは1ゲームのみという強さを見せてチームの優勝に貢献。兄にも引けをとらないパワーとスピードに加えて、最近ではプレーに柔らかさも出てきた。海外での実績を積み重ねてほしいシングルスのホープ。

おおつか・しんや／1980年6月19日生／長崎県出身／174cm／右利き
大浦中学～八代東高校～日本体育大学～トナミ運輸
［国内大会］03年全日本社会人3位、04年全日本総合2位［国際大会］03年モーリシャス国際3位
I.B.F.世界ランキング　男子単：219位／日本ランキング6位　☆出場種目：男子単



Sho SASAKI
佐々木翔
Men's Singles / Men's Doubles

高校、大学と佐藤翔治のチームメートであり、ライバル。アテネへの切符は後一歩のところで逃したが、国際大会での経験が心身ともに成長させる契機となったはずだ。04年のトマス杯決勝ラウンドではシングルスで2勝を上げる活躍を見せている。パワフルで切れのあるショットが魅力の若きレフティ。本大会には2年ぶりの出場。佐藤と組むダブルスも楽しみだ。

©Panoramic／AFLO

ささき・しょう／1982年6月30日生／北海道出身／170cm／左利き
上磯中学～関東第一高校～東京富士大学短期大学部～MMGアローズ（旧フジチュー）～北都銀行
［国内大会］99・00年インターハイ2位、00年全日本ジュニア優勝
［国際大会］04年ドイツOP8強、スウェーデン国際3位、ペルー国際優勝
I.B.F.世界ランキング　男子単：54位／日本ランキング8位　☆出場種目：男子単・男子複



Shuichi SAKAMOTO
坂本修一
Men's Doubles

大学時代には仲尾修一とのペアで01年インカレ制覇。02年日本リーグ新人賞獲得。そろって入社した日本ユニシスでもペアを組み続け、トマス杯日本代表にも選ばれている。池田信太郎とペアを組み替えて出場した今年の韓国OPで8強入り。ヨネックス全英OPではタイの強豪ペアを破るなど16強入りと好成績を残している。

さかもと・しゅういち／1979年6月14日生／茨城県出身／176cm／右利き
国府中学～常総学院高校～筑波大学～日本ユニシス
［国内大会］03年全日本社会人複・混合複優勝、全日本総合複3位、04年全日本総合複2位
［国際大会］03年世界選手権男子複16強、ニュージーランド国際優勝、05年韓国OP8強
I.B.F.世界ランキング　男子複：75位（坂本修一／池田信太郎）　☆出場種目：男子複



Shintaro IKEDA
池田信太郎
Men's Doubles
Mixed Doublees

04年全日本社会人では、福井剛士とともに日本のエースペア舛田圭太／大束忠司組を破って初優勝。日本リーグでは元世界選手権王者・劉永（中国）とペアを組む機会に恵まれ、着実にプレーに幅を広げてきた。国際大会でも好調な坂本とのペアで、今大会ではどんなパフォーマンスを見せてくれるのか楽しみだ。

いけだ・しんたろう／1980年12月27日生／福岡県出身／175cm／右利き
岡垣中学～九州国際大学付属高校～筑波大学～日本ユニシス
［国内大会］02年全日本インカレ複2位、04年全日本社会人優勝［国際大会］オーストラリア国際複3位、05年韓国OP8強　☆出場種目：男子複・混合複

国別対抗世界選手権大会の最高峰 ヨネックストマス杯& ユーバー杯ジャパン2006

“バドミントン世界最強国”が2006年春、日本で決まる！

五大陸を代表する強豪国が 名誉と威信をかけて日本で激突！

オリンピック、世界選手権をはじめヨネックス全英OP、ヨネックスOPジャパンといったグランプリトーナメントがシングルス・ダブルスの大舞台ならば、男子「トマス杯」、女子「ユーバー杯」（以下ト・ユ杯）は国別対抗世界選手権の最高峰のタイトル。栄光のト・ユ杯は世界5ブロックで行われる予選ラウンドを勝ち抜いた強豪国だけが本戦大会へと進出し、決勝ラウンドでは国の名誉と威信をかけて熾烈な戦いを展開する。決勝ラウンドへコマを進めることのできるのはわずかに男女各12ヵ国(2002年大会までは8ヵ国)という狭き門だ。2年に1度開催されるこの「バドミントン世界最強国決定戦」は、サッカーでたとえるならばワールドカップに相当するBIGイベント。そして2006年春、16年ぶりにここ日本の地でト・ユ杯決勝ラウンドの火蓋がきって落とされる。



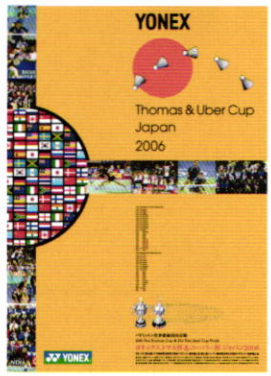
銅メダルの栄冠に輝いた第20回ユーバー杯日本代表選手団。世界の8強入りという胸を張る成績を残した男子とともに、バドミントン日本の復活を予感させる結果となった

「バドミントン日本」の名を再び世界へ！ 新生JAPANの担い手たちに熱いエールを！！

栄光のト・ユ杯の舞台において、バドミントン日本は輝かしい足跡を刻んできた。女子日本代表チームはユーバー杯第4回大会（1965～66年）で初参戦・初優勝の偉業を達成して以来、5度にわたり栄光のユーバー杯を手にしている。一方の男子は64年日本開催となったトマス杯第6回大会から参戦し、4強、8強入りの常連として活躍（これまでの最高位は第7・11回大会の3位）。しかし、84年大会以来予選ラウンド突破を阻まれてきた（90年の日本大会では地元開催により予選免除）。

04年インドネシア・ジャカルタにおいて日本女子は銅メダル。男子においてはじつに20年ぶりにアジア予選ラウンドを自力で突破し、決勝ラウンドで8強入り。男女ともにバドミントン日本復活の兆しを見せる結果となった。

智将・朴柱奉ナショナルチームコーチ率いる新生JAPANの担い手たちが、来春自国日本で世界の強豪国を迎え撃つ。その熱き戦いへのカウントダウンは、ここヨネックスオープンジャパンからすでに始まっているのである。



「トマス杯」は20世紀初頭の名選手にして初代I.B.F.（国際バドミントン連盟）会長ジョージ・トマス卿（イギリス）にちなんだカップ。「ユーバー杯」は1930年代にかけて活躍した伝説的名プレーヤー、ベティー・ユーバー女史によって寄贈。大会は男女ともに代表1チーム（3単・2複）で出場。決勝ラウンドでは男女各12ヵ国が4グループ（1グループ3ヵ国総当り）によるシード決定リーグ後、決勝トーナメントが行われる（写真は大会イメージポスター）

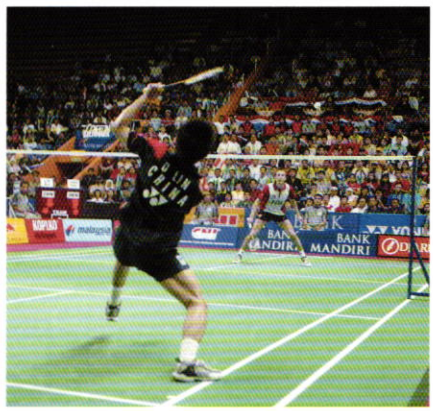




04年大会で14年ぶりに王座を奪回した中国男子（5度目）と、史上最多9回目の優勝を4連覇で飾った中国女子



自国チームのワンプレー、ワンショットごとに熱い声援を送る観客。コートと観客席がひとつに融合し、会場全体が独特の雰囲気に包まれる(04年インドネシア・ジャカルタ大会より)





歓喜に酔う選手たち。ト・ユ杯で勝つ喜びはまさにオリンピック級！

歴代優勝国

トマス杯		ユーバー杯	
1948～49（10）	マラヤ	1956～57(11)	アメリカ
1951～52（12）	マラヤ	1959～60(14)	アメリカ
1954～55（21）	マラヤ	1962～63(11)	アメリカ
1957～58(19)	インドネシア	1965～66(17)	日本
1960～61(19)	インドネシア	1968～69(19)	日本
1963～64(26)	インドネシア	1971～72(17)	日本
1966～67(23)	マレーシア	1974～75(14)	インドネシア
1969～70(25)	インドネシア	1977～78(16)	日本
1972～73(23)	インドネシア	1980～81(15)	日本
1975～76(26)	インドネシア	1984(23)	中国
1978～79(21)	インドネシア	1986(34)	中国
1981～82(26)	中国	1988(31)	中国
1984(34)	インドネシア	1990(42)	中国
1986(38)	中国	1992(44)	中国
1988(35)	中国	1994(44)	インドネシア
1990(53)	中国	1996(47)	インドネシア
1992(54)	マレーシア	1998(40)	中国
1994(51)	インドネシア	2000(43)	中国
1996(56)	インドネシア	2002(44)	中国
1998(49)	インドネシア	2004	中国
2000(48)	インドネシア		
2002(50)	インドネシア		
2004	中国		

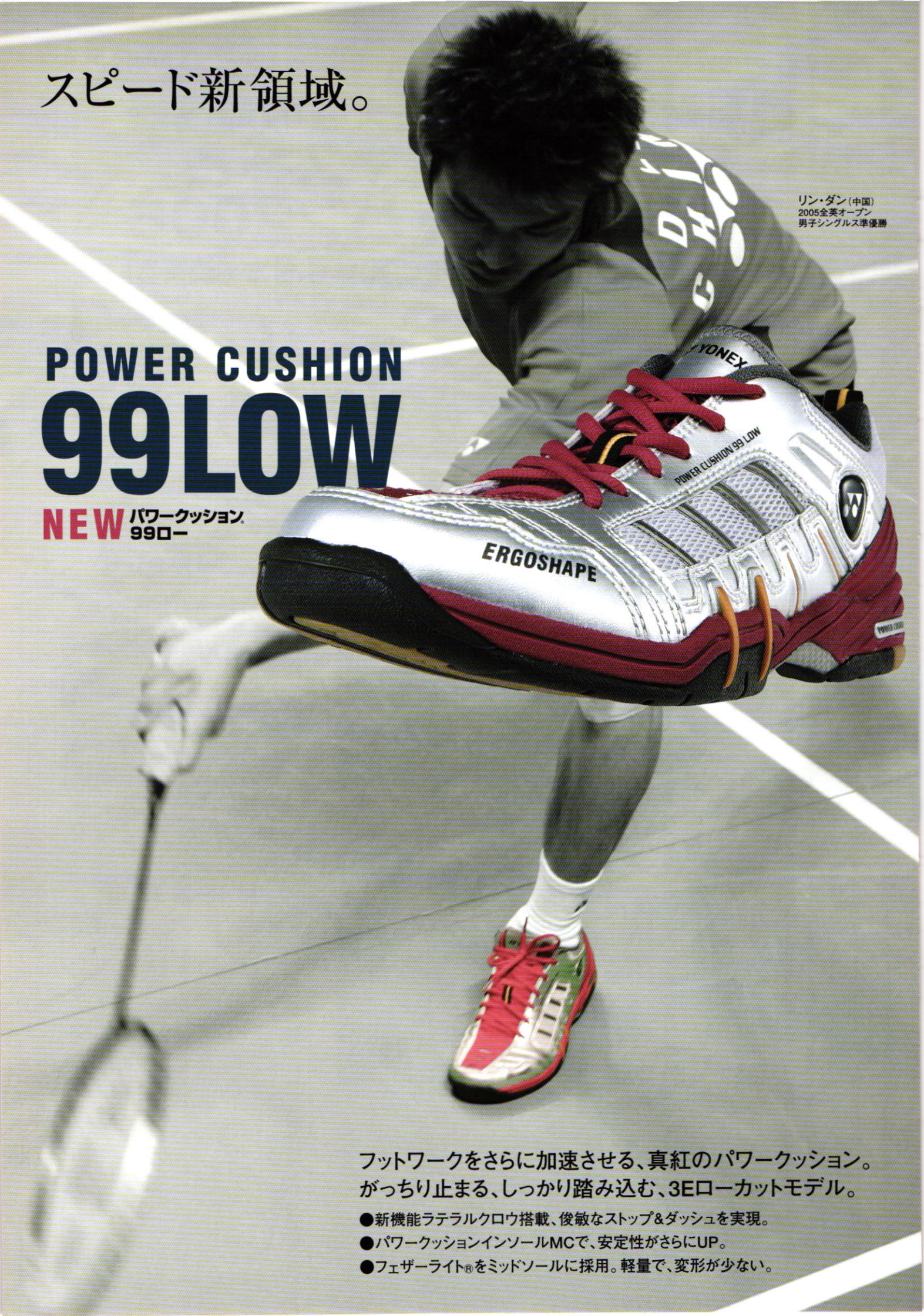
ヨネックス トマス杯&ユーバー杯 ジャパン2006

ヨネックス
第24回トマス杯争奪世界男子団体バドミントン選手権大会
第21回ユーバー杯争奪世界女子団体バドミントン選手権大会
www.yonex-tuc.com（近日開設）

［仙台市体育館］
シード決定リーグ 2006年4月28日(金)～30日(日)
5月1日（月）◎決勝トーナメント1回戦
［東京体育館］
決勝トーナメント 2006年5月3日(水)～5月7日(日)
5月3日（水）◎準々決勝
5月4日（木）◎ユーバー杯準決勝
5月5日（金）◎トマス杯準決勝
5月6日（土）◎ユーバー杯決勝
5月7日（日）◎トマス杯決勝

大会会場内に「ヨネックス トマス杯&ユーバー杯 ジャパン2006」開催記念パネル展示コーナーを設けていますのでご覧ください。

スピード新領域。



リン・ダン（中国）
2005全英オープン
男子シングルス準優勝

POWER CUSHION 99LOW

NEW パワークッション 99ロー

フットワークをさらに加速させる、真紅のパワークッション。
がっちり止まる、しっかり踏み込む、3Eローカットモデル。

- ●新機能ラテラルクロウ搭載、俊敏なストップ&ダッシュを実現。
- ●パワークッションインソールMCで、安定性がさらにUP。
- ●フェザーライト®をミッドソールに採用。軽量で、変形が少ない。

機動力と安定性を両立させた、3Eローカットモデル。

つま先外側部分に採用のラテラルクロウが横ズレを抑え、キレのあるフットワークを実現。

さらに機敏なフットワークを実現する。ローカットモデルの最高峰誕生。

急激なストップ&ダッシュ、そして、ストップからの切り返しが多いバドミントン。新開発のラテラルクロウ搭載で安定性を向上させ、さらにローカットとすることで鋭いフットワークを繰り出す新シューズ。それが『パワークッション99ロー』です。

トップ選手から評判の高かった98ミッドのホールド感の良さはそのままに、安定性を向上させ、さらに機敏なプレーを追求しました。

ラテラルクロウはT字型をした、横方向のストッパーの役目をするスタビライザー。これをサイドステップ時に最も力がかかる踏み付け部の外側に配置したことで、シューズのゆがみや変型が抑えられ、ソール全体で床面を捕えられるため、プレーヤーの踏み出しのパワーがロスすることなくコートに伝わり、俊敏に動くことができるのです。

「パワークッション99ロー」は、つま先部の両サイドを立ち上げた設計とT.P.U.パーツのハイブリッドで、しかもフットワーク時の横ズレを軽減するパワークッションインソールMCが使われていますので、このラテラルクロウとの相乗効果で、より激しいプレー時でも、高い安定性を発揮します。

シャインシルバー / レッドの鮮やかなカラー。鮮烈なデビューです。



フットワークを加速させる!
新開発「ラテラルクロウ」

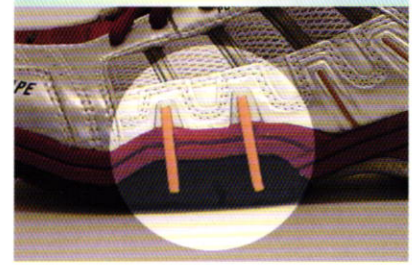
サイドステップ時に最も力がかかる踏み付け部の外側に、T.P.U.パーツである「ラテラルクロウ」を配置しました。外側へのパワーロスを軽減し、フットワークを更に加速。これまで生じていた、外側へ踏ん張った時のミッドソール、アッパーのブレから起こるパワーロスを低減します。

その結果、パワーがコートに伝わり、俊敏なダッシュ力を実現しました。

フェザーライト®
従来のミッドソール素材のE.V.A.に比べ軽量でありながら変形が少なく、初期性能を長時間維持するフェザーライトをミッドソールに使用。軽量化がさらに素早い動きがサポートします。

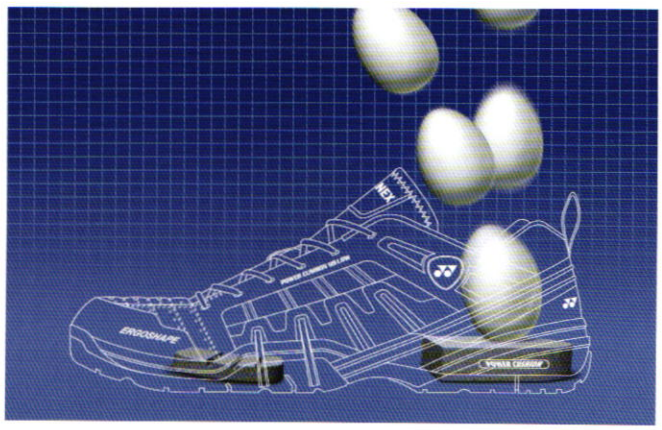


ラテラルクロウ
サイドステップ時に最も力のかかる踏付け部に外側にT.P.U.パーツを配置。





軽い、疲れにくい。
パワークッション®



パワークッション99ロー
¥12,915(本体価格¥12,300) **SHB-99LO**
アッパー／ダブルラッセルメッシュ+クラスター+フロリッシモ
アウトソール／ラバー
ミッドソール／フェザーライト®+パワークッション+ソリッドE.V.A+
パワーカーボン+T.P.U.
サイズ／22.0~29.0cm
カラー／シャインシルバー / レッド(463)　中国製
*赤と白の2色の靴ひも付

YONEX®

YONEX OPEN JAPAN 2005
大会記念グッズ

大会期間中会場でのみ販売のプレミアムグッズです。



Tシャツ　¥2,000（税込）
ライムグリーン、ライトオレンジ、ブラック、マリンブルー、レッド
サイズ／J140、S、M、L、O　天竺：ポリエステル50%・綿50%
日本製



YONEX ロゴTシャツ　¥1,500（税込）
ネイビーブルー、イエロー、サーモンピンク
サイズ／S、M、L、O　ベリークール鹿の子：ポリエステル100%
日本製



ベリークールプラクティスTシャツ　¥2,500（税込）
チャコール、ブライトレッド、マリン
サイズ／S、M、L、O　ベリークール鹿の子：ポリエステル100%
日本製



ベリークールレディースチビT　¥2,200（税込）
ネイビーブルー、フレンチイエロー、マッディーピンク
サイズ／フリー　ベリークール鹿の子：ポリエステル100%
日本製



トレーナー　¥4,000（税込）
ブラック、ホワイト、ワインレッド
サイズ／S、M、L、O　裏パイル：綿100%
日本製



ベリークールレディースVネックトレーナー　¥4,500（税込）
マッディーピンク、アイボリー、チャコール
サイズ／M、L、O　ミニリブ：ポリエステル100%
日本製



ベリークールハーフパンツ　¥3,800（税込）
アメリカンブルー、ライトオレンジ、チャコール
サイズ／S、M、L、O　ベリークールストレッチミクロコード：
ポリエステル65%・綿30%・ポリウレタン5%　日本製



ベリークールレディースハーフパンツ　¥3,500（税込）
マリン、ライトグレー、チャコール
サイズ／M、L、O　ストレッチツイル：ポリエステル100%
日本製



ベリークールポロシャツ　¥5,000（税込）
ライトグレー、チャコール、マリン
サイズ／S、M、L、O　ベリークールイオンメッシュ：ポリエステル100%
日本製



ミニタオル　¥600（税込）
レッド、イエロー、ネイビーブルー
サイズ／36×36（cm）　綿100%
日本製



スタッフバッグ　¥1,000（税込）
レッド、マリンブルー
サイズ／33×42（cm）　ポリエステル
台湾製



ベリークール
リストバンド　¥500（税込）
レッド、ブラック、ディープスカイ
綿50%・アクリル22%・
ポリエステル13%・ナイロン10%・
ポリウレタン5%　日本製



ベリークール
メンズソックス　¥1,000（税込）
ベリークール
レディースソックス　¥1,000（税込）
綿53%・アクリル23%・
ポリエステル15%・ナイロン5%・
ポリウレタン4%　日本製

※この他、スポーツタオル、ポロシャツなどがございます。※掲載の標準仕様・デザインは改良のため予告なく変更される場合がありますので、ご了承下さい。

知りたい技術・戦術が一目でわかる！

DVD 見てうまくなるバドミントン教本



(財)日本バドミントン協会公式テキスト「バドミントン教本・基礎編と応用編」の中から特に競技力を向上させるために必要な、戦法・技術・練習・トレーニングを分かりやすく映像化。世界の一流選手たちの高度なテクニックや戦法を満載。専門家による懇切丁寧な技術や幅広いレベルの選手を対象とした具体的な練習やトレーニング方法を紹介。うまくなりたい選手、強くしたい指導者必見の1枚です。







好評発売中!!

指導

飯野佳孝　(財)日本バドミントン協会　普及指導開発部部員
廣田　彰　(財)日本バドミントン協会　普及指導開発部部員
飯野裕子　テクニカルプレゼンター　代表

実技モデル

木村百花　小学5年生[加賀市ジュニアバドミントンクラブ]
円城寺尚人　中学2年生[七山モンキーズ]
潮田玲子　[三洋電機バドミントン部]
小椋久美子　[三洋電機バドミントン部]

戦法編
ヨネックスオープンジャパンで繰り広げられた世界の一流選手たちの多彩で高度な戦法を細かく分析・解説。シングルス・ダブルスにおける戦法のポイントを分かりやすく紹介します。

小学生・初心者 導入編
バドミントンの基礎を身につけるための導入編。「オーバーヘッドストローク」「シャトルが当たるまでの導入方法」「フットワークの方法」を紹介します。

技術編
世界のトップレベルの技術を紹介しながら、その理論と技術を専門家が解説。さらに技術習得のための具体的な練習方法とそのポイントを紹介します。

練習・トレーニング編
バドミントンノ競技力を高めるために必要な移動スピードや、スタミナを向上させるために必要な練習方法とトレーニング方法を紹介します。

DVD／カラー155分
4,200円（税込）

お申込みは
日本バドミントン協会
VHSも扱っています

現金書留または郵便為替で商品代金＋送料をお送りください。届き次第発送いたします。
【送料】DVD　1本につき200円／VHS　1本につき390円
〒150-8050東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(財) 日本バドミントン協会　TEL.03-3481-2382

ベースボール・マガジン社
http://www.bbm-japan.com

宅配(着払い)のご注文はお電話かFAXで（宅配料210円）
受注センター：TEL.025-780-1231 FAX.025-780-1232
【電話受付時間】月～金　9：30～17：00
土・日・祝祭日　10：00～16：00

財団法人 日本バドミントン協会 検定工場会員　THE NIPPON BADMINTON ASSOCIATION

NO.	認定番号	事業所名	郵便番号	所在地	TEL.	FAX.
1	7802	イノコ 株式会社	454-0011	名古屋市中川区山王4-4-9	052-331-3311	052-332-3380
2	7803	株式会社 ウエサカティー・イー	130-0004	墨田区本所4-28-8	03-3622-8171	03-3622-8175
3	7804	大久保体器 株式会社	703-8214	岡山市鉄409-3	0862-79-0585	0862-79-0460
4	7805	株式会社 小川長春館	721-0942	広島県福山市引野町5-4-23	084-941-0230	084-941-3099
5	7806	株式会社 関西金属運動具製作所	111-0036	台東区松が谷2-7-9	03-3841-6604	03-3841-9287
6	7809	株式会社 三英	270-0107	千葉県流山市西深井1028-14	04-7154-4661	04-7154-4665
7	7810	三和体育製版 株式会社	332-0027	埼玉県川口市緑町9-15	048-256-2368	048-256-2369
8	7811	セノー 株式会社	140-0004	品川区南品川2-2-13南品川JNビル	03-5461-4111	03-5461-4151
9	7812	株式会社 都村製作所	766-0004	香川県仲多度郡琴平町榎井590	0877-73-2251	0877-73-2084
10	7814	株式会社 中村体育	386-0016	長野県上田市国分仁王堂1190-4	0268-22-0896	0268-22-0881
11	7815	株式会社 舟岡製作所	130-0011	墨田区石原4-34-2	03-3624-0551	03-3622-6572
12	7817	株式会社 藤栄	340-0022	埼玉県草加市瀬崎町649-4	048-921-1211	048-921-1311
13	7818	後藤体器 株式会社	870-0242	大分市角子南1-2-18	097-521-5100	097-521-5105
14	8202	有限会社 高山製作所	839-0252	福岡県山門郡大和町栄104	0944-76-3027	0944-76-0328
15	8651	ナガセケンコー 株式会社	131-8520	墨田区墨田2-36-10	03-3614-3501	03-3614-0730
16	0201	株式会社 野口製作所	819-0375	福岡市西区大字徳永1059	092-806-1671	092-806-7095
17	2004	株式会社 エバニュー	135-8506	江東区木場6-4-38	03-3649-4811	03-3649-4955



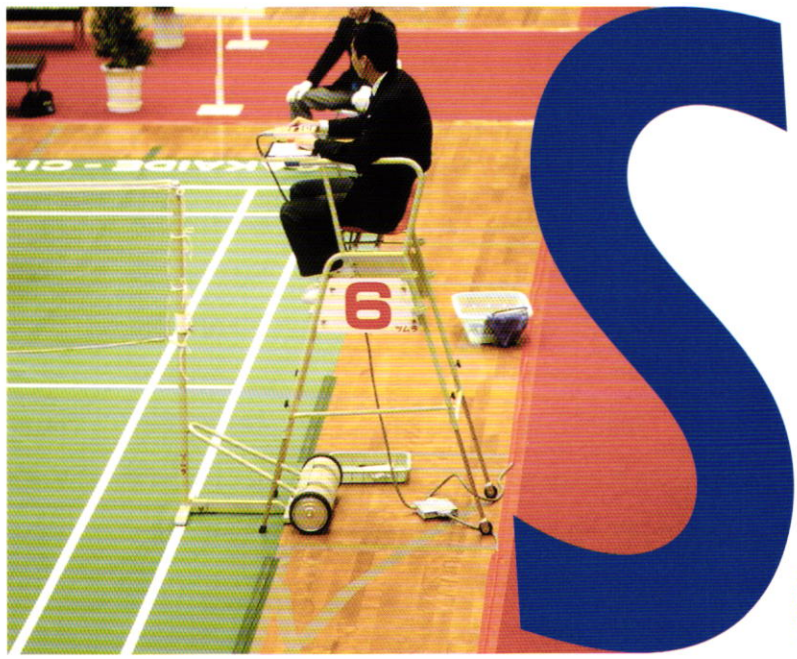
VICTORY

•

Vへのサポート

ひたすら重ねたトレーニング、ひたむきなまでの情熱、夢にまで見たコートに立つ自分の姿……。躍動するパワー、瞬間にかけた技術、フレキシブルな攻守が展開される、競技にかける選手のための施設でありたい。

•



SUPPORT

日本バドミントン協会検定工場

ツムラ®

本　社／〒766-0004　香川県仲多度郡琴平町榎井590
TEL(0877)73-2251(代)　FAX(0877)73-2084
ＵＲＬ　http://www.tsumura-f.co.jp
E-mail　head@tsumura-f.co.jp

東京支店／〒169-0075　東京都新宿区高田馬場1-7-9三契マンション1階
TEL(03)3208-1505　FAX(03)3208-1535
E-mail　tokyo@tsumura-f.co.jp

株式会社 都材製作所

がんばれ!! 日本、北京まで…!!

日本バドミントン専門店会



当加盟店はバドミントンに関して熟知しているプロのスタッフやアドバイザーが皆様のご来店をお待ちしております。
個人の技術相談、地域の活性化から日本バドミントン界のレベルアップまで日本バドミントン専門店会はお手伝いさせて頂きます。



北海道ブロック

ラケットショップスガワラ	札幌	011-271-3855
スポーツプラス	旭川	0155-23-9193
イトースポーツ	帯広	0166-32-1788

東北ブロック

ラケットショップ ササキ	青森	0178-45-0028
ラケットハウス OISPO	岩手	0197-25-8823
ラケットショップ 広瀬	宮城	022-265-0778
ラケットショップ 山形	山形	023-643-6238
リトルビル	福島	024-934-5642

近畿ブロック

プロショップシャトル	滋賀	077-565-6288
ラケットショップ イチムラ大津	滋賀	077-521-1964
プロスポーツショップB.WAY	京都	075-882-2799
ラケットショップイチムラ	京都	075-841-6018
ラケットショップクレセント	大阪	0724-22-8245

北信越ブロック

プロショップサイトウスポーツ	新潟	025-223-1959
ラケットショップ 富 山	富山	076-493-2311
スポーツショップショップ マツダ	石川	076-278-2848
フレンドスポーツ商会	福井	0776-25-3385

中国ブロック

フタバスポーツ	鳥取	0859-44-5171
ラケットショップ ほしの	島根	0852-28-5454
トッププロスポーツ	岡山	086-254-3419
杉山スポーツ	広島	082-263-3939
ムネスエスポーツ	山口	0833-41-0273

東海ブロック

ラケットショップ ノナカ	愛知	052-741-3757
オノダスポーツ	静岡	0544-26-3644

九州ブロック

スポーツ あいしん	福岡	092-593-6968
体育堂ラケットワークスWaiWai	熊本	096-326-8132
スポーツショップバード	鹿児島	099-226-8778
ラケットショップ プロエース	鹿児島	099-226-6362
グリーンスポーツ	長崎	0956-31-7288
エスエススポーツ	福岡	092-671-1124
運動具屋	福岡	093-452-0111

関東ブロック

ラケットショップ SWING	茨城	029-824-0097
ラケットショップ キャビン	埼玉	048-643-5865
ラケットハウス グリップ	埼玉	048-644-3115
ピークスポーツ	千葉	043-253-1103
ウェンブレー	東京	03-3716-2626
ミノヤスポーツ	東京	03-3652-1505
RBTイチムラ	東京	03-3683-2963
ラケットショップ フジ	東京	042-324-9923
ハローダックスポーツ	神奈川	045-711-7988

四国ブロック

イツキスポーツ	徳島	088-654-0353
プレイヤーズクラブ	香川	087-835-2033
ラケットショップハマナカ	愛媛	089-933-2366
スポーツショップフットワーク	高知	088-832-8939

JAPAN BADMINTON
Pro Shop Union

www.badminton-psu.com

お近くに加盟店のない場合は、インターネットショッピングも開始致しました。
詳しくはホームページをご覧ください。

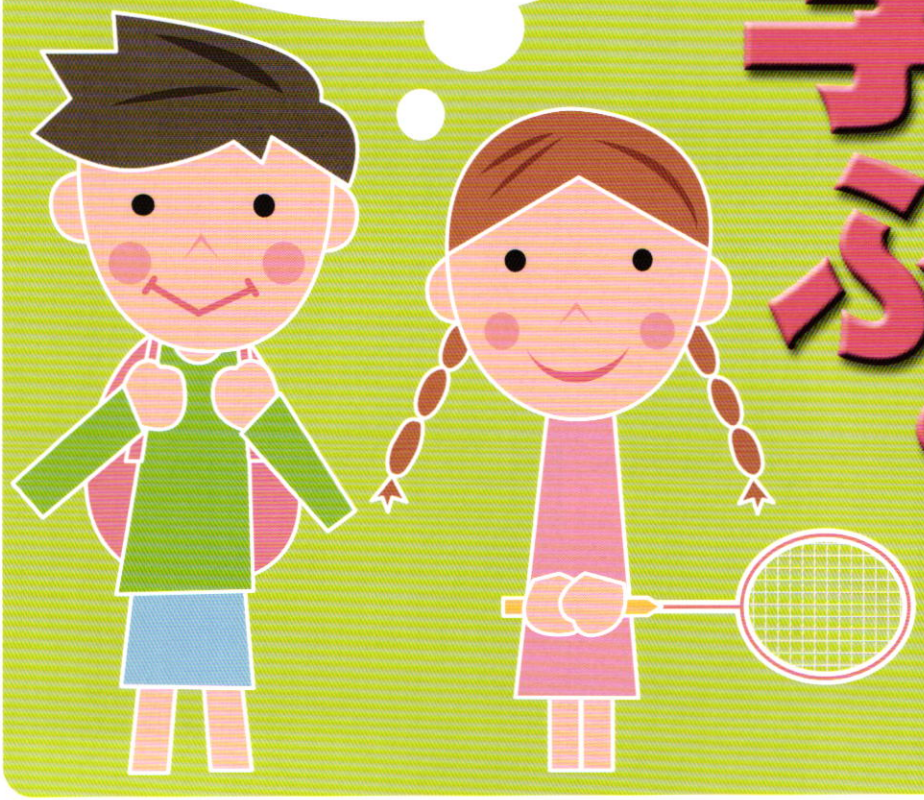
商品についてのご質問、お問い合わせなどは最寄りの日本バドミントン専門店会加盟店またはホームページ迄、お願い致します。

夢を育てる、旅して学ぶ。

シャトルに想いをこめるように、
旅づくりに想いをこめて56年。
私たちは教育旅行を通して、
子供たちの大切な夢を
これからもサポートし続けて
いきます。

主な教育旅行業務

- ◎修学旅行
- ◎海外・国内研修旅行
- ◎朝日冒険クラブ
- ◎校外学習
- ◎スポーツ交流（サッカー南米遠征など）
- ◎その他
  - ●ヨネックスオープン　オフィシャルエージェント
  - ●国際ロータリークラブ オフィシャルエージェント
  - ●文化的活動（ウィーンフィルオーケストラをはじめとする、世界で著明なアーティスト等の日本受け入れなど）



東日観光株式会社

国土交通大臣登録旅行業第270号

加盟団体

日本旅行業教会（JATA）会員
ボンド保証会員
旅行業構成取引協議会会員
国際航空運送協会（IATA）会員
鉄道旅客協会（JR指定）会員
エコツーリズム推進協議会
ホームステイ等適正化協議会
旅行業公正取引協議会会員

ボンド保証会員

取扱サービス

ユーミーツアー（オリジナル・パッケージツアー）
海外旅行、国内旅行　外国人旅行
業務渡航、バリアフリーの旅
修学旅行、豪華客船チャーター・クルーズ
冒険クラブ、研修旅行、視察旅行、学会参加旅行
国際会議参加旅行（ロータリーなど）、インセンティブツアー
国際産業見本市ツアー、職場旅行、慰安旅行
パッケージツアーの代理販売、各種チケット（JRから航空券まで各種）

◎ホームページアドレス
http://www.tonichi.co.jp/

◎ご旅行のご相談・お申込：本社営業部　中央区築地4-7-5
☎03-5148-1725



スポーツ施設、スポーツイベントの
管理専門会社です。
知識・経験豊富なスタッフが
誠意をもってあたります。

主な管理施設	西武ドーム　国立代々木競技場　国立西ヶ丘競技場 横浜国際総合競技場
主なイベント実績	ヨネックスオープンジャパンバドミントン選手権大会 アイスホッケー世界選手権等各種大会 バレーボール世界選手権等各種大会

KBM

協栄ビルメンテナンス株式会社

本社:〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町 2-13-9
TEL.03-3666-3251

ヨネックスオープンジャパン オフィシャル

YONEX OPEN JAPAN 2005 BADMINTON CHAMPIONSHIPS OFFICIALS

大会役員

大会会長 PRESIDENT — 綿貫民輔 Tamisuke Watanuki

大会名誉顧問 — 米山 稔 Minoru Yoneyama

大会副会長 VICE-PRESIDENTS — 清水 務 Tsutomu Shimizu; 三宅祐司 Yuji Miyake; 米山宏作 Kosaku Yoneyama

大会顧問

愛知和男　沓掛哲男　森　喜朗　林　芳正　関谷勝嗣
森田　一　久間章生　橋本龍太郎　伊藤基記　加藤三夫
上田敬次　杉田安雄　宮澤宏之　村上忠治　八木橋伸夫
佐藤　保　塩川　甫　橋本角市　相場清一　権田正一
丸山嘉久　植田博宣　原二三雄　秋元信一　清水規矩雄
平田登志郎　青木昭二　池田昌道　毛利清志　川端昇市
高橋重夫　中島壽禧　五十里光秋　内多小五郎　小宮淳宏
吹田修一　牧野　武　村山幸雄　戸田清一　濱中　誠
福岡幸一　伊豆　晃　岡本武利　本郷節生　今北基夫
菊地利明　野村嘉明　日高　壮　渡辺成雄　伊藤鑛一
小飼栄一　里見光徳　山根　怜　佐藤芳朗　竹林克彦
油井秀男　宮永武司　根岸知子　花岡牧夫　中川武夫

大会参与

木村　寛　北　義一　岡村英男　川島一郎　富田善明
板垣隆房　星野忠男　藤本　滋　加藤寛治　原　紀征
地崎昭宇　組村　明　福井正康　鈴木　潔　増田　稔
杉山郁郎　前田耕作　三須得司　荻田　実　関　敏夫
小林健二　太田耕貴　森谷喜久男　高橋秀男　栗田光憲

大会委員長 CHAIRMAN — 遠井稔男 Toshio Toi

大会副委員長 VICE-CHAIRMANS — 浅岡　武 Takeshi Asaoka; 米山　勉 Ben Yoneyama

大会委員

今井茂満　岩崎昭郎　上原信彦　河村博之　鈴木勝之
関根義雄　高橋英夫　千葉健夫　野村安忠　藤原和文
藤原　航　真壁幹雄　山田順一郎　横溝安伸　福田　武
藤田庸右　今来サキ　兒島　昇　殿川宣勝　柴田博樹
宮路秀憲　石森敏男　池田公子　亀山和由　山中達雄
鏑木興司　辻澤康弘　近岡　昭　横山　登　水上英二
沼田昭子　落合久夫　島　朝樹　増田英男　彌永正信
山城謙治　有村英泰　佐藤　隆　名取隆子

国際バドミントン連盟 INTERNATIONAL BADMINTON FEDERATION

PRESIDENT — H.E.KORN THAPPARANSI
IMMEDIATE PAST-PRESIDENT — Mme. LU SHENGRONG
VICE-PRESIDENTS — TORSTEN BERG; PUNCH GUNALAN; RUDY HARTONO KURNIAWAN; ROGER JOHANSSON; TONG WAI LUN; FEDERICO E VALDEZ; CHAROEN WATTANASIN
MEMBERS OF COUNCIL — EDGAR AGLIPAY; ROBIN BRYANT; MARTIJN VAN DOOREMALEN; PETER GACHERU; RAJ GAYA; PUZANT KASSABIAN; LI LINGWEI; OH YEON HAN; PAISAN RANGSIKITPHO; ANN SMILLIE; ERAJ WIJESINGHE; STEVEN YEO
CONTINENTAL REPRESENATVES — HORST KULLNIGG; CEPHAS LAR; MEHDI KARBASIAN; ROGER WOOD; JOSEPH MERVYN GORDON
CHIEF OPERATING OFFICER — ANDREW RYAN

大会運営委員 TOURNAMENT COMMITTEES

運営委員長 CHAIRMAN — 遠井稔男 Toshio Toi

運営副委員長 VICE-CHAIRMANS — 浅岡　武 Takeshi Asaoka; 米山　勉 Ben Yoneyama

委　員 STAFF MEMBERS — 上原信彦 Nobuhiko Uehara; 高橋英夫 Hideo Takahashi; 鈴木勝之 Masayuki Suzuki; 千葉健夫 Tateo Chiba; 山田順一郎 Junichiro Yamada; 今井茂満 Shigemitsu Imai; 土田隆史 Takashi Tsuchida; 阿部浩志 Hiroshi Abe

レフェリー REFEREE — ユウ ホンジュン Yu Hongjun

デピュティーレフェリー DEPUTY REFEREE — 高橋英夫 Hideo Takahashi; 山田順一郎 Junichiro Yamada

ドーピングコミティ DOPING COMMITTEES — 小林総介 Sosuke Kobayashi; 栗栖　博 Hiroshi Kurusu; 高田　寿 Hitoshi Takada; 阿久津郁夫 Ikuo Akutsu

プレイヤーズ セクレタリー PLAYERS' SECRETARY — 兒島　昇 Noboru Kojima; 取出悦子 Etsuko Toride; 西　祐子 Yuko Nishi

スポンサー窓口 SPONSORS' REPRESENTATIVES — 土田隆史 Takashi Tsuchida; 阿部浩志 Hiroshi Abe; 松村雄太郎 Yutaro Matsumura; 大森一正 Kazumasa Omori

実行委員会競技役員

総　括 — 千葉健夫

副総括 — 宮永武司　根岸知子　花岡牧夫

総括担当 — 今来サキ　兒島　昇

総務担当 — 石森敏男　池田公子　亀山和由　山中達雄　鏑木興司　辻澤康弘

総　務

小宮正行　大友龍三　五十嵐洋　菅原幸雄　安藤武夫　堺　栄一
宇田川孝　麻生了輔　久保田忠宣　奥村　優　川杉通昌　橋口　誠
露木博保　斉郷秀一　豊野　至　土田証雄　川口　浩　北田清孝
森　泉　田中　郷　河内準治　竹内ヒロ子　佐々木洋子　岡戸　優
佐野玲子　久家冨美子　高田知子　宮本正子　田中トミ　谷村典子
渥美　葵　森　麗子　千脇静枝　沼尻洋子　三田恵子　久保田千鶴
西野仁子　渡辺瑠美子　小守一枝　土田美加　宮崎美江子　岡村敦子
中島久美　谷垣ゆう子　小庭洋子　工藤なおみ　大島実穂　清水ゆかり
堤　弘子　高崎朋子　手塚ひとみ　上田佳代子　渡辺博美　森本浩子
村本ひろみ　塚田敦子　西山美代子　大関萬里子　吉川さとみ　茂庭弘子
渡辺恵子　宮川典子　佐藤利子　秋山昭子　国府田春美　小玉　愛
小林清美　西谷瑛二　永尾しずの　福士みどり　阿由葉純代　西　祐子
鈴木真知子　鶴田雅子　菅家佐智子

財　務 — 佐藤　隆　名取隆子　大平ヒサ

広報担当 — 今井茂満　殿川宣勝　彌永正信　山城謙治　石田　純

広　報 — 浅見　勇　村上知也　渡辺雅弘　鮑　智行　前田　幸　原田利雄　加藤晋一

競技担当 — 柴田博樹　近岡　昭　横山　登　有村英泰

競　技

山田ミヨ子　稲村　昇　加藤浩之　仲川敏幸　内田淳吉　吉田　繁
目黒仁一　若林孝子　佐野浩一　多田晃一　笹林義春　佐野昇逸
山崎清一　桑原和夫　岸野和代　加藤　仁　井田健一　簑　栄三
小川裕介　笈川美詠子　神千恵美　河野奈々　市川明美　神　沙織
宮下佐恵子　本多修治　遠山由貴江　帰山広規　本多裕樹　永岡久美
北島正大　新造明慶　清田美波子　小松崎俊　小川成美　石戸谷美貴
田中美紀　福田知弘　松永　謙

式典担当 — 増田英男　石川　孝

式　典 — 青山未奈　佐藤愛弓　高野ひろみ　松崎江里子　吉本暖加　戸所麻美　相澤百合恵

選手担当

落合久夫　島　朝樹　高橋英治　村田千尋　渡会菜々　安藤かをる
青井仁水　山崎毅彦　渡部直子　横溝充代　池上政周　竹村浩至
望月康晃　清水さやか　佐藤達也　真木治文　田口　慧

放　送 — 取出悦子　伊藤菜穂子　高野直子

審判担当 — 宮路秀憲　沼田昭子　水上英二

国際審判 — 高橋英夫　山田順一郎　三王知治　今井正男　浜中　勉　小島博幸　斉藤篤司　野々口栄二　遠井　努　上田敏之　谷上和年　細谷みゆき　辻中孝彦　上野　誠　David Chang　Kandelan K Vasudevan

審判員

樋地正秀　秋元みや子　原　正人　中野正一　青木康敏　保田秀行
福留晋一郎　厚川　勇　千葉　毅　関場　武　八谷みずえ　近藤ケイ子
糸井裕子　野村チエ子　山田律子　井野紀枝　木村優一　永田喜美子
小澤典子　菅野英美　日野秀子　高木　実　益頭和雄　岡田時彦
荒谷勝造　柿澤　豊　鈴木　忍　大貫和子　矢野節子　大塚真弓
阿部房子　伊藤ちはる　増田智恵　野津山恵美子　赤川正子　藤崎靖子
仲澤勝江　永田紀代枝　橋本恵子　草刈　学　川田恵子　近藤志津子
横山朱美　中川敬子　川島チヨ　深見妙子　山田祐子　奈良部美佐枝
小野寺裕子　森田　仁　岡島ちり子　宮田富子　足立悦子　高橋公子
近藤智子　大木千代子　宇田川純子　岡野啓子　伊草幸子　小林清美
古市貞子　山中恵美子　米山千鶴子　中條博美　太田四郎　飛世康子
関　昭　早川冨美子　塚原美津子　小泉和子　米田ちゑ子　山川和子
上杉政子　依田文宏　清水純子　宮加谷亮子　竹内富美枝　塩澤はるみ
大和田勉　梅野光一　田中伸幸　香取由美子　木谷雅子　秋林江梨子
小林和代　鳥越俊秀　橋本はるみ　隅田明代　浜口　登　木村和美
小川絹江　小野園枝　石坂美代子　仁藤絹子　佐藤章美　平井牧子
相澤武子　鴨志田陽子　秋葉明子　大塚玲子　高増道子　吉田登志子
有村恵子　石丸宏美　福田聡子　森田洋子　川畑裕美　矢代信子
吉田スミエ　工藤公子　中澤悦子　三宅朝子　加瀬　恵　萩原豪経
中村三男　中林和男　福田栄記　原　壮史　伏見京子　岩田圭子
田口葉月　山口律子　後藤　進　行村美子　岡部啓子　今野雄悟
竹内繁人　角田　彰　井上裕子　鈴木和子　重松康子　高橋直子
木村明美　飯野洋子　荒木直美　須見ひとみ　三宅淳子　内田京子
千葉昌恵　前野ゆき子　大西喜美子　伊藤成子　小島隆子　瀧澤香代
児玉美和　藤井弘行　大泉美貴子　藤田法子　矢野かよ　福田弥生
西　拓馬　柴山賢一　守屋あゆみ　菅原洋子　遠藤理恵　小室多恵子
清水なつみ　村上恵理香　土屋　友　新田恵子

日頃のご愛顧と感謝をこめて
ANNIVERSARY 30th
35周年に向けて

皆様に健康をおくり続けて30年
今後も永年の信頼にお応えいたします。

サンコーヘルシークラブ
SANKO HEALTHY CLUB

健康な身体づくりを通して、社会に貢献することが私達の使命です。



株式会社サンコー
代表取締役社長藤下 忠之

確かな信頼と厳選された品質であなたの「健康」をサポートします。

プロポリスに小麦胚芽とミツロウを配合
ネオプロポリスHG粒



ムコ多糖・たん白
ネオコンαHG



霊芝の成分を100%有効利用
極百霊芝



オゾンの力で環境と食品を変える
サイレンティア5



野菜の栄養素が手軽に採れる
リナキング



美容と健康のための栄養補助食品
ヘルスローヤルゼリー200



飲むカルシウムで骨の健康を守る
ヘルスイオンカルシウムMg



ビフィズス菌が生きたまま腸まで届く
ビフィーナ10



株式会社サンコー

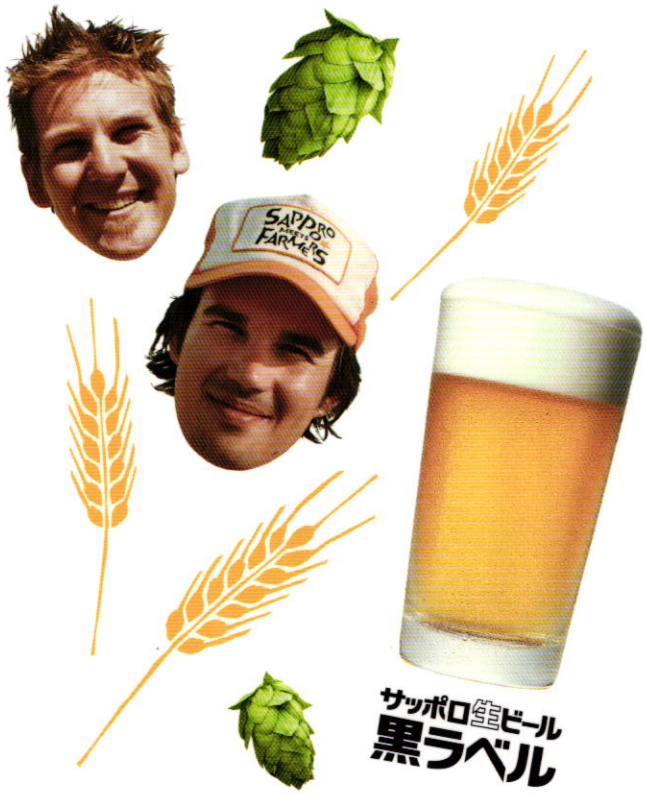
〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11番4-2101号 TEL.06-6345-4860
http://www.sanko-healthy-club.co.jp/

SAPPORO

うまいビールを収穫するんだ。

2006年までに、サッポロビールは
麦芽とホップを100%協働契約栽培にします。





SAPPORO MEETS FARMERS

協働契約栽培が楽しくわかる「ショートムービー」公開中。http://www.sapporobeer.jp/beer/

飲酒は20歳になってから。あきかんはリサイクル。

ご協力のお願い：自動販売機による酒類の販売は午後11時から午前5時まで停止されています。